AUDIO操作編

SANYO

取扱説明書
AV一体型DVDナビゲーション
品番 NVA-280

お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- 本書では、CD、MP3、WMA、MD、ラジオ（AM／FM）、DVD、TV、AUX、iPodの操作について説明しています。
- 本機の使用に関する全般的な説明およびナビゲーションの操作につきましては、別冊の「取扱説明書（本編）」をお読みください。

MMNAVI
Movie & Music
エムエム・ナビ

事故防止のため、運転中は絶対に操作しないでください。

●本説明書の画像やイラストは操作を円滑にするためのイメージであり、撮影・印刷条件等により実物（実機）と印象が相違する場合があります。
●本書は仕様変更により、予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

品番	NVA-280
機　能	iPod CD DVD MD FM DTV TV AUX AM MP3／WMA搭載

※上記表の■はオーディオソース画面に表示される各モードボタンをあらわします。

このシステムでできること

はじめに……P6〜26

- 本機を正しく使うための説明
- 映像やフェダー・バランスの調整
- 音場選択

など

CD ……P28〜38

- CDを聞く
- 好きなトラックを選んだり、早戻し／早送りをする
- リピート／ランダム／スキャン再生

など

MP3／WMA ……P40〜54

- MP3／WMAを聞く
- フォルダや好きなトラックを選んだり、早戻し／早送りをする
- リピート再生

など

MD ……P56〜66

- MDを聞く
- グループ（MDLPのみ）や好きなトラックを選んだり、早戻し／早送りをする
- リピート／ランダム／スキャン再生

など

ラジオ ……P68〜77

- ラジオを聞く
- バンド（AMまたはFM）を選ぶ
- 手動／自動／エリア／プリセット選局
- 道路交通情報を聞く

など

映像 DVD／TV／DTV／AUX P78〜124

- DVDを再生させる
- TVを見る
- DTV機能を使う
- AUX機能を使う

など

iPod ……P126〜144

iPodに収録されているトラックを聞くことができる

その他……P146〜164

故障かな？と思ったときの対処方法や用語説明など

目　次

はじめに P6~

はじめに ……7～13
本機で再生できるディスク ……7、8
DVDビデオについて ……9
ラジオ／TV／オーディオの設定について…10
はじめに ……11、12
オーディオソース画面の
モードボタンについて ……13
オーディオメニュー画面について ……13
音量を調整する ……14
音声はそのままで、画面を消す ……14
音声はそのままで、
ナビゲーション画面を表示する ……15
映像の調整のしかた ……16～18
画質調整を初期値に戻すには ……18
メニューの配色を変える ……19、20
オーディオの調整をする ……21～26
音場（臨場感）を変えるには …21、22
フェダー・バランスの調整を
するには ……23、24
カスタマイズソースを
設定するには ……25、26

CD P28~

CDプレーヤーを使う ……29～38
各部の名称とはたらき ……29
表示部について ……30
CDを聞く ……31、32
CDを止める ……33
CDを取り出す ……33
1曲ずつ選局する
（トラックを戻す／進める）……34
早戻し／早送りをする ……34
リピート（繰り返し）再生をする ……35
ランダム（順序不同）再生をする ……35
スキャン（イントロ）再生をする ……36
リストより好きなトラックを選び
再生させる ……37
ディスク名／トラック名／アーティスト名
をスクロールさせる……38

MP3／WMA P40~

MP3／WMAについて ……41～46
MP3／WMAを使う ……47～54
各部の名称とはたらき ……47
表示部について ……48
MP3／WMAを聞く ……49、50
MP3／WMAを止める ……50
MP3／WMAディスクを取り出す …50
1ファイルずつ選曲する
（トラックを戻す／進める）……51
早戻し／早送りをする ……51
好きなフォルダを選ぶ ……52
リピート（繰り返し）再生をする ……53
アルバム名／タイトル名／アーティスト名／
フォルダ名／ファイル名をスクロールさせる …54

MD P56~

MDプレーヤーを使う ……57～66
各部の名称とはたらき ……58
表示部について ……59
MDを聞く ……60、61
MDを止める ……61
MDを取り出す ……61
1曲ずつ選曲する
（トラックを戻す／進める）……62
早戻し／早送りをする ……62
リピート（繰り返し）再生をする ……63
ランダム（順序不同）再生をする ……64
スキャン（イントロ）再生をする ……65
好きなグループを選ぶ ……66
ディスク名／グループ名／
トラック名をスクロールさせる ……66

ラジオ P68~

ラジオを使う ……69～76
各部の名称とはたらき……69、70
表示部について ……71
ラジオを聞く ……72
ラジオを切る ……72
バンドを選ぶ ……73
選局する……74、75
プリセットボタンにメモリーする …76
交通情報を受信する ……77
道路交通情報を聞く ……77
道路交通情報の受信を止める ……77

DVD P78~

DVDプレーヤーについて ……79
DVDプレーヤーを使う ……80～99
各部の名称とはたらき……80～82
再生を始める……83～85
DVDを止める ……85
DVDディスクを取り出す ……85
再生を停止する……85、86
再生を一時停止(静止)する ……86
再生中にチャプターを戻す／進める……87
早戻し／早送りをする ……87
コマ戻し／コマ送りをする ……88
スロー戻し／スロー送りをする ……88
DVDメニューを使う ……89、90
タイトルメニューを使う……91、92
字幕言語を切り替える ……93
音声言語を切り替える ……94
好きな所から再生する
(サーチ選択)……95、96
時間の表示を替える ……97
リピート(繰り返し)再生する ……98
アングル(角度)を切り替える ……99
DVDの各種設定について ……100～107
各部の名称とはたらき ……100
各種設定を変更する ……101～107

TV P108~

TVを使う ……109～116
各部の名称とはたらき ……109
TVを見る……110、111
TVを切る ……111
選局する ……111～113
プリセット(メモリー)する…114、115

DTV P118~

DTV機能を使う……119、120

AUX P122~

AUX機能を使う ……123、124

iPod P126~

iPodについて ……127、128
iPodとは ……127
対応可能なiPod ……127
使用上のご注意 ……127
iPodを本機に接続するには ……128
iPodを本機に接続すると… ……128
iPodを使う ……129～144
各部の名称とはたらき ……129
表示部について ……130
iPodを聞く ……131
iPodを止める ……132
再生を止める(一時停止) ……132
1曲ずつ選曲する
(トラックを戻す／進める) ……132
リストより好きなトラックを選び
再生させる ……133
早戻し／早送りをする ……133
リピート(繰り返し)再生をする …134
シャッフル再生をする ……135、136
ミュージックリストより選択し
再生させる ……137～142
iPod videoモードでデータを
再生させる ……143、144
アルバム名／トラック名／
アーティスト名をスクロールさせる…144

その他 P155~

カスタマイズ(Quick)機能について …147
後席専用モニターについて …148～150
初期設定一覧 ……151
個人情報の取り扱いについて ……151
メッセージ表示について ……152
故障かな？と思ったら ……153～160
用語説明 ……161～163
索引 ……164

はじめに

はじめに ……7
本機で再生できるディスク ……7
DVDビデオについて ……9
ラジオ／TV／オーディオの設定について ……10
はじめに……11
オーディオソース画面のモードボタンについて……13
オーディオメニュー画面について……13
音量を調整する……14
音声はそのままで、画面を消す……14
音声はそのままで、ナビゲーション画面を表示する…15
映像の調整のしかた ……16～18
画質調整を初期値に戻すには……18
メニューの配色を変える ……19、20
オーディオの調整をする ……21～22
音場を変えるには……21
フェダー・バランスの調整をするには……23
カスタマイズソースを設定するには……25

はじめに(1)

本機で再生できるディスク

DVD VIDEO	付属の地図 DVD-ROM	DVD+R DVD-R	DVD+RW DVD-RW	DVD+R DL	DVD-R DL
COMPACT disc DIGITAL AUDIO	COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT	MP3	WMA	CD-R	CD-RW

※ただし、ディスクの傷や汚れ指紋等または車内や本機に長時間放置、データ書き込み状態が不安定、データ書き込みに失敗し再度録音した場合などは、再生できない場合があります。

※DVD VIDEO はDVDフォーマット ロゴ ライセンシング株式会社の登録商標(米国・日本他)です。

⚠注意 ディスクはそれぞれのディスク挿入口に間違えないように差し込んでください。
また、すでにディスクが入っている場合に2枚目を挿入しようとすると、ディスクに傷がつき、故障の原因となります。

■下記のディスクは再生できないか、再生できても正常に再生されないことがあります。

- CDG
- フォトCD
- CD-ROM
- CD-EXTRA
- VIDEO CD
- SA-CD
- DVD-ROM
- DVD-RAM
- DVDオーディオ
- SVCD

■DVDビデオでも、次のようなディスクは再生できないことがあります。

- リージョン番号「2」が含まれていないディスク
- 無許諾のディスク(海賊版のディスク)
- NTSC以外のカラーテレビ方式(PAL、SECAM)で収録されたディスク

■CD-R／CD-RW／DVD-R／DVD-RW／DVD+R／DVD+RW／DVD+R DL／DVD-R DLでも、次のような場合は再生できないことがあります。

- データが記録されていないディスク
- ディスクの記録状態／ディスク自体の状態
- ディスクと本機の相性
- 記録に使用したレコーダによって
- CD-R／CD-RWの場合、音楽のCDフォーマット以外のディスクは再生できません。(ただしMP3／WMAは再生できます。)
- ファイナライズされていないディスクは再生できません。

※これらの書き込み対応のディスクを使用される場合には、書き込みを行なう機器の取扱説明書や注意事項をよくお読みください。

※MP3につきましては「MP3／WMAについて」41～46ページをご覧ください。

ファイナライズについて

DVD-R／DVD-RW／DVD+R／DVD+RW／DVD+R DL／DVD-R DLディスクをご使用になる場合、録画された機器で「ファイナライズ処理」を行なっていただく必要があります。ファイナライズ処理を行なわないと、録画された機器以外の他のプレーヤー(本機など)で再生できない場合があります。

※ファイナライズ処理については、書き込みを行なう機器の取扱説明書や注意事項をよくお読みください。

■DVDレコーダで作成したディスクについて

VRモード(ビデオレコーディングフォーマット)で記録したディスクは再生できません。

※録画方式など詳しくはDVDレコーダの取扱説明書をよくお読みください。

■8cmディスクについて

本機では、8cmディスクは再生できません。

■コピー防止機能付CD（コピーコントロールCD）について

ディスクレーベル面（印刷面）に［CDロゴ］ マークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。

パソコン等で複製防止を目的としたコピー防止機能付CD（コピーコントロールCD）を再生させると、正常に再生できないことがあります。これはコピー防止機能付CD（コピーコントロールCD）がCD規格に合致していないための現象であり、本機の異常ではありません。コピー防止機能付CD（コピーコントロールCD）の再生で問題がある場合は、コピー防止機能付CD（コピーコントロールCD）の発売元にお問い合わせください。

■特殊形状のディスクについて

ハート型や八角形など、特殊形状のディスクは使用しないでください。本機が故障する原因となります。

■Dual Discについて

Dual Discは使用しないでください。ディスクに傷がついたり、ディスクが取り出せないなどの不具合が発生する場合があります。

はじめに(2)

DVDビデオについて

本機のリージョン番号(地域番号)は「2」です。

■DVDには世界中を6つの地域に区分したリージョン番号という地域番号があり、DVDソフトの番号とDVDプレーヤーの番号が一致しないと再生できない仕組みになっています。
本機では、リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」以外のDVDビデオディスクは、再生できません。

〔例〕

アドバイス

- リージョン番号が「ALL」のディスクは、地域制限されておらず、全てのリージョン番号のDVDプレーヤーで再生できます。
- リージョン番号が表示されていないディスクについては、表示はしていないがリージョン番号がついており、同じリージョン番号のDVDプレーヤーのみで再生できる場合と、地域制限されておらず、全てのリージョン番号のDVDプレーヤーで再生できる場合があります。
- リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」でも、NTSC以外のカラーテレビ方式で収録されている場合は、本機では再生できません。

■ 本機は、DVDビデオの再生において、下記の3つの技術を使用しています。

- **マクロビジョン**
  本機は、マクロビジョンコーポレーションならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的所有権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションの許可なしでは、一般家庭その他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています。

- **ドルビーデジタル**
  本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

- **dts**

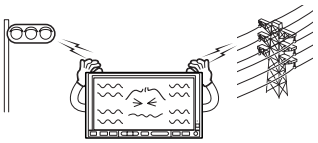
  “DTS” is a registered trademark of DTS, Inc. and “DTS2.0” is a trademark of DTS, Inc.

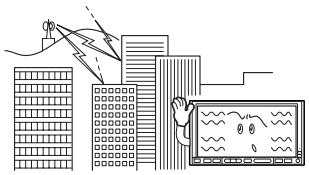
ラジオ／TV／オーディオの設定について

■バッテリー交換やヒューズ交換などでバッテリーとの接続が断たれたときは、メモリーしたチャンネルや音場などの設定も全て消去されます。

■ラジオやTVの受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。

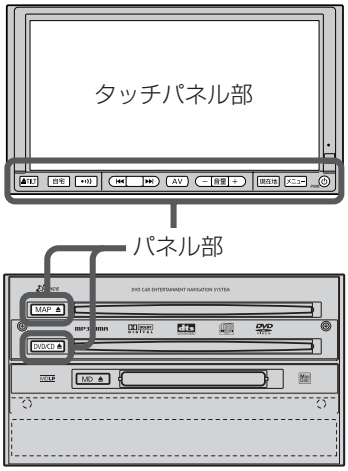
- 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くやラジオ放送、アマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音がはいる場合があります。
- トンネル内にはいったり、放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。受信状態が悪くなったら、受信状態の良いものを選局してください。
- 一部の地域において、ラジオ、TV等の送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像・音声に乱れが生じる場合があります。





はじめに(3)

はじめに



本書では、
タッチパネル部のボタンは画面の“○○ボタンをタッチする”
パネル部*のボタンはパネルの“○○ボタンを押す”と記載しています。
（＊：使用するボタンは白色表示しています。）

※本書のマークについて

アドバイス …本機を使ううえで知っておいていただきたいこと、知っておくと本機を上手に使うことができ便利です。

……画面上でタッチパネル操作を表わします。

：……操作を行なった結果を説明します。

メニュー ……パネル部のボタンを表わします。

AM ……タッチパネル部のボタンを表わします。

- ナビゲーション画面とはナビゲーションモード時を示します。
- オーディオ画面（オーディオモード画面）とはiPod／CD／DVD／MP3／WMA／MD／FM／DTV／TV／AUX／AMモード時を示します。（モード指定がある場合は明記しています。）
  ※iPod videoモードと記載している場合は映像データを表わします。

すでに液晶ディスプレイが表示状態になっている場合は、手順 2 （12ページ）へ進んでください。

1 車のキー スイッチを「ON」または「ACC」に入れる。

：起動初期画面を表示した後、前回電源を切ったとき（車のキー スイッチを「OFF」に入れたとき）に表示していたモードの画面になります。

※ディスプレイの角度を変える場合は別冊の「取扱説明書（本編）」37ページを参照してください。

起動初期画面

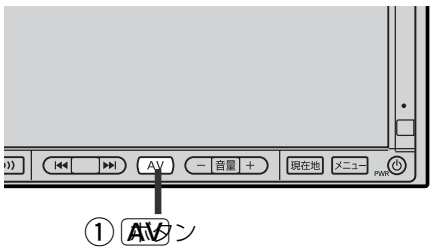
モード表示画面（CDモード画面例）

CDモード選択中

⚠注意 「ACC」（エンジンを停止したまま）で長時間使用しないでください。
車のバッテリーがあがる恐れがあります。

2 それぞれ、下記の場合にしたがって操作してください。

■ ナビゲーションモード画面または他のモードが表示された場合



①AVボタン

①パネルのAVボタンを押す。

：オーディオソース画面またはラストモード*画面が表示されます。

□ **オーディオソース画面のときは…**

②にすすんでください。

□ **ラストモード*画面のときは…**

もう一度AVボタンを押す。

：オーディオソース画面（下記画面参照）が表示されます。

＊：前回最後に選択していたモード画面（AV OFF含む）

オーディオソース画面（例）

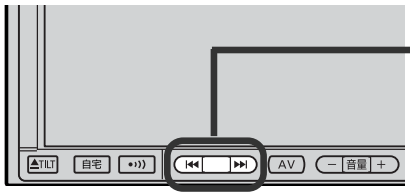
②

②操作したいモード（iPod／CD DVD／MD／FM／DTV／TV／AUX／AM）ボタンをタッチする。

■ 操作したいモード画面が表示された場合

29〜144ページにしたがって、ご希望の操作をしてください。

アドバイス



●各モードに合わせて呼び名を変えています。

ボタック iPod／CD／MP3／WMA／MD
選局 ボタン……FM／TV／AM
ポキップ DVD

はじめに(4)

オーディオソース画面のモードボタンについて

選択中モードは背景が
薄ピンク色表示

選択可能モードは
黒色文字表示

選択不可能モードは
灰色文字表示

選択不可能モードは
灰色表示

アドバイス

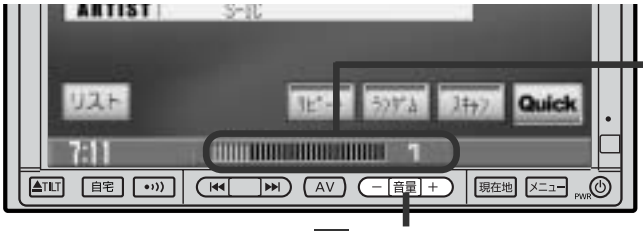
- 各モードボタンをタッチすることによって各々のモードへと切り替わります。
  iPod =iPodモード ／ CD DVD =CD/DVD/MP3/WMAモード ／ MD =MDモード ／
  FM =FMモード(ラジオモード) ／ DTV =DTVモード(地上デジタルテレビモード) ／
  TV =TVモード(アナログテレビモード) ／ AUX =AUXモード ／ AM =AMモード(ラジオモード)

オーディオメニュー画面について

オーディオメニュー画面に表示されるボタン(各機能(☞21～26ページ))

音量を調整する

CDモード画面（例）



音量を調整すると画面に現在の音の大きさ（0～31）を示すVOL（ボリューム）表示が表示されます。
VOL（ボリューム）表示は約2秒間表示されます。

1 音量 ボタン

1 **パネルの 音量 ボタンを押す。**

＋側：音量が大きくなります。
－側：音量が小さくなります。

※押しつづけて調整することもできます。

アドバイス

- ナビゲーションモードや音声操作時の音声案内の音量調整は画面をタッチして調整します。
  別冊の取扱説明書（本編）「音声案内の音量を調整するには」173、174ページ
- DVD／AUXモードの場合、音量は個別に設定できます。
  （例：CDモードで音の大きさを“13”にした場合、iPod／MP3／WMA／MD／FM／DTV／TV／AMモードも音の大きさは“13”となります。）

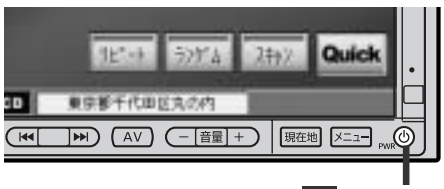
音声はそのままで、画面を消す

画面を消して、音声のみ聞くことができます。

1 **パネルの 電源 ボタン（⏻）を 2秒以上押す。**

：画面のバックライトが消えて、黒くなります。

CDモード画面（例）

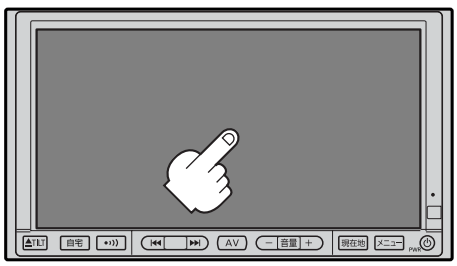


1 電源 ボタン

■ **再度、画面を表示する場合**

画面をタッチする。

：画面のバックライトが点灯し、画面が表示されます。



音声はそのままで、ナビゲーション画面を表示する

今のモードの音声を聞きながら、地図を見たり、ナビゲーションの操作をすることができます。

CDモード画面(例)

1 現在地ボタン

1 各モードの画面で、パネルの 現在地 ボタンを押す。

：音声はそのままで、画面がナビゲーション画面に変わります。

■ 今聞いているモードの画面に戻す場合

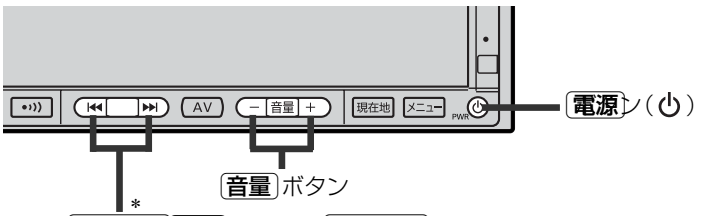
①パネルの AV ボタンを押す。

：今聞いているモードの画面に戻り、今聞いているモードの操作が可能になります。
再度、ナビゲーション画面を表示する場合は、パネルの 現在地 ボタンを押してください。

① AV ボタン

アドバイス

- 音量調整や⏮／⏭を使っての操作やAV OFF／ON(電源)は、ナビゲーション画面のままでもできます。



＊用途によって呼び名が変わります。

12ページアドバイス参照

映像の調整のしかた(1)

iPod／CD／MP3／WMA／MD／ラジオ(FM・AM)モード画面のとき、明るさ／コントラスト調整ができます。DVD／DTV／iPod video／TV／AUXモード画面のときは、色の濃さ／色合い／明るさ／コントラスト調整／ディスプレイ選択*ができます。(ただし走行中は明るさ／コントラストレベル調整となります。)

アドバイス

- *印：ディスプレイ選択はノーマル／フル／ワイド／シネマの中から表示画面を選択できます。ただし、DTVモードの場合はフル固定となります。
- AUXモード画面で音声入力しか接続していない場合、それぞれのボタンは表示されても調整が反映されるのは、明るさ／コントラスト調整となります。
- 画質は、iPod／CD／MP3／WMA／MD／ラジオの画面、DVD／DTV／iPod video／TV／AUXの画面で別々に調整することができます。

1 パネルの〔メニュー〕ボタンを2秒以上押す。

：画面にDISP設定画面が表示されます。

1 〔メニュー〕ボタン

2 画面の 画質調整 ボタンをタッチする。

：画質調整画面が表示されます。

※ディスプレイ選択をする場合は18ページ
■ ディスプレイ選択の場合 を参照してください。

DISP設定画面(例)

DVD／DTV／iPod video／TV／AUXモード画面の場合に表示されます。(ディスプレイ選択※)

3 調整したい項目(明るさ ／ コントラスト ／ 色の濃さ ／ 色合い)をタッチする。

画質調整画面(例)

映像の調整のしかた(2)

4 画面の ≪ ／ ≫ ボタンをタッチして値を調整する。

画質調整画面(例)

アドバイス

調整はタッチパネルの ≪ ボタンまたは ≫ ボタンをタッチしつづけると素早く調整できます。
タッチするのをやめると、その値で止まります。
お好みの調整レベルでタッチするのを止めてください。

■ 明るさ(1～31)調整の場合

≪ ボタンをタッチすると暗くなり、≫ ボタンをタッチすると明るくなる。

アドバイス

車のライトをつけているとき(ON時)とライトを消しているとき(OFF時)とで、各々、明るさをメモリーしています。ライトをつけている／ライトを消しているときの明るさを、各々、お好みの明るさに調整してください。

■ コントラスト(1～31)調整の場合

≪ ボタンをタッチすると黒さが増し、≫ ボタンをタッチすると白さが増す。

アドバイス

直射日光の反射などで画面が見えにくい場合は ≫ ボタンをタッチして＋側へ調整し、白さを増してください。

■ 色の濃さ(1～31)調整の場合

≪ ボタンをタッチすると淡くなり、≫ ボタンをタッチすると濃くなる。

■ 色合い(1～31)調整の場合

≪ ボタンをタッチすると赤が強くなり、≫ ボタンをタッチすると緑が強くなる。

アドバイス

人間の肌色が自然な感じになるように調整してください。

■ ディスプレイ選択の場合 （DVD／DTV／TV／AUX／iPod videoモード画面の場合）

手順 1 （16ページ）でDISP設定画面を表示する。

ノーマル／フル／ワイド／シネマの4つのタイプの中から、お好きな表示画面のボタンをタッチする。

※ディスプレイ選択の場合、ボタンをタッチした時点で確定（決定）となります。

DISP設定画面（例）

ノーマル ：4：3の映像の画面
フ　ル ：4：3の映像を左右に引き伸ばし、16：9にした画面
ワイド ：“フル”の違和感を少なくした画面
シネマ ：4：3の映像をそのまま拡大した画面

アドバイス

- シネマを選択した場合、映像を拡大して表示するため映像の上下が画面から切れて見えなくなります。
- AUXモードで音声のみ入力している場合、ディスプレイ選択しても設定は反映されません。

5 設定を終わるには…

画面の 戻る ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。

アドバイス

画面の 戻る ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。すでに値を変更した場合はその設定で確定（決定）されます。

画質調整を初期値に戻すには

手順 3 、4 （16、17ページ）で調整した画質（明るさ／コントラスト／色の濃さ／色合い）を設定する前の値（初期値）に戻すことができます。

画質調整画面で画面の 初期値 ボタンをタッチする。

：設定した値が工場出荷時の値に戻ります。

画質調整画面（例）

メニューの配色を変える

背景や情報バーなどの色を変えることができます。

1 パネルの〔メニュー〕ボタンを2秒以上押す。

：画面にDISP設定画面が表示されます。

1 〔メニュー〕ボタン

2 画面の メニュー配色 ボタンをタッチする。

：配色設定画面が表示されます。

※DISP設定画面は、画面に映像を表示するモードの場合、ディスプレイを選択するボタンが追加されます。☞「■ ディスプレイ選択の場合 」18ページ

DISP設定画面（例）

3 お好みの配色ボタン（1 ／ 2 ／ 3 ）をタッチする。

：選択した色で表示されます。

配色設定画面（例）

透過率を変更することができます。
☞20ページ
※透過率の値によって配色の雰囲気に相違が出ます。

＊印：この部分の色が変わります。

4 設定を終わるには…

画面の 戻る ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。

※すでに配色を設定した場合はその配色で確定（決定）されます。

□ 透過率を変更する場合

透過率を変更することができます。

①19ページ手順 3 のとき、
画面の変更したい透過率の値
（60%／30%／0% ボタン）を
タッチする。

配色設定画面（例）

※透過率を変更してもDVD／TV／AUX／DTV／iPod videoモードなど（映像を表示するもの）の透過率は設定できません。

オーディオの調整をする(1)

音場(臨場感)を変えるには

※オーディオモード終了(AV OFF状態)の場合は、音場(臨場感)を変えることはできません。

1 **オーディオモード画面で**
パネルの[メニュー]ボタンを押す。

：オーディオメニュー画面が表示されます。

※音場はLIVE／HALL／STADIUM／CHURCHの4種類です。

オーディオモード画面(CDモード画面(例))

手順 3 で選択した音場が表示されます。

1 [メニュー]ボタン

2 **画面の 臨場感 ボタンをタッチする。**

：音場選択画面が表示されます。

オーディオメニュー画面

アドバイス

交通情報モード画面(☞77ページ)の場合、臨場感は得られません。(臨場感 ボタンは選択できません。)

3 お好みの音場を選択します。

再生する音楽に残響音を加え、いろいろな環境の臨場感を擬似的に再現することができます。

LIVE（ライブ）：音場をライブハウス
HALL（ホール）：音場をコンサートホール
STADIUM（スタジアム）：音場をスタジアム
CHURCH（チャーチ）：音場を残響音の多い教会

音場選択画面

①お好みの音場ボタン（LIVE／HALL／STADIUM／CHURCH）をタッチする。

：選択した音場効果で再生されます。

アドバイス

- 戻る ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。すでに音場を選択している場合はその音場で確定（決定）されます。
- 2スピーカーでは音場効果は得られません。
- 音場効果（臨場感）をやめたい場合は音場選択画面（手順 3 ）で OFF ボタンをタッチしてください。

オーディオの調整をする(2)

フェダー・バランスの調整をするには

低音、高音の調整や前後左右のスピーカーの音量バランスを調整することができます。

BASS(バス)：低音域の調整
TREBLE(トレブル)：高音域の調整
BALANCE(バランス)：左または右スピーカーの音量調整
FADER(フェダー)：前または後ろスピーカーの音量調整

※オーディオモード終了(AV OFF状態)の場合は、フェダー・バランスの調整をすることはできません。

---

1 オーディオモード画面でパネルの［メニュー］ボタンを押す。

：オーディオメニュー画面が表示されます。

※DVDモード時は［メニュー］ボタンを2回押します。

オーディオモード画面(CDモード画面(例))

1 ［メニュー］ボタン

---

2 画面の［フェダーバランス］ボタンをタッチする。

：バランス・フェダー調整画面が表示されます。

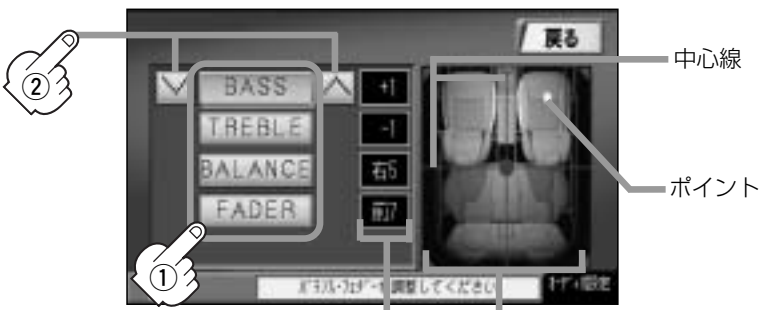
オーディオメニュー画面

---

3 値を調整します。

①調整したい項目(［BASS］／［TREBLE］／［BALANCE］／［FADER］)ボタンをタッチする。
②［∧］／［∨］または［<］／［>］ボタンをタッチして値を調整する。

バランス・フェダー調整画面



- BALANCE(バランス)とFADER(フェダー)の場合、車内イラストを直接タッチし、ポイント(値)を移動させて調整することもできます。

BASS（バス）（−5〜+5）
∨ **ボタンタッチ**：低音が弱まります。
∧ **ボタンタッチ**：低音が強まります。

TREBLE（トレブル）（−5〜+5）
∨ **ボタンタッチ**：高音が弱まります。
∧ **ボタンタッチ**：高音が強まります。

BALANCE（バランス）（左9〜右9）
< **ボタンタッチ**：右スピーカーの音量が下がります。
> **ボタンタッチ**：左スピーカーの音量が下がります。

FADER（フェダー）（後9〜前9）
∨ **ボタンタッチ**：前スピーカーの音量が下がります。
∧ **ボタンタッチ**：後ろスピーカーの音量が下がります。

アドバイス

調整時に ∨ ／ ∧ ／ < ／ > ボタンをタッチし続けると、連続的に変化します。

4 **設定を終わるには…**
画面の 戻る ボタンをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。

アドバイス

戻る ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。すでに値を調整した場合はその値で確定（決定）されます。

オーディオの調整をする(3)

カスタマイズソースを設定するには

よく使用するモードボタンを登録することができます。

1 **オーディオモード画面でパネルの**
メニュー ボタンを押す。

：オーディオメニュー画面が表示されます。

オーディオモード画面(CDモード画面(例))

1 メニュー ボタン

2 **画面の カスタマイズソース ボタンを**
タッチする。

：カスタマイズソース設定画面が表示されます。

オーディオメニュー画面

3 **ソース候補よりカスタマイズソースに**
登録したいボタンをタッチする。

：選択した順にカスタマイズソースに表示されます。

※DTVとiPodは接続していない場合灰色表示となり
選択できません。

カスタマイズソース設定画面

4 **登録したいボタンを選択したら画面の**
戻る ボタンをタッチする。

：カスタマイズソースの設定が確定(決定)され
オーディオメニュー画面へ戻ります。

順次、次のボタンがくり上がって表示されます。

カスタマイズソースに登録したいボタンが表示されます。

アドバイス

- **登録したボタンは各再生(TOP)画面で Quick ボタンをタッチすることにより選択することができます。**
  ☞「カスタマイズ(Quick)機能について」147ページ
  ※ナビゲーションでもよく使用する機能をQuickメニューに登録することができます。
  ☞別冊の取扱説明書(本編)「Quickメニューの設定を変えるには」175、176ページ
- カスタマイズソースにあるボタンをタッチするとソース候補にボタンを戻すことができます。
- 標準 ボタンをタッチするとカスタマイズソースに表示されるボタンは工場出荷時(初期設定)の状態に戻ります。
- オールクリア ボタンをタッチするとカスタマイズソースに設定したボタンをすべてクリア(取り消し)にします。
- 戻る ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。すでに設定を変更した場合はその設定で確定(決定)されます。
- 次ページがある場合 ∧ ／ ∨ ボタンで1つずつ、⩓ ／ ⩔ ボタンで1ページずつの戻し／送り表示することができます。

CD

CDプレーヤーを使う ……29
各部の名称とはたらき……29
表示部について……30
CDを聞く ……31
CDを止める ……33
CDを取り出す ……33
1曲ずつ選曲する ……34
早戻し／早送りをする……34
リピート再生をする……35
ランダム再生をする……35
スキャン再生をする……36
リストより好きなトラックを選び再生させる……37
ディスク名／トラック名／アーティスト名を
スクロールさせる……38

CDプレーヤーを使う(1)

各部の名称とはたらき

リスト ボタン
トラックリスト画面を表示し、トラックの選択が可能です。(37ページ)

リピート ボタン
現在再生中の曲を繰り返し再生します。(35ページ)

ランダム ボタン
ディスク内の曲を順序不同で再生します。(35ページ)

CDモード画面(例)

スキャン ボタン
曲の頭(イントロ)を約10秒間ずつ順に再生します。(36ページ)

Quick ボタン
カスタマイズ機能を使用することができます。(147ページ)
※地図DVD-ROM未挿入のときは選択できません。

ボタン( ) ⏻
オーディオモードを開始／終了(AV OFF状態に)します。
また、2秒以上長押しで画面を消します。

ボタン
パネルをオープンさせて、ディスクを入れる／取り出すときに使用します。(31、33ページ)

音量 ボタン
音量の増減を調整します。
－：音量減　＋：音量増

ボタン
オーディオソース画面を表示します。
※ナビゲーション／iPod／MD／FM／DTV／TV／AUX／AMモードからCDモードに切り替えるときに使用します。(31ページ)

ボタン(⏮／⏭)
好きな曲を選びます。また、このボタンを押し続けると早戻し(⏮)／早送り(⏭)します。(34ページ)

アドバイス

- **リピート** ／ **ランダム** ／ **スキャン** ボタン選択時にもう一度タッチして選択を解除（黄色消灯）すると通常再生に戻ります。
- 1枚のディスクに音楽データとMP3／WMAデータが混在する場合はMP3／WMAデータは再生しません。

表示部について

リピート／ランダム／スキャン選択時に表示

表示内容につきましては68、69ページを参照ください。

再生状態表示

- ► :通常再生
- ▶▶ :早送り
- ◀◀ :早戻し

音場(臨場感)表示

選択中の音場を表示します。

☞21、22ページ

※音場を選択していない場合(OFF選択時)は何も表示されません。

(例)

再生時間表示

ディスク名表示

トラック名表示

アーティスト名表示

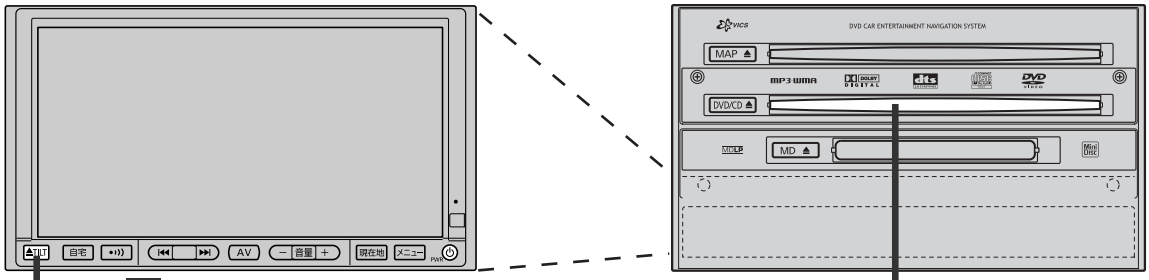
トラック番号

アドバイス

- ディスク名／トラック名／アーティスト名の表示文字数は全角32(半角64)文字です。(本機は漢字・ひらがな対応しています。)
- タイトル名が表示しきれない場合、スクロールさせて確認することができます。(38ページ)
- DISCにCD-TEXT情報があれば、ディスク名／トラック名／アーティスト名が表示されます。
- **DISCにCD-TEXT情報がなければ、ディスク名／トラック名／アーティスト名は全て"No Title"と表示されます。**
  ※市販されている音楽CDの大多数にはCD-TEXT情報は入っていません。

CDプレーヤーを使う(2)

[ディスプレイが閉じた状態]　　[ディスプレイが開いた状態]



CDを聞く

■ ディスク未挿入の場合

1 **パネルの ボタンを押す。**

：ディスプレイが開きます。

2 **ディスク挿入口にCDを差し込む。**

：自動でディスプレイが閉じ、CDの再生を始めます。

アドバイス

CDディスクの印刷面を下にして入れるとディスクを認識しません。必ず印刷面を上にして挿入してください。

■ 他のモード画面を表示している場合

□ 前回CDモード画面でAV OFF (オーディオモードを終了)していた場合

①パネルの ボタン(⏻)を押す。

：前回のつづきからCDの再生を始めます。

① ボタン(⏻)

□ ナビゲーションまたは前回CDモード以外のオーディオモード画面の場合

①パネルの ボタンを押す。

：オーディオソース画面またはラストモード*画面が表示されます。

□ オーディオソース画面のときは…

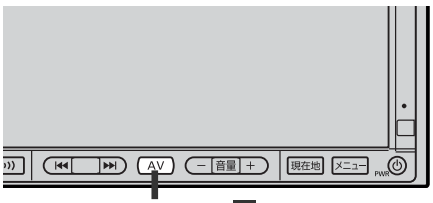
②にすすんでください。

□ ラストモード*画面のときは…

もう一度 ボタンを押す。

：オーディオソース画面が表示されます。

*：前回最後に選択していたモード画面(AV OFF含む)



① ボタン

オーディオソース画面

②画面の CD DVD ボタンをタッチする。

：CDの再生を始めます。

■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

☞「音量を調整する」14ページ
「映像の調整のしかた」16～18ページ
「オーディオの調整をする」21～26ページ

アドバイス

- CDの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。
  ☞「音声はそのままで、ナビゲーション画面を表示する」15ページ

CDプレーヤーを使う(3)

CDを止める

1 **パネルの ボタン(⏻)を押す。**

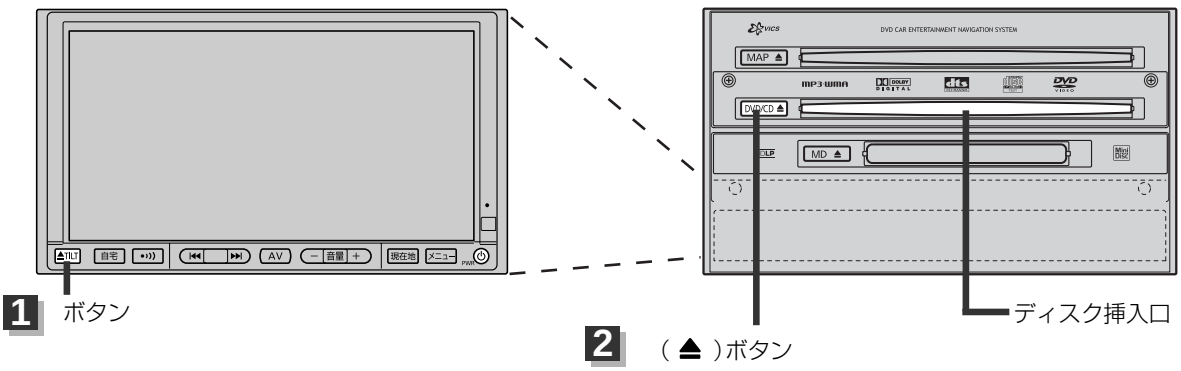
：画面に“AV OFF”と表示されCDの再生を止めます。(オーディオモード終了)

1 ボタン(⏻)

CDを取り出す

[ディスプレイが閉じた状態]

[ディスプレイが開いた状態]



1 ボタン

2 (▲)ボタン

ディスク挿入口

1 **パネルの ボタンを押す。**

：ディスプレイが自動で開きます。

2 **パネルの (▲) ボタンを押す。**

：CDがディスク挿入口より出てきます。

アドバイス

- CDを取り出して再度再生を始めると、ディスクの最初の曲の頭から再生が始まります。
  ※再生中にACCをOFFにした場合は、次にACCをONにすると、前に再生していたつづきから再生を始めます。
  ※ (▲)ボタンを押した後、ディスクをそのままにしておくと、ディスク保護のため約10秒後に自動的にディスクが入り本機にセットされ、再生が開始されます。

1曲ずつ選曲する（トラックを戻す／進める）

1 **パネルの ボタン（⏮／⏭）を押す。**

：前のトラックに戻る、または次のトラックに進みます。

※聞きたい曲のトラック番号を表示させます。

■ 前のトラックに戻る場合

⏮側を2回押す。

※1回押した場合は再生中の曲（トラック）の頭に戻ります。

■ 次のトラックに進む場合

⏭側を押す。

アドバイス

- トラックリストを表示させリストより選択することもできます。
「リストより好きなトラックを選び再生させる」37ページ

早戻し／早送りをする

1 **パネルの ボタン（⏮／⏭）を押し続ける。**

：再生中の曲の早戻し／早送りをします。

■ 早戻しで戻る場合

：**⏮側を押し続ける。**

■ 早送りで進む場合

：**⏭側を押し続ける。**

アドバイス

- それぞれのボタンから手を離したところで再生を始めます。
  ボタン（⏮／⏭）を押し続け、曲の始めまたは終わりにくると通常再生になります。

CDプレーヤーを使う(4)

リピート(繰り返し)再生をする

1 **画面の リピート ボタンをタッチする。**

: REPEAT TRACK マークが表示され、再生中の曲を繰り返し再生します。

※もう一度 リピート ボタンをタッチすると REPEAT TRACK マークが消え、通常再生に戻ります。

ランダム(順序不同)再生をする

1 **画面の ランダム ボタンをタッチする。**

: RANDOM マークが表示され、ランダム(ディスク内の曲を順序不同で)再生します。

※もう一度 ランダム ボタンをタッチすると RANDOM マークが消え、通常再生に戻ります。

アドバイス

- 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めるので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

スキャン(イントロ)再生をする

1 **画面の スキャン ボタンをタッチする。**

: SCAN マークが表示され、スキャン再生します。
曲の頭(イントロ)を約10秒間再生し、
次の曲へ移る動作を繰り返します。

※もう一度 スキャン ボタンをタッチすると
SCAN マークが消え、表示灯消灯した曲より通
常再生に戻ります。

CDプレーヤーを使う(5)

リストより好きなトラックを選び再生させる

トラックを一覧表示させ、再生させることができます。

1 画面の **リスト** ボタンをタッチする。

：トラックリスト画面が表示されます。

2 再生したいトラックをタッチする。

：選択したトラックが再生されます。

トラックリスト画面

／ボタンで1ページずつ
／ボタンで1つずつ、
の戻し／送り表示

アドバイス

トラックリストについて

- タイトル情報がない場合は、Track001、Track002、Track003……と表示されます。

3 画面の **戻る** ボタンをタッチするか、約10秒間何も操作しないと手順 **1** の画面に戻ります。

ディスク名／トラック名／アーティスト名をスクロールさせる

タイトル名が長すぎて一度に表示できない(全角14／半角27文字以上の)場合に〉ボタンが表示されスクロールさせることができます。

1 **画面の〉ボタンをタッチする。**

：ディスク名、トラック名、アーティスト名のすべてのタイトル名が長い場合はタッチするごとにディスク名→トラック名→アーティスト名の順にスクロールされます。

※表示文字数が全角13／半角26文字以下の場合は〉ボタンは表示されません。

※スクロールさせるタイトル名が1つの場合、スクロール中にタッチするとスクロールをやめます。

MP3／WMA

MP3／WMAについて ……41
MP3／WMAを使う ……47
各部の名称とはたらき……47
表示部について……48
MP3／WMAを聞く ……49
MP3／WMAを止める ……50
MP3／WMAディスクを取り出す ……50
1ファイルずつ選曲する ……51
早戻し／早送りをする……51
好きなフォルダを選ぶ……52
リピート再生をする……53
アルバム名／タイトル名／アーティスト名／
フォルダ名／ファイル名をスクロールさせる……54

MP3／WMAについて(1)

■MP3とは？

MP3（MPEG Audio Layer 3）は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、元のファイルを最大約1/10のサイズに圧縮することができます。

■WMAとは？

WMA(Windows Media™ Audio)は米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Playerを使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。WMAは音声データをMP3よりも高い圧縮率(約半分)で音楽ファイルを作成・保存することができます。さらにデジタルならではの高音質を得ることができます。

■再生可能なMP3／WMAファイルの規格について

	MP3	WMA
対応規格	MPEG Audio Layer 3	Windows Media Audio*1
対応サンプリング周波数	☞45ページ参照	☞46ページ参照
対応ビットレート*2		

＊1印：●DRMには対応していません。(デジタル著作権管理)

＊2印：●一般的にビットレートが高くなるほど音質はよくなります。一定の音質で音楽を楽しんでいただくためにはMP3では128 kbps、WMAではできるだけ高いビットレートで記録されたディスクの使用をおすすめします。

●VBRに対応しています。

●フリーフォーマット・可逆圧縮フォーマットには対応していません。

■使用できるメディアについて

- MP3／WMAの再生に使用できるメディアはCD-RおよびCD-RWです。
  ※CD-R、CD-RWは通常の音楽CDに使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R、CD-RWは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズがつくと再生できない場合や音飛びする場合があります。
- 一部のCD-R、CD-RWは長時間の車内環境において劣化するものがあります。
  ※CD-R、CD-RWは紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

■ファイル名について

- MP3／WMAと認識し再生するファイルはMP3の拡張子“MP3”(*1)／WMAの拡張子“WMA”(*1)が付いたものだけです。
- MP3ファイルには“MP3”、WMAのファイルには“WMA”の拡張子を付けて保存してください。

(*1)：拡張子名“MP3”／WMAは大文字でも小文字でもかまいません。

アドバイス

MP3以外のファイルに“MP3”の拡張子またはWMA以外のファイルに“WMA”の拡張子を付けると、MP3ファイル／WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。
MP3／WMAファイル以外に、“MP3”／“WMA”の拡張子を付けないでください。
MP3／WMA以外の形式のファイルは動作を保証しておりません。

■ID3タグについて

MP3ファイルにはIDタグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。
本機はID3v.1.0、ID3v1.1のID3タグに対応しています。また、日本語に対応していますが、文字コードはシフトJISで書き込んでください。それ以外の文字コードで書き込むと文字化けすることがあります。
※本機が対応しているID3タグはアルバム／タイトル／アーティスト名です。

■マルチセッションについて

マルチセッションに対応しており、MP3／WMAファイルを追記したCD-R、CD-RWの再生が可能です。ただし、“Track at once”で書き込んだ場合、セッションクローズや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。

■MP3／WMAの再生について

MP3／WMAファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。CD-RWはディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rより時間がかかります。

アドバイス

- ディスク内のファイルをチェックしている間、音はでません。
- ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3／WMAファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
- 再生不可能なファイルがある場合、そのファイルはスキップします。（飛ばします。）

■MP3／WMAの演奏時間表示について

MP3／WMAファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

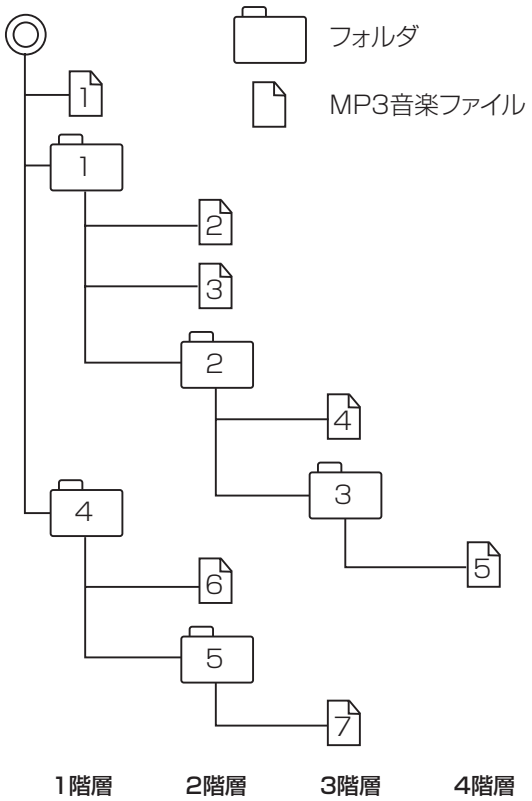
■使用できるディスクのフォーマットについて

使用できるメディアのフォーマットは拡張フォーマットを除いたISO9660レベル1（＊）およびレベル2（＊）です。
※UDF形式のディスクは動作しません。
上記フォーマット（＊）以外で書き込まれたMP3ファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。
規格ならびに制限事項は次のとおりです。

- 最大ディレクトリ階層　：8階層
- 最大フォルダ名／ファイル名文字数　：半角64文字（区切り文字“.”＋拡張子3文字を含む）
- フォルダ名／ファイル名使用可能文字：A～Z、0～9、_（アンダースコア）
- 1フォルダ中の最大ファイル数　：255（ファイル数＋フォルダ数）
- 最大フォルダ数　：50
- マルチセッション方式で記録したディスクの再生に対応しています。
- パケットライト／m3u／MP3iフォーマット／MP3 PROフォーマットには対応していません。

MP3／WMAについて(2)

階層と再生順序のイメージ



- 本機では、フォルダの中にMP3およびWMAファイルがなくても、一つのフォルダとして数えます。選択した場合には、再生順で一番近いフォルダを検索して再生します。
- ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並べ替えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。
- 再生の順序は、同一のディスクでも、使用する機器(プレーヤー)によって異なる場合があります。
- 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- 通常は、1→2→3→4→5→6→7 の順に再生します。
- 同じ階層に複数のMP3／WMA音楽ファイルやフォルダが存在する場合、ファイル名、フォルダ名の昇順に再生します。
- 8階層までのMP3および、WMAファイルの再生に対応していますが、多くの階層またはファイルを多く持つディスクは再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には階層を2つ以下にすることをおすすめします。

■MP3／WMAファイルの作り方について

MP3／WMAファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

□インターネットの配信サイトより入手する場合

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々なMP3音楽配信サイトがあります。そのサイトごとのルールを守り（料金支払いなど）、そこから指示通りにダウンロードを行ないます。

□音楽CDをMP3またはWMAファイルに変換する

パソコンと市販のMP3／WMAエンコーダ（変換）ソフトを用意します（インターネット上で無料配信されているエンコーダソフトもあります）。パソコンのCD-ROMドライブに音楽CDを入れ、MP3／WMAエンコーダソフトの手順にしたがって音楽CDの曲を圧縮変換すると、MP3／WMA形式の音楽データファイルができます。12cmの音楽CD1枚（最大74分収録／データ容量650MB）が約65MBのデータ量（約10分の1）になります。

□CD-R／CD-RWに書き込む場合

MP3／WMAファイルをパソコンに接続されているCD-R/RWドライブを介してCD-R/RWに書き込みます。この時、ライティングソフトで本機が対応している記録フォーマットに設定して書き込みます。

アドバイス

- CD-R、CD-RWはディスクの特性により読み取れない場合があります。
- MP3は市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- ディスクにMP3／WMA以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- MP3／WMAファイルの作成の詳しくはエンコーダソフトや使用するオーディオ機器の説明書を参照してください。
- MP3／WMAファイルの作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるファイル、ディスクが作成される場合があり、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。セッションクローズ、ファイナライズ処理を行なっていないディスクは再生できません。

MP3／WMAについて(3)

■再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

MP3

	MPEG1	MPEG2
サンプリング周波数（kHz）		
16.000		○
22.050		○
24.000		○
32.000	○	
44.100	○	
48.000	○	
ビットレート（kbps）		
8	–	○
16	–	○
24	–	○
32	○	○
40	○	○
48	○	○
56	○	○
64	○	○
80	○	○
96	○	○
112	○	○
128	○	○
144	–	○
160	○	○
192	○	–
224	○	–
256	○	–
320	○	–
VBR	○	○

※VBR：可変ビットレート

WMA

	WMA7	WMA9 standard
サンプリング周波数（kHz）		
32.000	○	○
44.100	○	○
48.000	−	○
ビットレート（kbps）		
48	○	○
64	○	○
80	○	○
96	○	○
128	○	○
160	○	○
192	○	○
256	−	○
320	−	○
VBR	−	○

※VBR：可変ビットレート

●表示可能なID3／WMAタグ

Song Title、Artist Name、Album Title

※MP3のID3タグはVer1.0、Ver1.1に対応しています。

●フォルダ番号、トラック番号について

演奏される順番はライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため記録しようとした順番と再生される順番が一致しないことがあります。

MP3／WMAを使う（1）

各部の名称とはたらき

フォルダー ボタン
前のフォルダに戻ります。

フォルダ＋ ボタン
次のフォルダに進みます。

リピート ボタン *
フォルダ内の曲またはファイル（1つの曲のみ）を繰り返し再生します。（53ページ）

MP3モード画面（例）

Quick ボタン
カスタマイズ機能を使用することができます。（147ページ）
※地図DVD-ROM未挿入のときは選択できません。

ボタン（ ）⏻
オーディオモードを開始／終了（AV OFF状態に）します。
また、2秒以上長押しで画面を消します。

ボタン
パネルをオープンさせて、ディスクを入れる／取り出すときに使用します。（49ページ）

音量 ボタン
音量の増減を調整します。
－：音量減　＋：音量増

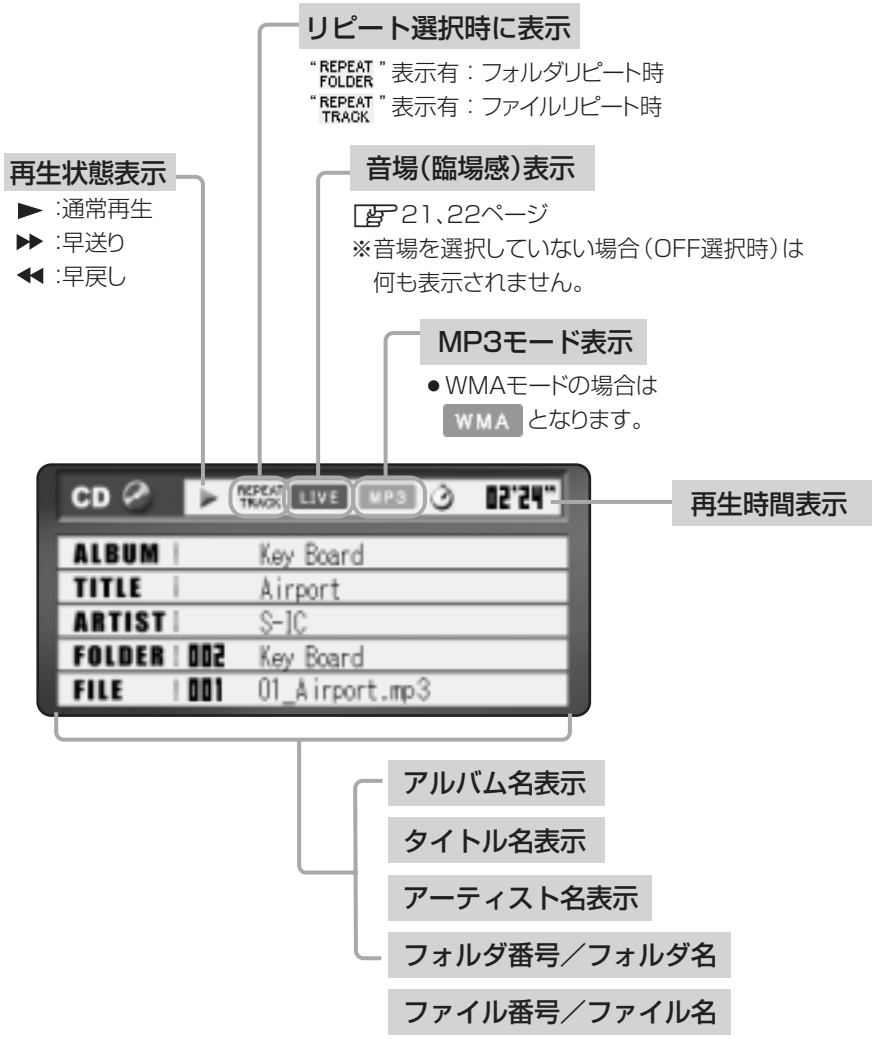
ボタン
オーディオソース画面を表示します。
※ナビゲーション／iPod／MD／FM／DTV／TV／AUX／AMモードからMP3／WMAモードに切り替えるときに使用します。（50ページ）

ボタン（⏮／⏭）
好きなファイル（曲）を選びます。
また、このボタンを押し続けると早戻し（⏮）／早送り（⏭）します。（51ページ）

アドバイス

＊印：選択時表示灯（黄色）点灯します。

表示部について

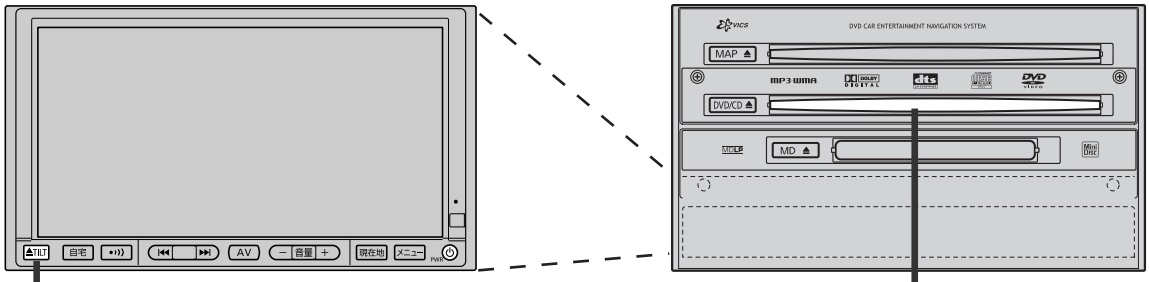


アドバイス

- アルバム名／タイトル名／アーティスト名／フォルダ名／ファイル名は最大全角32(半角64)文字です。(本機は漢字・ひらがな対応しています。)
- タイトル名が表示しきれない場合、スクロールさせて確認することができます。(54ページ)
- アルバム名／タイトル名／アーティスト名が記録されていないディスクの場合は、表示部に“No Title”と表示されます。

MP3／WMAを使う(2)

[ディスプレイが閉じた状態]　　[ディスプレイが開いた状態]



1 ボタン　　2 ディスク挿入口

MP3／WMAを聞く

■ ディスク未挿入の場合

1 **パネルの ボタンを押す。**

：ディスプレイが開きます。

2 **ディスク挿入口にMP3またはWMAのデータが入ったCDを差し込む。**

：自動でディスプレイが閉じ、MP3またはWMAの再生を始めます。

アドバイス

ディスクの印刷面を下にして入れるとディスクを認識しません。必ず印刷面を上にして挿入してください。

■ 他のモード画面を表示している場合

□ **前回MP3／WMAモード画面でAV OFF(オーディオモードを終了)していた場合**

①パネルの ボタン(⏻)を押す。

：前回のつづきからMP3／WMAの再生を始めます。

① ボタン(⏻)

□ ナビゲーションまたは前回MP3／WMAモード以外のオーディオモード画面の場合

①パネルの ボタンを押す。

：オーディオソース画面またはラストモード*画面が表示されます。

□ オーディオソース画面のときは…

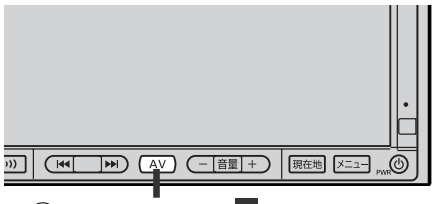
②にすすんでください。

□ ラストモード*画面のときは…

もう一度 ボタンを押す。

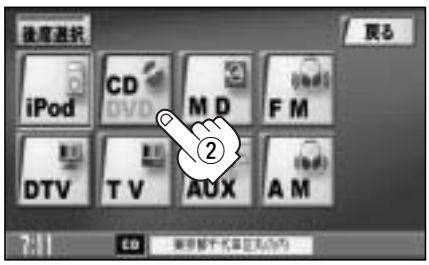
：オーディオソース画面が表示されます。

*：前回最後に選択していたモード画面（AV OFF含む）



① ボタン

オーディオソース画面



②画面の CD DVD ボタンをタッチする。

：MP3またはWMAの再生を始めます。

■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

☞「音量を調整する」14ページ
「映像の調整のしかた」16～18ページ
「オーディオの調整をする」21～26ページ

MP3／WMAを止める

1 パネルの ボタン（⏻）を押す。

：画面に“AV OFF”と表示されMP3／WMAの再生を止めます。（オーディオモード終了）

1 ボタン（⏻）

アドバイス

MP3／WMAの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

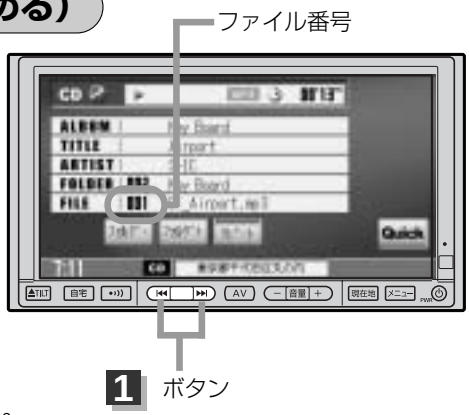
☞「音声はそのままで、ナビゲーション画面を表示する」15ページ

MP3／WMAディスクを取り出す

1 33ページ CDを取り出す の手順 1 、 2 にしたがって操作してください。

MP3／WMAを使う(3)

1ファイルずつ選曲する(トラックを戻す／進める)



1 **パネルの ボタン(⏮／⏭)を押す。**

：前のファイルに戻る、または次のファイルに進みます。

※聞きたい曲のファイル番号を表示させます。

■ 前のトラックに戻る場合

⏮側を2回押す。

※1回押した場合は再生中のファイル(曲)の頭に戻ります。

■ 次のトラックに進む場合

⏭側を押す。

早戻し／早送りをする

1 **パネルの ボタン(⏮／⏭)を押し続ける。**

：再生中のファイル(曲)の早戻し／早送りをします。

■ 早戻しで戻る場合

：**⏮側を押し続ける。**

■ 早送りで進む場合

：**⏭側を押し続ける。**

アドバイス

それぞれのボタンから手を離したところで再生を始めます。 ボタン(⏮／⏭)を押し続け、曲の始めまたは終わりにくると通常再生になります。

好きなフォルダを選ぶ

ディスクの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

1 画面の フォルダー ／ フォルダ＋ ボタンをタッチする。

■ 前のフォルダに戻る場合

フォルダー ボタンをタッチする。

■ 次のフォルダに進む場合

フォルダ＋ ボタンをタッチする。

MP3／WMAを使う(4)

リピート(繰り返し)再生をする

1 **画面の リピート ボタンをタッチする。**

：表示灯点灯し、リピート機能が働きます。

※ リピート ボタンをタッチするごとに下記のように用途が変わります。

- **今聞いているファイルのリピート再生**

（表示灯点灯／ REPEAT TRACK マーク表示有）

- **今聞いているフォルダのリピート再生**

（表示灯点灯／ REPEAT FOLDER マーク表示有）

- **通常再生(リピート解除)**

（表示灯消灯／マーク表示無）

ファイルリピート時に表示

フォルダリピート時に表示

アドバイス

リピート ボタンの表示灯を消灯(リピート解除)するまでリピート再生を繰り返します。

アルバム名／タイトル名／アーティスト名／フォルダ名／ファイル名をスクロールさせる

タイトル名が長すぎて一度に表示できない(全角14／半角27文字以上の)場合に ❯ ボタンが表示されタイトル名をスクロールさせることができます。

1 **画面の ❯ ボタンをタッチする。**

：アルバム名、タイトル名、アーティスト名、フォルダ名、ファイル名のすべてのタイトル名が長い場合はタッチするごとにアルバム名→タイトル名→アーティスト名→フォルダ名→ファイル名の順にスクロールされます。

※表示文字数が全角13／半角26文字以下の場合は ❯ ボタンは表示されません。

※スクロールさせるタイトル名が1つの場合、スクロール中にタッチするとスクロールをやめます。

MD

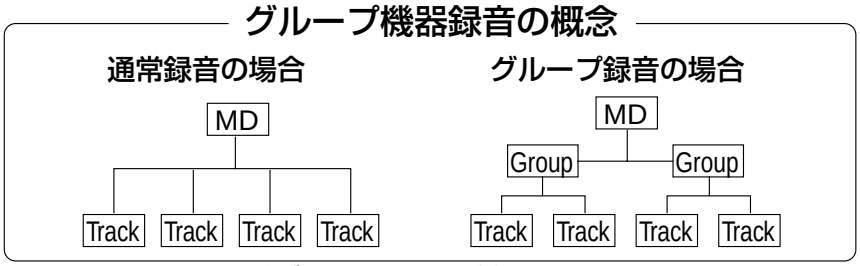
MDプレーヤーを使う ……57
各部の名称とはたらき……58
表示部について……59
MDを聞く ……60
MDを止める ……61
MDを取り出す ……61
1曲ずつ選曲する ……62
早戻し／早送りをする……62
リピート再生をする……63
ランダム再生をする……64
スキャン再生をする……65
好きなグループを選ぶ……66
ディスク名／グループ名／トラック名を
スクロールさせる……66

MDプレーヤーを使う(1)

本機のグループ機能はMD規格の推奨方法にもとづいています。
グループ機能未搭載機器でグループやトラック編集されたディスクはグループ機能が正常に動作しない場合があります。

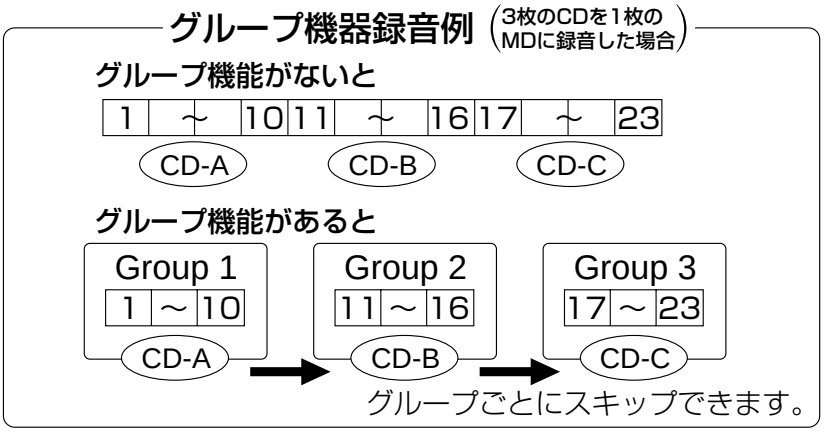
グループ機能(演奏)について

グループ機器録音の概念



MD内のトラックがグループごとに割り振られることにより長いディスクを区切って管理できるためグループごとのスキップやトラック数が多い時などに便利です。

グループ機器録音例 (3枚のCDを1枚のMDに録音した場合)



各部の名称とはたらき

グループ－ ボタン *1
前のグループに戻ります。

グループ＋ ボタン *1
次のグループに進みます。

リピート ボタン *2
現在再生中の曲を繰り返し再生します。(63ページ)

ランダム ボタン *2
ディスク内の曲を順序不同で再生します。(64ページ)

MDモード画面(例)

スキャン ボタン *2
曲の頭(イントロ)を約10秒間ずつ順に再生します。(65ページ)

Quick ボタン
カスタマイズ機能を使用することができます。(147ページ)
※地図DVD-ROM未挿入のときは選択できません。

ボタン( ) ⏻
オーディオモードを開始／終了(AV OFF状態に)します。
また、2秒以上長押しで画面を消します。

ボタン
パネルをオープンさせて、ディスクを入れる／取り出すときに使用します。(60、61ページ)

音量 ボタン
音量の増減を調整します。
－：音量減　＋：音量増

ボタン
オーディオソース画面を表示します。
※ナビゲーション／iPod／CD／DVD／FM／DTV／TV／AUX／AMモードからMDモードに切り替えるときに使用します。(61ページ)

ボタン(⏮／⏭)
好きな曲を選びます。また、このボタンを押し続けると早戻し(⏮)／早送り(⏭)します。(62ページ)

アドバイス

- ＊1印：**グループ－** ／ **グループ＋** ボタンはグループ管理があるMDの場合に表示されます。
- ＊2印：選択時表示灯(黄色)点灯します。もう一度タッチして表示灯(黄色)を消すと通常再生に戻ります。
  グループ管理がある場合はタッチする回数が変わります。63～65ページ

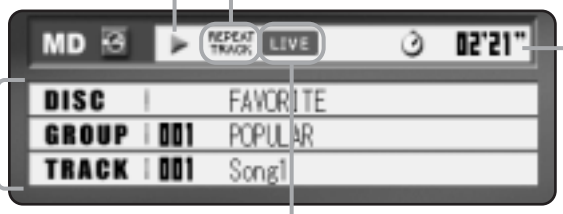
MDプレーヤーを使う(2)

表示部について

再生状態表示
► :通常再生
▶▶ :早送り
◀◀ :早戻し

リピート／ランダム／スキャン選択時に表示
☞63~65ページ

グループ管理がある場合(例)



再生時間表示

音場(臨場感)表示
☞21、22ページ
※音場を選択していない場合(OFF選択時)は何も表示されません。

ディスク名表示

グループ番号*／グループ名表示

トラック番号／トラック名表示

グループ管理がない場合(例)

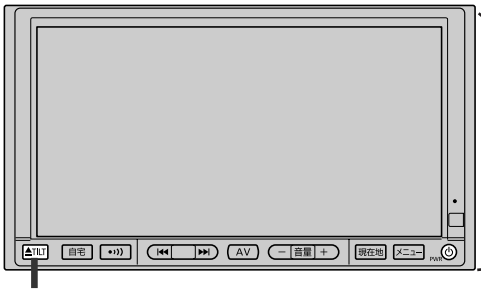
ディスク名表示

トラック番号／トラック名表示

アドバイス

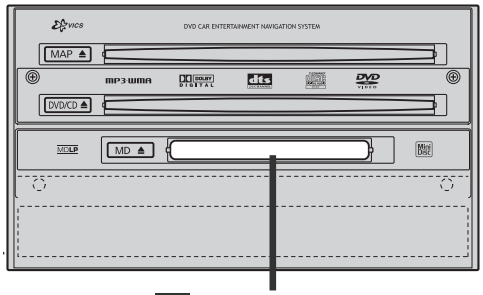
- ディスク名／グループ名／トラック名は最大全角32(半角64)文字です。
- ディスク名／グループ名／トラック名が記録されていないディスクの場合は、表示部に“No Title”と表示されます。
- タイトル名が表示しきれない場合、スクロールさせて確認することができます。(66ページ)
- ＊印：本機がグループとして認識できるグループ数は10までとなります。(11グループ目より“Group 000”表示となり、グループボタン(＋／－)をタッチしてもトラックの選択となります。)

[ディスプレイが閉じた状態]



1 ボタン

[ディスプレイが開いた状態]



2 ディスク挿入口

MDを聞く

■ ディスク未挿入の場合

1 **パネルの ボタンを押す。**

：ディスプレイが開きます。

2 **ディスク挿入口にMDを差し込む。**

：自動でディスプレイが閉じ、MDの再生を始めます。

アドバイス

⬆のついた面を上にして、⬆の方向にMDを挿入してください。

■ 他のモード画面を表示している場合

□ 前回MDモード画面でAV OFF（オーディオモードを終了）していた場合

①パネルの ボタン（⏻）を押す。

：前回のつづきからMDの再生を始めます。

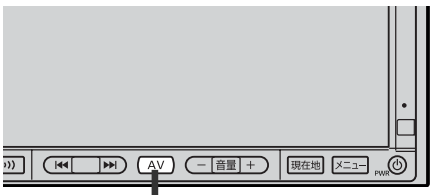
① ボタン（⏻）

MDプレーヤーを使う(3)

□ ナビゲーションまたは前回MDモード以外のオーディオモード画面の場合

①パネルの ボタンを押す。

：オーディオソース画面またはラストモード*画面が表示されます。



① ボタン

□ **オーディオソース画面のときは…**

②にすすんでください。

□ **ラストモード*画面のときは…**

もう一度 ボタンを押す。

：オーディオソース画面が表示されます。

オーディオソース画面

*：前回最後に選択していたモード画面（AV OFF含む）

②画面の MD ボタンをタッチする。

：MDの再生を始めます。

■ **音量や映像、オーディオの調整をする場合**

☞「音量を調整する」14ページ
「映像の調整のしかた」16～18ページ
「オーディオの調整をする」21～26ページ

MDを止める

1 **パネルの ボタンを押す。**

：画面に“AV OFF”と表示されMDの再生を止めます。（オーディオモード終了）

1 ボタン（⏻）

アドバイス

MDの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

☞「音声はそのままで、ナビゲーション画面を表示する」15ページ

MDを取り出す

1 **パネルの ボタンを押す。**：ディスプレイが自動で開きます。

2 **パネルの （⏏）ボタンを押す。**

：MDがディスク挿入口より出てきます。

アドバイス

MDを取り出して再度再生を始めるときは、ディスクの最初の曲の頭から再生が始まります。

※再生中にACCをOFFにした場合は、次にACCをONにすると、前に再生していたつづきから再生を始めます。

1曲ずつ選曲する（トラックを戻す／進める）

1 **パネルの ボタン（⏮／⏭）を押す。**

：前のトラックに戻る、または次のトラックに進みます。

※聞きたい曲のトラック番号を表示させます。

■ 前のトラックに戻る場合

⏮側を2回押す。

※1回押した場合は再生中の曲（トラック）の頭に戻ります。

■ 次のトラックに進む場合

⏭側を押す。

早戻し／早送りをする

1 **パネルの ボタン（⏮／⏭）を押し続ける。**

：再生中の曲の早戻し／早送りをします。

■ 早戻しで戻る場合

：**⏮側を押し続ける。**

■ 早送りで進む場合

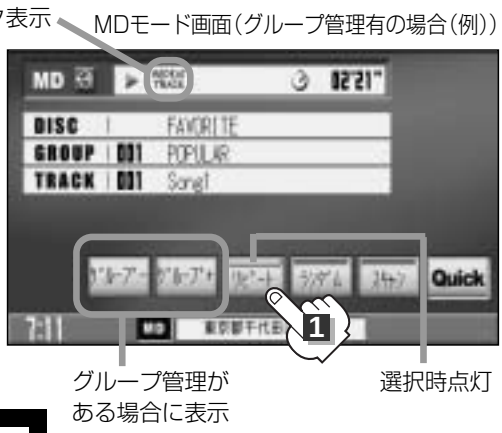
：**⏭側を押し続ける。**

アドバイス

それぞれのボタンから手を離したところで再生を始めます。 ボタン（⏮／⏭）を押し続け、ディスクの始めまたは終わりにくると通常再生になります。

MDプレーヤーを使う(4)

リピート(繰り返し)再生をする



1 画面の **リピート** ボタンをタッチする。

：表示灯点灯し、リピート再生されます。

※グループ管理のある／なしによって下記のように用途が変わります。

■ グループ管理がない場合

今聞いているトラックのリピート再生

(表示灯点灯／REPEAT TRACK マーク表示有)

↓

通常再生(リピート解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)

■ グループ管理がある場合

今聞いているトラックのリピート再生

(表示灯点灯／REPEAT TRACK マーク表示有)

↓

グループのリピート再生

(表示灯点灯／REPEAT GROUP マーク表示有)

↓

通常再生(リピート解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)

アドバイス

リピート ボタンの表示灯を消灯(リピート解除)するまでリピート再生を繰り返します。

ランダム(順序不同)再生をする

1 画面の **ランダム** ボタンをタッチする。

：表示灯点灯し、ランダム再生されます。

※グループ管理のある／なしによって下記のように用途が変わります。

■ グループ管理がない場合

今聞いているディスクの中からランダムに再生

(表示灯点灯／RANDOM マーク表示有)

↓

通常再生(ランダム解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)

■ グループ管理がある場合

今聞いているグループの中からランダムに再生

(表示灯点灯／RANDOM GROUP マーク表示有)

↓

全てのグループ(ディスク)の中からランダムに再生

(表示灯点灯／RANDOM マーク表示有)

↓

通常再生(ランダム解除)

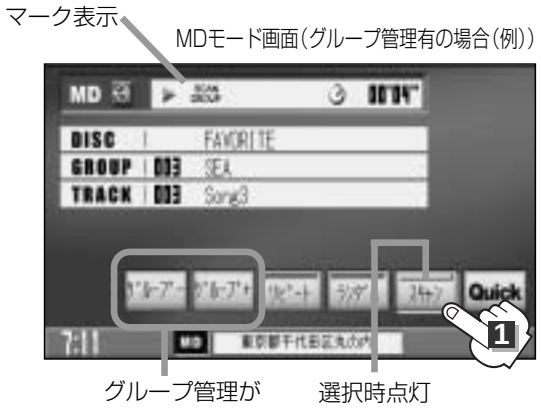
(表示灯消灯／マーク表示無)

アドバイス

- **ランダム** ボタンの表示灯を消灯（ランダム解除）するまでランダム再生を繰り返します。
- 全てのグループ内よりランダム再生している場合は、曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めるため、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

MDプレーヤーを使う(5)

スキャン(イントロ)再生をする



1 画面の **スキャン** ボタンをタッチする。

：表示灯点灯し、スキャン(約10秒間ずつ順に)再生されます。

※グループ管理のある／なしによって下記のように用途が変わります。

■ グループ管理がない場合

今聞いているディスクの中からスキャン再生

(表示灯点灯／ SCAN マーク表示有)

↓

通常再生(スキャン解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)

■ グループ管理がある場合

各グループの先頭曲をスキャン再生

(表示灯点灯／ SCAN GROUP マーク表示有)

↓

全てのグループの中からスキャン再生

(表示灯点灯／ SCAN マーク表示有)

↓

通常再生(スキャン解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)

アドバイス

スキャン ボタンの表示灯を消灯(スキャン解除)するまでスキャン再生を繰り返します。

好きなグループを選ぶ

ディスクの中から聞きたいグループを選ぶことができます。

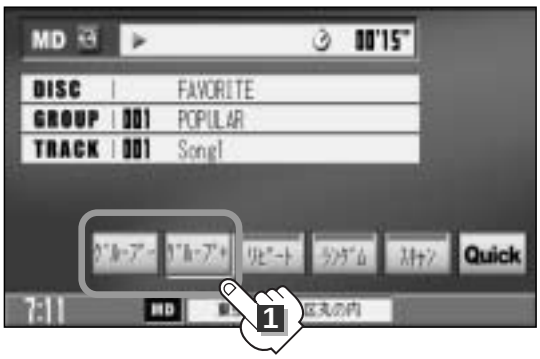
1 画面の グループ− ／ グループ+ ボタンをタッチする。

■ 前のグループに戻る場合

グループ− ボタンをタッチする。

■ 次のグループに進む場合

グループ+ ボタンをタッチする。



アドバイス

本機がグループとして認識できるグループ数は10までとなります。

ディスク名／グループ名／トラック名をスクロールさせる

タイトル名が長すぎて一度に表示できない(全角13／半角26文字以上の)場合に › ボタンが表示されタイトル名をスクロールさせることができます。

1 画面の › ボタンをタッチする。

：ディスク名、グループ名、トラック名のすべてのタイトル名が長い場合はタッチするごとにディスク名→グループ名→トラック名またはディスク名→トラック名の順にスクロールされます。

※表示文字数が全角13／半角26文字以下の場合は › ボタンは表示されません。

※グループ名はグループ管理がある場合に表示されます。

※スクロールさせるファイル名が1つの場合、スクロール中にタッチするとスクロールをやめます。

ラジオ

ラジオを使う……69
各部の名称とはたらき……69
表示部について……71
ラジオを聞く……72
ラジオを切る……72
バンドを選ぶ……73
選局する……74
プリセットボタンにメモリーする……76
交通情報を受信する……77
道路交通情報を聞く……77
道路交通情報の受信を止める……77

ラジオを使う(1)

各部の名称とはたらき

プリセット ボタン(1〜6)

1.5秒以上タッチで好きな放送局をメモリーします。(76ページ)
(エリアボタン選択時は除く)
※呼び出しは、メモリーしたボタンを軽く(1.5秒未満)タッチします。

FM1／FM2 ボタン
(AM1／AM2 ボタン)

タッチするたびにバンドがFM1↔FM2(またはAM1↔AM2)と切り替わります。
(73ページ)

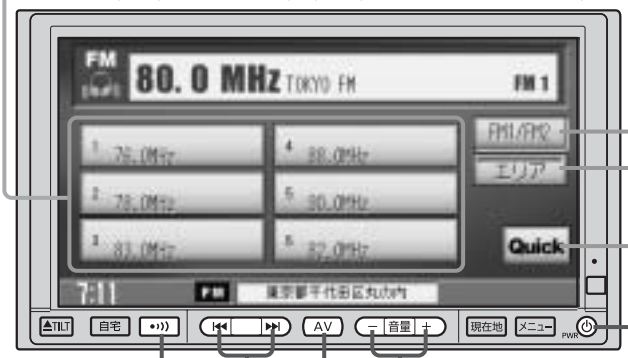
エリア ボタン

現在の車の位置周辺で放送されている放送局を **エリア表示** ボタン(1〜6)に表示します。
(74ページ)

Quick ボタン

カスタマイズ機能を使用することができます。(147ページ)
※地図DVD-ROM未挿入のときは選択できません。

ラジオ(FM)モード画面(例)　(エリアボタン未選択時)



ボタン( ) ⏻

オーディオモードを開始／終了(AV OFF状態に)します。

選局 ボタン(⏮／⏭)

手動／自動選局に使用します。
(75ページ)

音量 ボタン

音量の増減を調整します。
＋：音量増
－：音量減

ボタン( ) ･･))))

道路交通情報を受信します。
(77ページ)

ボタン

オーディオソース画面を表示します。
※ナビゲーション／iPod／CD／DVD／MP3／WMA／MD／DTV／TV／AUX／AM(FM)モードからFM(AM)モードに切り替えるときに使用します。
(72ページ)

次ページ ボタン(**前ページ** ボタン)

エリアボタン選択時(表示灯黄色点灯時)に、エリアが7局以上ある場合 **次ページ** ボタンが表示されます。タッチするたびに次ページ↔前ページと切り替わります。
(74ページ)

ラジオ(FM)モード画面(例)　(エリアボタン選択時)

エリア ボタン

現在の車の位置周辺で放送されている放送局を **エリア表示** ボタン(1～6)に表示します。
(74ページ)

エリア表示 ボタン(1～6)

エリア選局画面でエリアが **エリア表示** ボタン(1～6)に表示されます。(74ページ)

※呼び出しは、メモリーしたボタンを軽く(1.5秒未満)タッチします。

更新 ボタン

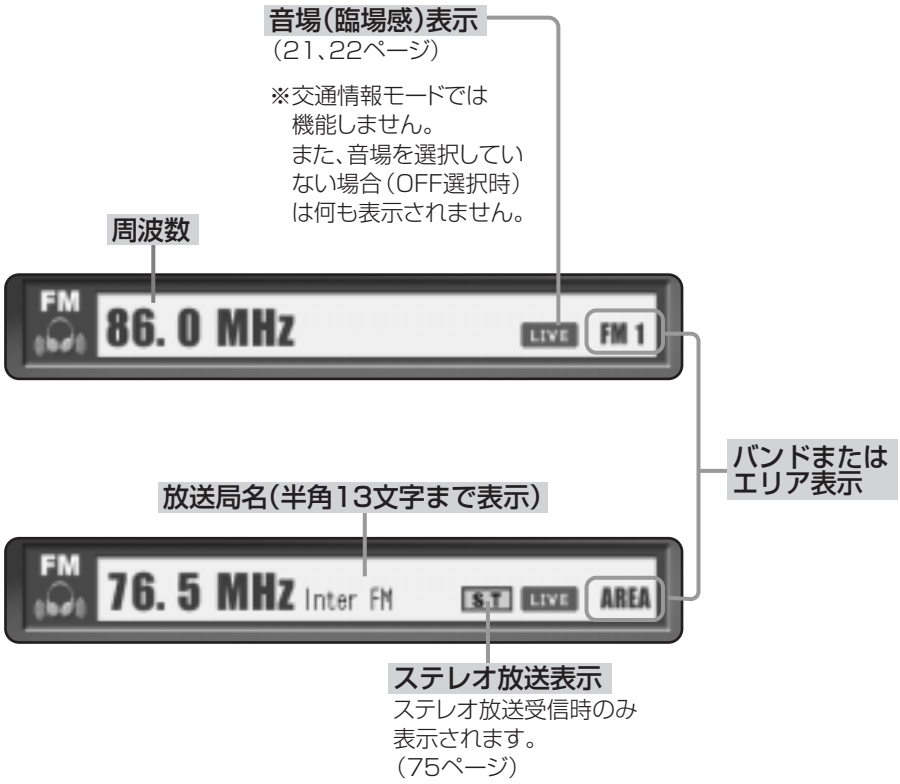
エリア ボタンタッチで表示させた放送局を最新の情報(放送局)で表示しなおします。(74ページ)

アドバイス

エリア ボタン選択時、 **エリア** ボタンの表示灯が黄色に点灯します。

ラジオを使う(2)

表示部について



※放送局名は、現在の車の位置周辺の放送局名を表示しますが、全ての放送局の名称が表示されるわけではありません。

ラジオを聞く

① ボタン(⏻)

■ 他のモード画面を表示している場合

□ 前回ラジオ(AM／FM)モード画面でAV OFF(オーディオモードを終了)していた場合

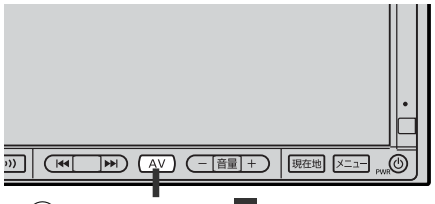
①パネルの ボタン(⏻)を押す。

：ラジオ放送を受信します。

□ ナビゲーションモードまたは前回ラジオ(AM／FM)モード以外のオーディオモード画面の場合

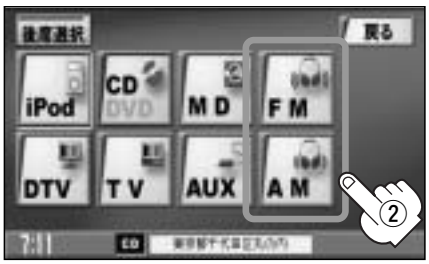
①パネルの ボタンを押す。

：オーディオソース画面またはラストモード*画面が表示されます。



① ボタン

オーディオソース画面(例)



□ オーディオソース画面のときは…
②にすすんでください。

□ ラストモード*画面のときは…
もう一度 ボタンを押す。

：オーディオソース画面が表示されます。

*：前回最後に選択していたモード画面(AV OFF含む)

②画面の AM または FM ボタンをタッチする。

：ラジオ放送を受信します。

■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

☞「音量を調整する」14ページ
「映像の調整のしかた」16～18ページ
「オーディオの調整をする」21～26ページ

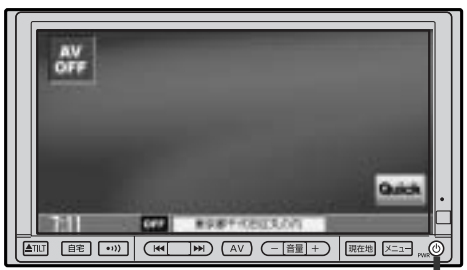
アドバイス

ラジオ(AM／FM)の音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。
☞「音声はそのままで、ナビゲーション画面を表示する」15ページ

ラジオを切る

1 **パネルの ボタン(⏻)を押す。**

：画面に“AV OFF”と表示されラジオ放送を終了します。(オーディオモード終了)



1 ボタン(⏻)

ラジオを使う(3)

バンドを選ぶ

AM1／AM2またはFM1／FM2の中から聞きたいバンドを選ぶことができます。

■72ページ手順②で選択したバンドの切り替えとなります。

□ AM ボタンを選択した場合

AM1／AM2を切り替えることができます。

①画面の AM1／AM 2 ボタンをタッチする。

：タッチするたびにバンドがAM1↔AM2と切り替わり、また、AM1のプリセットボタン表示↔AM2のプリセットボタン表示と切り替わります。

□ FM ボタンを選択した場合

FM1／FM2を切り替えることができます。

①画面の FM1／FM 2 ボタンをタッチする。

：タッチするたびにバンドがFM1↔FM2と切り替わり、また、FM1のプリセットボタン表示↔FM2のプリセットボタン表示と切り替わります。

アドバイス

AMとFMの切り替えはパネルの ボタンを押してオーディオソース画面を表示させ、 AM ボタンまたは FM ボタンをタッチして選択してください。

選局する エリア選局／手動選局／自動選局／プリセット選局があります。

■ エリア選局で放送局を選ぶ場合

現在の車の位置周辺で放送されている放送局を呼び出すことができます。

①ラジオモード画面で画面の **エリア** ボタンをタッチする。

ラジオ(AM)モード画面(例)

：現在地周辺のエリアで放送されている放送局が **エリア表示** ボタン(1～6)に表示されます。

②**エリア表示** ボタン(1～6)の中で聞きたい放送局をタッチする。

：ラジオ放送を受信します。

アドバイス

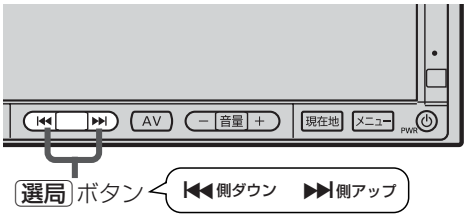
- 表示された放送局がかならず受信されるわけではありません。
- 地域によって放送局の数が異なりますので、全ての **エリア表示** ボタンに表示されるとは限りません。
- 放送局名を表示したとき、同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域では、重複した放送局が表示されることがあります。
- 放送局が7局以上ない場合 **次ページ** ボタンは表示されません。7件以上ある場合は **次ページ** ボタンをタッチして、次の放送局を表示させることができます。前ページの放送局表示に戻る場合は **前ページ** ボタンをタッチします。
- エリア表示(**エリア** ボタンの表示灯点灯)のまま放置(走行)していた場合に **更新** ボタンをタッチするとエリアが更新され、現在地周辺の最新エリアの放送局が表示されます。

ラジオを使う(4)

■ 手動選局で放送局を選ぶ場合

①パネルの 選局 ボタン(⏮／⏭)を押す。

：ボタンを押すたびに、FMは0.1MHz、AMは9kHzずつ変わります。



■ 自動選局で放送局を選ぶ場合

①パネルの 選局 ボタン(⏮／⏭)を0.7秒以上押す。

：自動選局を始め、放送局を受信すると、自動的に止まります。
希望の放送局が見つかるまで、この操作を繰り返してください。
※自動選局中に 選局 ボタン(⏮／⏭)を押すと、自動選局は止まります。

アドバイス

- 選局中は表示部に“サーチ中…”と表示されます。
- FMステレオ放送を受信すると ST が表示されます。
- 受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。

■ プリセット選局で放送局を選ぶ場合

プリセット ボタン(1～6)にメモリーした放送局を呼び出すことができます。

：あらかじめ プリセット ボタン(1～6)に放送局をメモリーしておく必要があります。
☞「 プリセットボタンにメモリーする 」76ページ

①バンドを選ぶ。

☞「 バンドを選ぶ 」73ページ

②呼び出したい プリセット ボタン(1～6)をタッチする。

ラジオ(FM)モード画面(例)

プリセット ボタン(1～6)

プリセットボタンにメモリーする

メモリーしたい局を選び、プリセットボタン(1〜6)にメモリーします。

AM1、AM2、FM1、FM2バンドで、各ボタンに6局ずつ、計24局メモリーできます。

1 バンドを選ぶ。

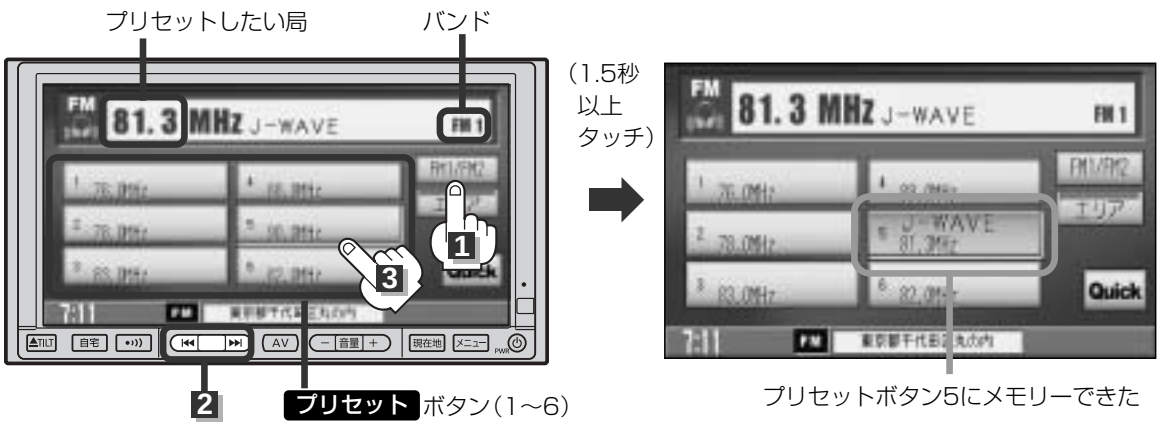
☞「バンドを選ぶ」73ページ

2 パネルの選局ボタン(⏮／⏭)を押して、メモリーしたい局を選ぶ。

☞「■手動選局で放送局を選ぶ場合 ／ ■自動選局で放送局を選ぶ場合」75ページ

3 画面のプリセットボタン(1〜6)のうち、メモリーしたいボタンを1.5秒以上(プリセットボタンの表示がメモリーしたい局の表示に変わるまで)タッチする。

例 手順1で"FM1"を、また手順2で"81.3MHz"を選び、プリセットボタン5にメモリーする場合



アドバイス

- すでにプリセットされているボタンに新たにプリセットすると、それまでの放送局は上書き(消去)されます。
- メモリーした放送局を呼び出すには、バンドを選び、呼び出したいプリセットボタン(1〜6)を軽く(1.5秒未満)タッチします。

☞「■プリセット選局で放送局を選ぶ場合」75ページ

交通情報を受信する

道路交通情報を聞く

AMラジオ局の道路交通方法を受信することができます。

1 パネルの ボタン(•›››)を押す。

：交通情報モード画面になり、
AMラジオ局の道路交通情報を
受信します。

ボタン(•›››)

アドバイス

- 他のモードのときに交通情報モードにした場合は ボタン(•›››)をもう一度押すとそれまでのモードに戻すことができます。
- 交通情報の1620kHzは変更することはできません。

道路交通情報の受信を止める

■ パネルの ボタン(⏻)を押した場合

：画面に“AV OFF”と表示されオーディオモードを終了(交通情報受信終了)します。

■ パネルの ボタン(•›››)を押した場合

：交通情報モード画面にする前のモードに戻ります。

DVD

DVDプレーヤーについて ……79
DVDプレーヤーを使う ……80
各部の名称とはたらき……80
再生を始める……83
DVDを止める ……85
DVDディスクを取り出す ……85
再生を停止する……85
再生を一時停止する……86
再生中にチャプターを戻す／進める……87
早戻し／早送りをする……87
コマ戻し／コマ送りをする……88
スロー戻し／スロー送りをする……88
DVDメニューを使う ……89
タイトルメニューを使う……91
字幕言語を切り替える……93
音声言語を切り替える……94
好きな所から再生する……95
時間の表示を替える……97
リピート再生する……98
アングルを切り替える……99
DVDの各種設定について ……100
各部の名称とはたらき ……100
各種設定を変更する ……101

DVDプレーヤーについて

■本機は、DVDビデオの高画質映像と高音質なデジタルサウンドを再生することができます。また、DVDビデオに記録されている複数の言語（音声や字幕など）を切り替えて表示できるほか、複数のアングルで記録されているものは、好きなアングルに切り替えて再生することができます。

⚠本機は、マクロビジョンコーポレーションやその他の権利者が保有する、米国特許権及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。

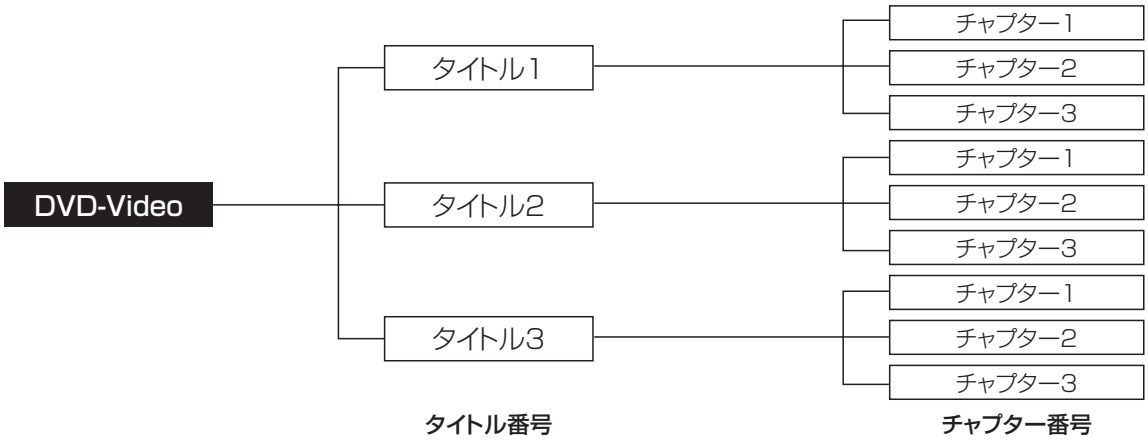
■ディスクに表示されているマークについて

DVDのディスクやパッケージに表示されているマークには下記のものがあります。（例）

マーク（例）	意　味
	音声のトラック数を表します。
	字幕の数を表します。
	アングル数を表します。
	選択可能な画像アスペクト比（TV画面の横と縦の比率）を表します。 ●「16：9」はワイド画面、「4：3」は標準画面です。
	再生可能な地域番号を表します。 ●ALLは全世界向け、数字は地域番号です。「2」は日本を示します。

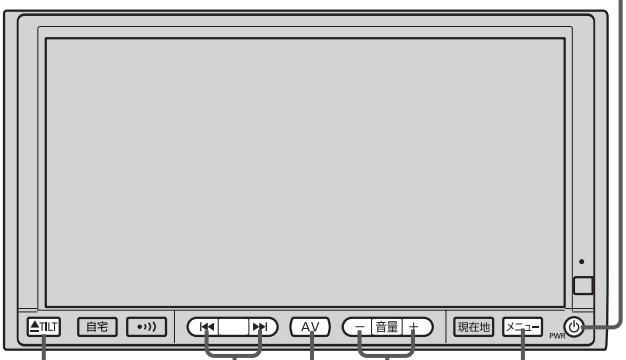
■ディスクの構成について

DVDに収録されている映像や曲は、通常いくつかの区切りに分けられています。
大きく分けた区切りをタイトルと言い、それぞれのタイトルには番号（タイトル番号）が付けられています。また、タイトルは小さな区切りのチャプターで構成されており、それぞれのチャプターにも番号（チャプター番号）が付けられています。



DVDプレーヤーを使う(1)

各部の名称とはたらき



ボタン( ) ⏻

オーディオモードを開始／終了
(AV OFF状態に)します。
また、2秒以上長押しで画面を消します。

メニュー ボタン

操作ボタンを表示または消します。
※押すたびに
操作ボタン無 → 操作ボタン有 → オーディオメニュー画面の表示
をくり返します。

音量 ボタン

音量の増減を調整します。
＋：音量増
－：音量減

ボタン

オーディオソース画面を表示します。
※ナビゲーション／iPod／MD／
FM／DTV／TV／AUX／
AMモードからDVDモードに切り替える
ときに使用します。(84ページ)

ボタン

パネルをオープンさせて、
ディスクを入れる／取り出す
ときに使用します。
(83、85ページ)

ボタン(⏮／⏭)

- 再生中にチャプター画像を戻す／進めるときに使用します。(87ページ)
- 押し続けて早戻し／早送りします。(87ページ)
- 一時停止中にコマ戻し／送りをします。(88ページ)
- 一時停止中にスロー戻し／送りをします。(88ページ)

DVDプレーヤーを使う(2)

操作ボタン1表示画面

Quick ボタン

カスタマイズ機能を使用することができます。(147ページ)

※地図DVD-ROM未挿入のときは選択できません。

次へ ボタン

次ページの操作ボタンを表示します。(操作ボタン2表示画面)

ボタン消 ボタン ※1

画面に表示される操作ボタンを消します。

音声 ボタン

(DVDビデオ再生中のみ)タッチするごとに、ディスクに収録されている音声言語リストの中で、音声言語が切り替わります。(94ページ)

字幕 ボタン

(DVDビデオ再生中のみ)タッチするごとに、ディスクに収録されている字幕言語リストの中で、字幕言語が切り替わります。(93ページ)

タイトル ボタン

DVDビデオ再生中にタッチすると、タイトルメニュー画面になります。(91ページ)

メニュー ボタン

DVDビデオ再生中にタッチすると、DVDメニュー画面になります。(89ページ)

停止 ボタン(■)

再生中にタッチすると、再生をやめ、停止画面を表示します。(85ページ)

再生／一時停止 ボタン(►II)

再生中にタッチすると、映像・音声が一時的に止まります。もう一度タッチすると再び再生が始まります。(86ページ)

停止画面

各種設定 ボタン ※1

各種設定画面を表示します。(100、101ページ)

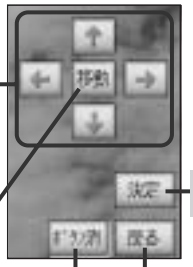
続き再生解除 ボタン

続きメモリー機能を解除します。(85、100ページ)

再生／一時停止 ボタン(►II)

再生を始めるときに使用します。(85、100ページ)

カーソル表示画面



カーソルキー

↑(上)／↓(下)
←(左)／→(右)
ボタン

項目を上下左右選択します。

決定 ボタン ※2

画面で選んだ項目を決定(実行)します。

※1

移動 ボタン

カーソル表示を画面の左側または右側へ移動します。

戻る ボタン ※3

操作ボタン2表示画面を表示します。

エンター ボタン

画面で選んだ項目を実行します。

リジューム ボタン

DVDビデオ再生中に、メニュー画面を表示させた後、このボタンをタッチすると、
メニュー画面を表示させる前の所より再生（リジューム再生）を行ないます。（90、92ページ）

カーソル ボタン

カーソルキーを表示させ、画面で項目を選ぶときに使用します。（カーソル表示画面）

サーチ ボタン

タイトル、チャプター、タイムのサーチ選択画面を
表示します。（95、96ページ）

操作ボタン2表示画面

10キー ボタン

10キー入力画面を表示させ、数字を入力するときに
使用します。

前へ ボタン

操作ボタン1の画面を表示します。

※1

リターン ボタン

DVDメニュー画面操作時に1つ前の画面に戻ります。
※ディスクによってはこの操作を禁止しているものもあります。

アングル ボタン

タッチするごとに、アングルが切り替わります。（99ページ）

リピート ボタン

タッチするごとにリピートモードが切り替わります。（98ページ）

タイム ボタン

画面左うえに再生の時間を表示します。（97ページ）

サーチ選択画面

※1　※4　※3　※2

切替 ボタン

サーチモードを切り替えます。

10キー入力画面

※1　※3　※2

10キー ボタン(0～10) ※4

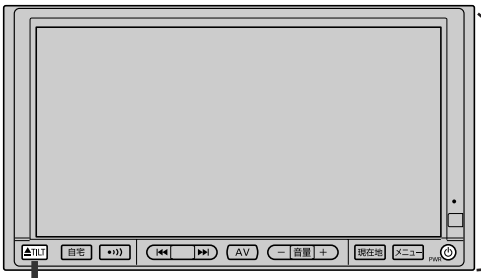
数字を入力するときに使用します。

訂正 ボタン

10キーボタンで
入力した数字を
訂正するときに
使用します。

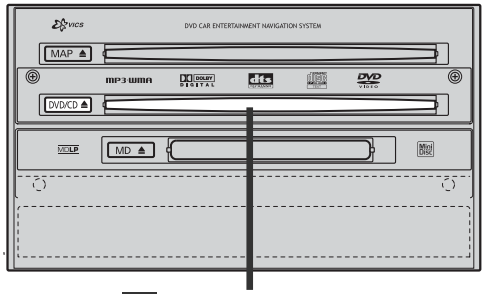
DVDプレーヤーを使う(3)

[ディスプレイが閉じた状態]



1 ボタン

[ディスプレイが開いた状態]



2 ディスク挿入口

再生を始める

安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみ映像をご覧になることができます。(走行中は音声のみになります。)

DVDモード画面(走行中)(例)

タイトル番号
チャプター番号を
表示します。

音場表示
選択中の音場を表示します。
☞21、22ページ

■ ディスク未挿入の場合

1 **パネルの ボタンを押す。**

:ディスプレイが開きます。

2 **ディスク挿入口にDVDディスクを差し込む。**

:自動でディスプレイが閉じ、自動的に再生を始めます。

■ 他のモード画面を表示している場合

□ 前回DVDモード画面でAV OFF (オーディオモードを終了)していた場合

①パネルの ボタン(⏻)を押す。

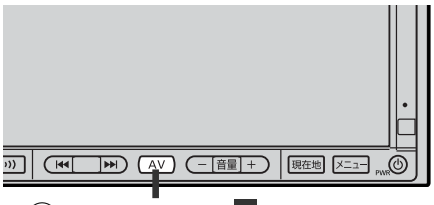
:前回のつづきからDVDの再生を始めます。

① ボタン(⏻)

□ ナビゲーションモードまたは前回DVDモード以外のオーディオモード画面の場合

①パネルの ボタンを押す。

：オーディオソース画面またはラストモード*画面が表示されます。



① ボタン

□ オーディオソース画面のときは…
②にすすんでください。

□ ラストモード*画面のときは…
もう一度 ボタンを押す。

：オーディオソース画面が表示されます。

*：前回最後に選択していたモード画面（AV OFF含む）

オーディオソース画面

②画面の CD DVD ボタンをタッチする。

：DVDの再生を始めます。

3 DVDメニューまたはタイトルメニュー画面が表示された場合は…

下記の2つの操作方法があります。

■ 画面のメニュー項目を直接タッチする。

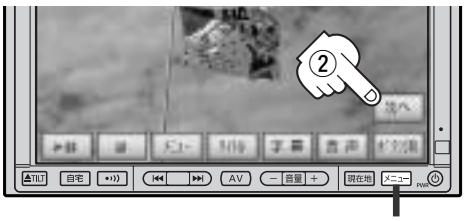
※●ディスクによっては操作できない場合があります。
●操作ボタンが表示されている場合は項目を選択できません。 ボタン消 ボタンをタッチして操作ボタンを消してください。

■ カーソルを表示させ項目を選択する。

①パネルの メニュー ボタンを押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面



① メニュー ボタン

②画面の 次へ ボタンをタッチし操作ボタン2表示画面を表示させ、画面の カーソル ボタンをタッチする。

：カーソル表示画面が表示されます。

③画面の ↑ ↓ ← → (上／下／左／右)ボタンをタッチして項目を選択し、決定 ボタンをタッチする。

「 DVDメニューを使う 」89ページ 手順 4 を参考にしてください。

：選択した項目が再生されます。

※操作ボタンの表示を止めるには ボタン消 ボタンをタッチしてください。
※その他の操作につきましては各々のページ(85～99ページ)を参照してください。

DVDプレーヤーを使う(4)

アドバイス

DVDの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。
「音声はそのままで、ナビゲーション画面を表示する」15ページ

■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

「音量を調整する」14ページ
「映像の調整のしかた」16～18ページ
「オーディオの調整をする」21～26ページ

DVDを止める

1 パネルの ボタン(⏻)を押す。

：画面に“AV OFF”と表示されDVDの再生を止めます。(オーディオモード終了)

DVDディスクを取り出す

1 33ページ CDを取り出す の手順 **1** 、 **2** を参考に操作してください。

再生を停止する

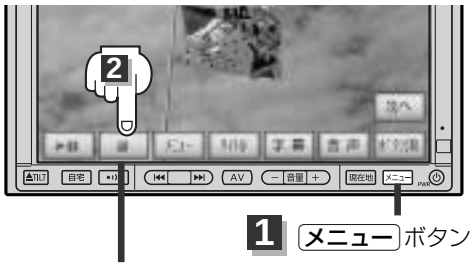
1 パネルの メニュー ボタンを押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。

2 画面の **停止** ボタン(■)をタッチする。

：再生を止め、停止画面が表示されます。
(続きメモリー機能が働きます。)

操作ボタン1表示画面



停止画面

続きメモリー機能

- 再生中に **停止** ボタン(■)をタッチすると、本機は、再生を止めた位置をメモリーします。これを続きメモリー機能と呼びます。この機能が働いている間は、画面に“►II ボタンでつづきから再生します”を表示し、映像／音声を止めます。 **再生／一時停止** ボタン(►II)をタッチすると、再生を止めた続きから、再生が始まります。
- 続きメモリー機能は、 **続き再生解除** ボタンをタッチするかディスクイジェクト(取り出す)操作で解除されます。

3 **再び再生を始めるには…**
画面の 再生／一時停止 ボタン(►II)をタッチする。

：続きメモリー機能が働いている場合は、再生を止めた続きから再生します。
続きメモリー機能が働いていない場合は、ディスクの最初から再生します。

アドバイス

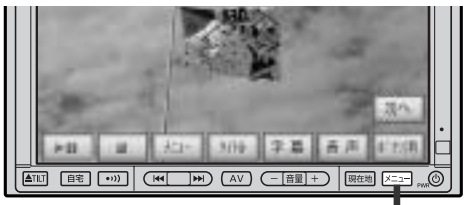
ディスクの最初から再生したい場合は手順 **3**（停止画面）のとき画面の **続き再生解除** ボタンをタッチし、**再生／一時停止** ボタン(►II)をタッチします。

再生を一時停止（静止）する

1 **パネルの［メニュー］ボタンを押す。**

：操作ボタン1表示画面が表示されます。

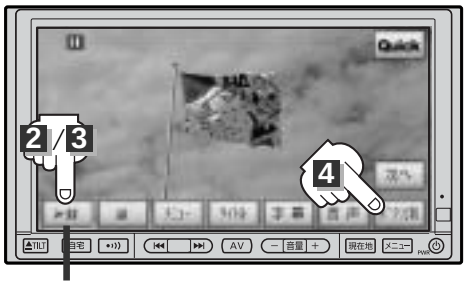
操作ボタン1表示画面



1 ［メニュー］ボタン

2 **画面の 再生／一時停止 ボタン(►II)をタッチする。**

：画面に“❚❚”を表示し、映像を停止（静止）します。（音声も止まります。）



再生／一時停止 ボタン(►II)

3 **再び再生を始めるには…**
画面の 再生／一時停止 ボタン(►II)をタッチする。

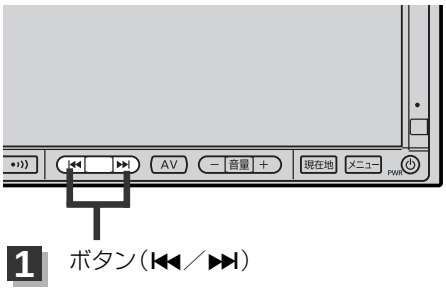
：再生を止めた続きから再生します。

4 **画面の操作ボタンの表示をやめるには…**
画面の ボタン消 ボタンをタッチする。

DVDプレーヤーを使う(5)

再生中にチャプターを戻す／進める

1 パネルの ボタン(⏮／⏭)を押す。



1 ボタン(⏮／⏭)

■ 前のチャプターに戻る場合

⏮側を2回押す。：1つ前のチャプターに戻ります。
※1回押した場合は、再生中のチャプターの頭に戻ります。

■ 次のチャプターに進む場合

⏭側を押す。：次のチャプターに進みます。

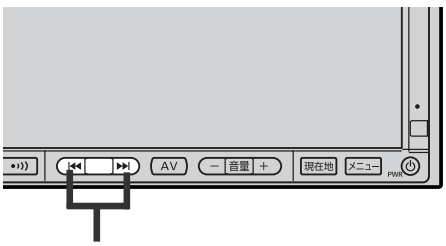
アドバイス

- チャプターとは、DVDビデオに収録されている音声や映像の小さな区切りです。
- ディスクによっては、この機能を禁止しているチャプターが収録されているものもあります。

早戻し／早送りをする

1 パネルの ボタン(⏮／⏭)を押し続ける。

：通常の6倍の早さで早戻し／早送りをします。



1 ボタン(⏮／⏭)

■ 早戻しで戻る場合

⏮側を押し続ける。
：早戻しで戻ります。

■ 早送りで進む場合

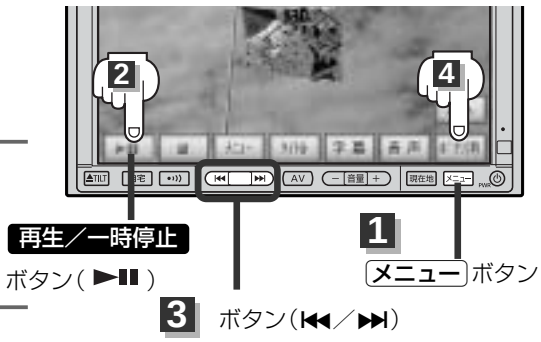
⏭側を押し続ける。
：早送りで進みます。

アドバイス

それぞれ、ボタンから手を離したところで通常再生を始めます。

コマ戻し／コマ送りをする

操作ボタン1表示画面



1 パネルの メニュー ボタンを押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。

2 画面の **再生／一時停止** ボタン（►II）をタッチする。

3 パネルの ボタン（I◀◀／▶▶I）を押す。

■ コマ戻しをする場合

I◀◀側を押す。：押すごとに映像を1コマずつ戻します。

■ コマ送りをする場合

▶▶I側を押す。：押すごとに映像を1コマずつ送ります。

※通常再生をするには画面の **再生／一時停止** ボタン（►II）をタッチします。

4 画面の操作ボタンの表示をやめるには…画面の **ボタン消** ボタンをタッチする。

アドバイス

この操作中音声は出ません。また、ディスクによってはこの操作を禁止しているものもあります。

スロー戻し／スロー送りをする

1 上記、コマ戻し／コマ送りをする 手順 **1**、**2** にしたがって操作し、手順 **3** のときパネルの ボタン（I◀◀／▶▶I）を押し続ける。

■ スロー戻しをする場合 **I◀◀側を押し続ける。**：スロー戻しで戻ります。

■ スロー送りをする場合 **▶▶I側を押し続ける。**：スロー送りで進みます。

※それぞれ、ボタンから手を離したところで通常再生を始めます。

アドバイス

この操作中音声は出ません。また、ディスクによってはこの操作を禁止しているものもあります。

2 画面の操作ボタンの表示をやめるには…画面の **ボタン消** ボタンをタッチする。

DVDプレーヤーを使う(6)

DVDメニューを使う

DVDビデオによっては、DVDメニューが収録されているものがあります。
この場合は、DVDメニューを使って、好きなシーンを選んで再生することができます。

アドバイス

下記手順 **4** のようにカーソルを表示しなくても画面に表示されたメニュー項目をタッチして、ダイレクトに項目を選ぶことができます。(その場合は、 **ボタン消** ボタンをタッチして操作ボタンを消してください。)
※ディスクによっては操作できない場合があります。

1 **再生中にパネルの メニュー ボタンを押す。**
：操作ボタン1表示画面が表示されます。

1 メニュー ボタン

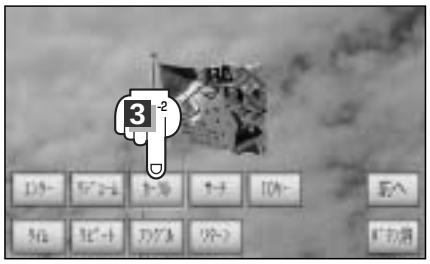
操作ボタン1表示画面

2 **画面の メニュー ボタンをタッチする。**
：DVDメニュー画面が表示されます。

3 **画面の 次へ ボタンをタッチし操作ボタン2表示画面を表示させ、画面の カーソル ボタンをタッチする。**
：カーソル表示画面が表示されます。

操作ボタン2表示画面

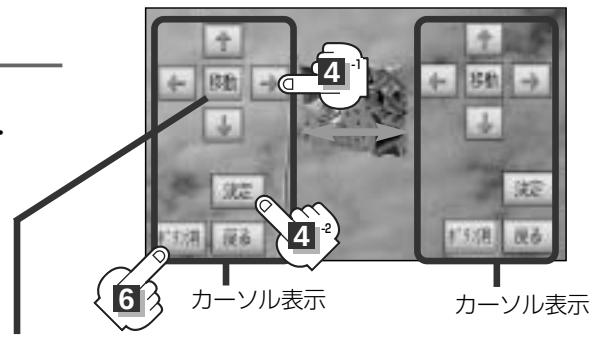
4 **画面の ↑ ↓ ← → (上／下／左／右) ボタンをタッチして、項目を選び、 決定 ボタンをタッチする。**
：選んだ項目(シーン)の再生が始まります。



カーソル表示画面

5 **さらに選択画面が続く場合は、手順 4 をくり返してください。**

6 **画面の操作ボタンの表示をやめるには…画面の ボタン消 ボタンをタッチする。**



移動 ボタンをタッチするたびにカーソル表示が画面の右または左へ移動します。

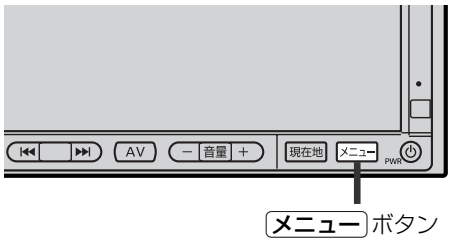
アドバイス

- ディスクによっては、DVDメニューが収録されていないものもあります。
- DVDメニューはディスクに収録されているため、内容はディスクによって異なりますが、例えば、音声言語／字幕言語／チャプターの選択をしたり、映画解説を再生するなどの操作ができます。
- ディスクによっては、「DVDメニュー」のことを「メニュー」等と表示しているものもあります。
  また、手順 4 で 決定 ボタンのことを「実行ボタン／選択ボタン」を押すと表示しているものもあります。
- 再生するDVDビデオに付属されている説明書も、あわせてお読みください。

■ DVDメニューの操作を終わる／途中で止める場合（リジューム再生）

□ 操作ボタン（カーソル含む）表示が消えている場合

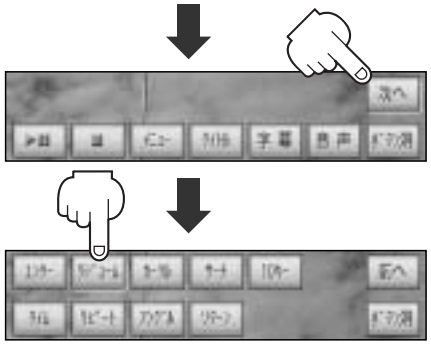
- パネルの メニュー ボタンを押す →
  画面の 次へ ボタンをタッチ →
  リジューム ボタンをタッチする。



メニュー ボタン

□ 操作ボタンが表示されている場合

- 手順 2 でDVDメニュー画面を表示している場合
  画面の 次へ ボタンをタッチ →
  リジューム ボタンをタッチする。
- 手順 3 でカーソル表示画面を表示している場合
  画面の 戻る ボタンをタッチ →
  リジューム ボタンをタッチする。



：DVDメニューが表示される前の場面の続きから、再生を始めます。

※画面の操作ボタンの表示をやめるには、画面の ボタン消 ボタンをタッチしてください。

※ディスクによっては、続きから再生できないものもあります。詳しくは、再生するディスクに付属されている説明書をお読みください。

DVDプレーヤーを使う(7)

タイトルメニューを使う

複数のタイトルに分かれているDVDビデオによっては、タイトルメニューが収録されているものがあります。この場合は、タイトルメニューを使って、好きなシーンを選んで再生することができます。
※タイトルとは、DVDビデオに収録されている映像や音声の大きな区切りのことです。

アドバイス

下記手順 **4** のようにカーソルを表示しなくても画面に表示されたメニュー項目をタッチして、ダイレクトに項目を選ぶことができます。(その場合は、 **ボタン消** ボタンをタッチして操作ボタンを消してください。)
※ディスクによっては操作できない場合があります。

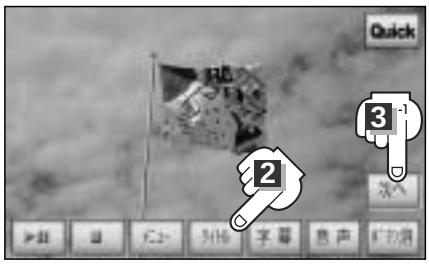
1 **再生中にパネルの メニュー ボタンを押す。**
：操作ボタン1表示画面が表示されます。

1 メニュー ボタン

操作ボタン1表示画面

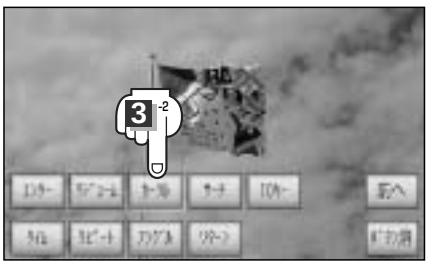
2 **画面の タイトル ボタンをタッチする。**
：タイトルメニュー画面が表示されます。

3 **画面の 次へ ボタンをタッチし操作ボタン2表示画面を表示させ、画面の カーソル ボタンをタッチする。**
：カーソル表示画面が表示されます。



操作ボタン2表示画面

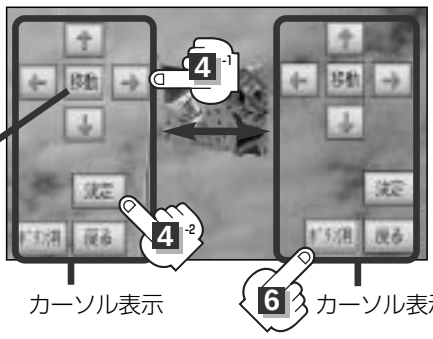
4 **画面の ↑ ↓ ← → (上／下／左／右) ボタンをタッチして、項目を選び、 決定 ボタンをタッチする。**
：選んだタイトルのメニューに収録されているシーンの再生が始まります。



カーソル表示画面

5 **さらに選択画面が続く場合は、手順 4 をくり返してください。**

6 **画面の操作ボタンの表示をやめるには…**
画面の ボタン消 ボタンをタッチする。



移動 ボタンをタッチするたびにカーソル表示が画面の右または左へ移動します。

カーソル表示　　カーソル表示

アドバイス

- ディスクによっては、タイトルメニューが収録されていないものもあります。
- タイトルメニューはディスクに収録されているため、内容はディスクによって異なりますが、例えば、音声言語／字幕言語／チャプターの選択をしたり、映画解説を再生するなどの操作ができます。
- ディスクによっては、「タイトルメニュー」のことを「メニュー」、「タイトル」等と表示しているものもあります。また、手順 **4** で **決定** ボタンのことを「実行ボタン／選択ボタン」を押すと表示しているものもあります。
- タイトルメニューを表示させ（約2分以上）何も操作しないとDVDの再生が始まる場合があります。
- 再生するDVDビデオに付属されている説明書も、あわせてお読みください。

■ タイトルメニューの操作を終わる／途中で止める場合（リジューム再生）

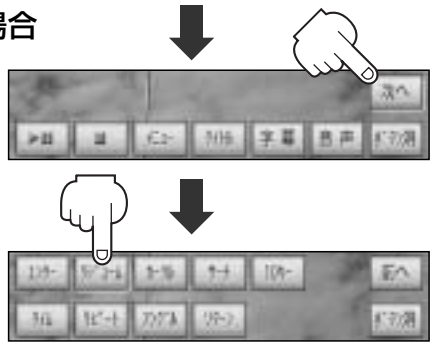
□ 操作ボタン（カーソル含む）表示が消えている場合

- パネルの［メニュー］ボタンを押す →
  画面の **次へ** ボタンをタッチ →
  リジューム ボタンをタッチする。

［メニュー］ボタン

□ 操作ボタン表示されている場合

- 手順 **2** でタイトルメニュー画面を表示している場合
  画面の **次へ** ボタンをタッチ →
  リジューム ボタンをタッチする。
- 手順 **3** でカーソル表示画面を表示している場合
  画面の **戻る** ボタンをタッチ →
  リジューム ボタンをタッチする。



：タイトルメニューが表示される前の場面の続きから、再生を始めます。

※画面の操作ボタンの表示をやめるには、画面の **ボタン消** ボタンをタッチしてください。

※ディスクによっては、続きから再生できないものもあります。詳しくは、再生するディスクに付属されている説明書をお読みください。

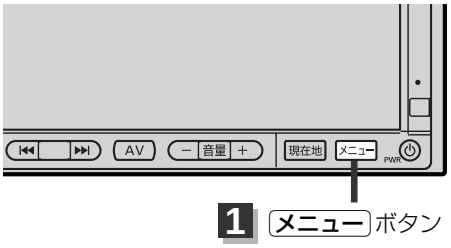
DVDプレーヤーを使う(8)

字幕言語を切り替える

ディスクによっては、字幕が収録されているものもあります。
この場合は、字幕を表示する／しないを選ぶことができます。また、ディスクによって、複数の字幕言語が収録されているものもあり、この場合は好きな言語を選ぶことができます。

1 パネルの[メニュー]ボタンを押す。

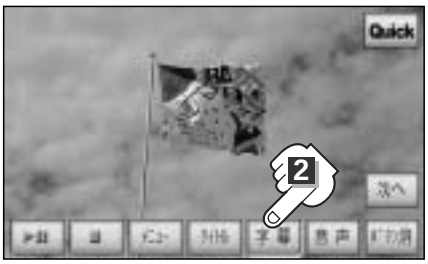
：操作ボタン1表示画面が表示されます。



2 画面の 字幕 ボタンをタッチする。

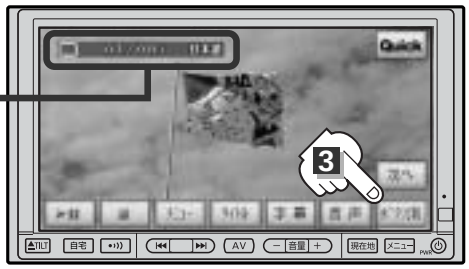
：タッチするごとに、ディスクに収録されている字幕言語リストの中で、字幕言語が切り替わります。

操作ボタン1表示画面



3 画面の操作ボタンの表示をやめるには…
画面の ボタン消 ボタンをタッチする。

字幕言語リスト(例)



アドバイス

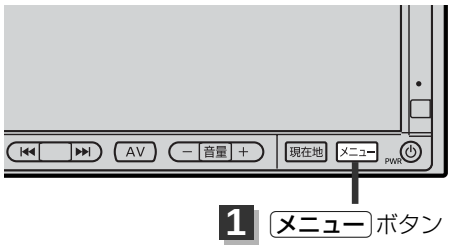
- ディスクによっては、字幕を変更したり消したりすることを禁止しているものもあります。
- 字幕言語は、DVDメニュー(☞89ページ)や言語設定(☞103ページ)でも切り替えられます。
- ディスクによっては、上記(手順 1 、 2)の操作では、字幕言語の切り替えができないものもあります。この場合は、DVDメニュー(☞89ページ)または言語設定(☞103ページ)で切り替えてください。

音声言語を切り替える

ディスクによっては複数の音声言語が収録されているものもあります。この場合は下記にしたがって言語を選んでください。

1 パネルの〔メニュー〕ボタンを押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



1 〔メニュー〕ボタン

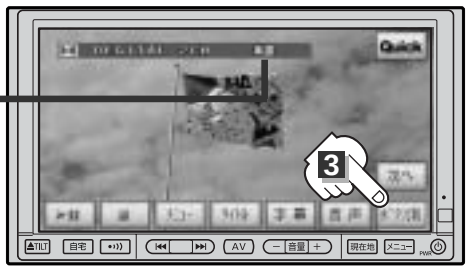
2 画面の 音声 ボタンをタッチする。

：タッチするごとに、ディスクに収録されている音声言語リストの中で、音声言語が切り替わります。

操作ボタン1表示画面

3 画面の操作ボタンの表示をやめるには…
画面の ボタン消 ボタンをタッチする。

音声言語リスト(例)



アドバイス

- 音声言語は、DVDメニュー(☞89ページ)や言語設定(☞103ページ)でも切り替えられます。
- ディスクによっては、上記(手順 **1** 、 **2**)の操作では、音声言語の切り替えができないものもあります。この場合は、DVDメニュー(☞89ページ)または言語設定(☞103ページ)で切り替えてください。

DVDプレーヤーを使う(9)

好きな所から再生する(サーチ選択)

タイトル、チャプターおよび経過時間を入力すると、そこから再生を始めます。

1 **パネルの[メニュー]ボタンを押す。**

：操作ボタン1表示画面が表示されます。

1 [メニュー]ボタン

2 **画面の 次へ ボタンをタッチする。**

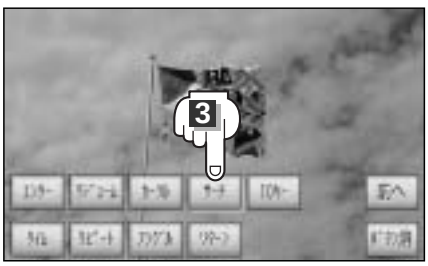
：操作ボタン2表示画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面

3 **画面の サーチ ボタンをタッチする。**

：サーチ選択画面が表示されます。

操作ボタン2表示画面



4 **サーチ選択画面で画面の 10キー ボタンをタッチして、再生したいタイトル／チャプター／タイム(経過時間)を入力する。**

※タイトルとチャプターとタイム(経過時間)は 切替 ボタンをタッチし切り替えて入力します。

→タイトル → チャプター → タイム

サーチ選択画面(例)

10キー ボタン

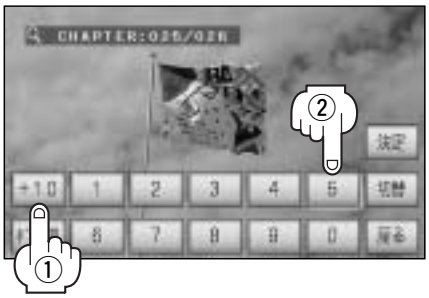
モード表示

例 チャプター番号“25”を入力する場合

①10キーボタンの **+10** ボタンを2回タッチする。：表示が“020”となります。

②10キー入力ボタンの **5** ボタンをタッチする。：表示が“025”となります。

（例）



例 タイム（経過時間）入力で“15分目”を再生する場合

①手順 **4** でサーチ選択画面を表示させたとき画面の **切替** ボタンをタッチする。

：タイム（経過時間）入力画面になります。

②10キー入力ボタンで **0**、**0**、**1**、**5**、**0**、**0** とタッチする。

：表示が TIME __:__:__ → TIME 00:15:00 となります。

（例）

5 画面の **決定** ボタンをタッチする。

：入力したチャプター番号／タイトル番号／タイム（経過時間）から再生を始めます。

チャプター番号25を入力した場合

6 画面の操作ボタンの表示をやめるには…
画面の **ボタン消** ボタンをタッチする。

アドバイス

- 約10秒間、何も操作をしなかった場合、モード表示は消えて、この操作を終了してしまいます。その場合は、画面の **切替** ボタンをタッチし、もう一度手順 **4**（95ページ）からやりなおしてください。
- 数字の入力はモード表示が表示されている時のみ有効です。
- 間違った数字を入力した場合は、サーチモードが解除されますので、画面の **切替** ボタンをタッチし、もう一度手順 **4**（95ページ）からやり直してください。
- ディスクに収録されていないタイトル／チャプター／タイム（経過時間）を入力すると、この操作は、解除となります。
- ディスクによっては、この機能を禁止しているものもあります。

DVDプレーヤーを使う(10)

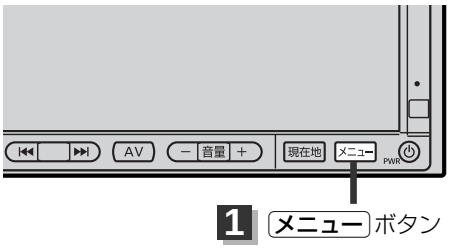
時間の表示を替える

画面に表示する時間の種類を選ぶことができます。

■TITLE ELAPSED……タイトルの経過時間を表示
■TITLE REMAIN ……タイトルの残時間を表示
■CHAPTER ELAPSED ……チャプターの経過時間を表示
■表示なし（何も表示しない）

1 **再生中にパネルの［メニュー］ボタンを押す。**

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



2 **画面の 次へ ボタンをタッチする。**

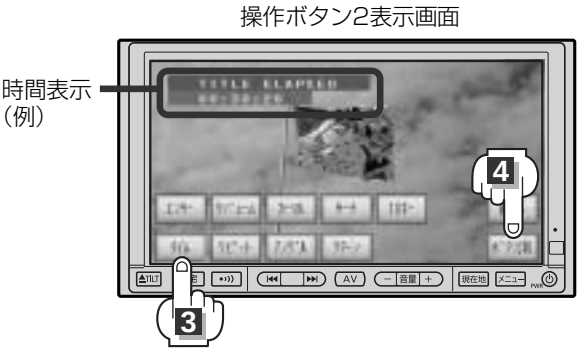
：操作ボタン2表示画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面

3 **画面の タイム ボタンをタッチする。**

：タッチするごとに時間表示が切り替わります。

操作ボタン2表示画面



4 **画面の操作ボタンの表示をやめるには…**
画面の ボタン消 ボタンをタッチする。

■ **時間表示をやめる場合**

手順 1 ～ 3 にしたがって操作し、時間の種類の表示をやめてください。

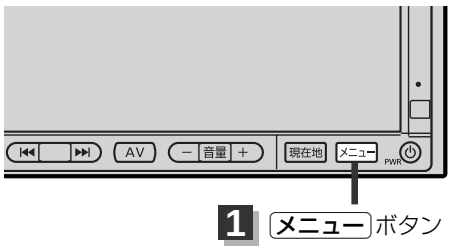
リピート(繰り返し)再生する

再生中のチャプター／タイトルを繰り返すことができます。

■CHAPTER REPEAT ON …再生中のチャプターを繰り返す
■TITLE REPEAT ON ……再生中のタイトルを繰り返す
■REPEAT OFF ……リピート再生しない
※ディスクによっては、リピートの種類を選んでも、リピート再生ができないものもあります。

1 **再生中にパネルの［メニュー］ボタンを押す。**

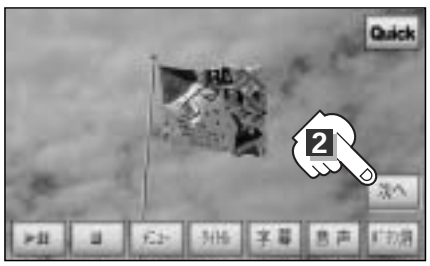
：操作ボタン1表示画面が表示されます。



2 **画面の 次へ ボタンをタッチする。**

：操作ボタン2表示画面が表示されます。

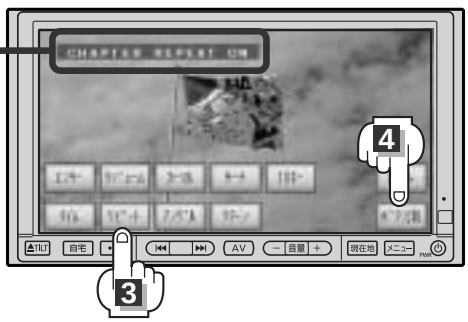
操作ボタン1表示画面



3 **画面の リピート ボタンをタッチする。**

：タッチするごとにモードが切り替わります。

操作ボタン2表示画面



4 **画面の操作ボタンの表示をやめるには…**
画面の ボタン消 ボタンをタッチする。

■ 通常の再生に戻す場合

手順 1 ～ 3 にしたがって操作し、“REPEAT OFF”を選ぶ。

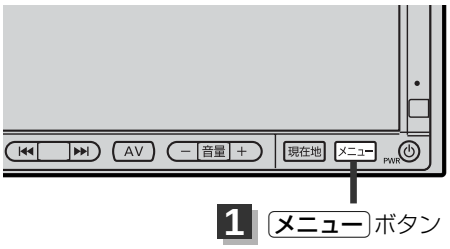
DVDプレーヤーを使う(11)

アングル(角度)を切り替える

ディスクによっては、複数のアングルで収録されているもの(マルチアングル収録)もあります。この場合は、好きなアングルに切り替えて見ることができます。

1 **再生中にパネルの[メニュー]ボタンを押す。**

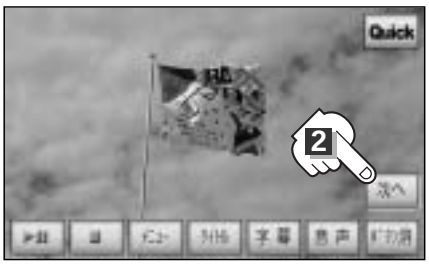
：操作ボタン1表示画面が表示されます。



2 **画面の 次へ ボタンをタッチする。**

：操作ボタン2表示画面が表示されます。

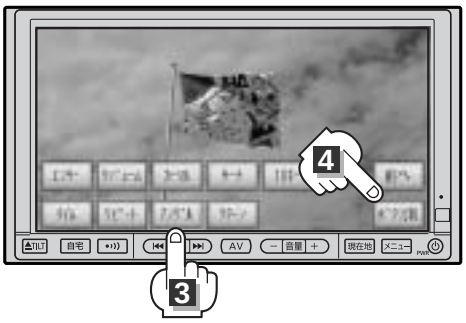
操作ボタン1表示画面



3 **画面の アングル ボタンをタッチする。**

：タッチするごとにアングルが切り替わります。

操作ボタン2表示画面



4 **画面の操作ボタンの表示をやめるには…**
画面の ボタン消 ボタンをタッチする。

アドバイス

- マルチアングル映像が収録されていないディスクでは、“アングル”を選ぶことはできません。
- 収録されている総アングル数は、ディスクによっても、場面によっても異なります。

DVDの各種設定について(1)

各部の名称とはたらき

再生停止中にDVDの各種設定を変更することができます。

各種設定 ボタン

各種設定画面を表示します。

停止画面

ボタン消 ボタン

画面に表示される操作ボタンを消します。

続き再生解除 ボタン

続きメモリー機能を解除します。

再生／一時停止 ボタン(►II)

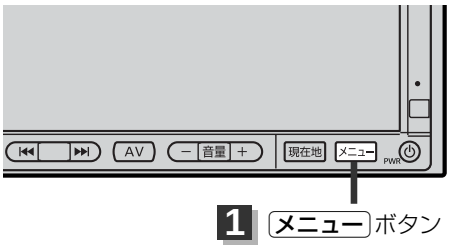
再生を始めるときに使用します。

DVDの各種設定について(2)

各種設定を変更する

1 **再生中にパネルの［メニュー］ボタンを押す。**

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



2 **画面の 停止 (■)ボタンをタッチする。**

：停止画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面

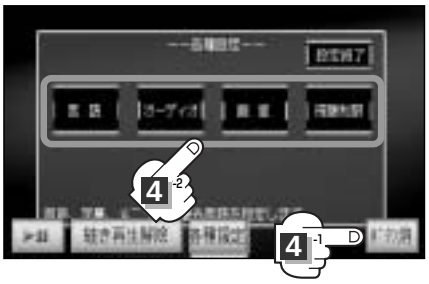
3 **画面の 各種設定 ボタンをタッチする。**

：各種設定画面が表示されます。

停止画面

4 **画面の ボタン消 ボタンをタッチし、設定したい項目(言語 ／ オーディオ ／ 画面 ／ 視聴制限) ボタンをタッチする。**

各種設定画面



選んだ項目	設定できる内容
言語	●音声言語：DVDビデオ再生時の音声言語の切り替え ●字幕言語：DVDビデオ再生時の字幕言語の切り替え ●メニュー言語：DVDメニューの表示言語の切り替え
オーディオ	●ダイナミックレンジ圧縮：DVDビデオ再生時、小さい音量でも迫力のある音にすることができます。 （ドルビーデジタルの音声のみ）
画面	●TVアスペクト：DVDビデオ再生時の画像のアスペクト比の切り替え
視聴制限	●レベル：視聴制限レベルの設定 ●パスワード：視聴制限レベルの設定を他の人が変えられないようにするためのパスワードの変更

“言　　語”を選んだ場合 ➡ 103ページへ進む。
“オーディオ”を選んだ場合 ➡ 105ページへ進む。
“画　　面”を選んだ場合 ➡ 105ページへ進む。
“視聴制限”を選んだ場合 ➡ 106ページへ進む。

アドバイス

- 設定した内容は変更しない限り保持されます。（電源を切っても保持されます。）
- ディスクによっては再生停止中に各種設定を変更しても切り替えができないものもあります。
  この場合はDVDメニュー（☞89、90ページ）で切り替えてください。

■ 言語／オーディオ／画面／視聴制限設定時に、1つ前の選択画面に戻る場合

言語設定画面

画面の 戻る ボタンをタッチする。

■ 各種設定画面を終わる／途中で止める場合

各種設定画面

画面の 設定終了 ボタンをタッチする。
：停止画面に戻ります。

□ 再び再生させるには…

パネルの〔メニュー〕ボタンを押す→
画面の 再生／一時停止 ボタン（►II）をタッチする。
：再生を止めた所より再生します。

DVDの各種設定について(3)

■ 手順 4 (101ページ)で“言語”を選んだ場合

5 設定を変更する項目(音声言語 ／ 字幕言語 ／ メニュー言語)をタッチする。

“音声言語”を選ぶと…
DVDビデオ再生時に優先したい音声言語を切り替えることができます。

“字幕言語”を選ぶと…
DVDビデオ再生時に優先したい字幕言語の切り替えができます。

“メニュー言語”を選ぶと…
DVDビデオ再生時に優先したいメニュー言語を切り替えることができます。

6 手順 5 で選択した設定項目の言語ボタンをタッチする。

□ JAを選んだ場合

：言語コード入力画面が表示されます。

①言語コード表(104ページ)を参照し、言語コードの数字を10キーボタンをタッチして入力する。

②入力が終わったら 実行 ボタンをタッチする。

言語コード入力画面

アドバイス

- 間違った言語コードを入力すると“言語コードが間違っています”と表示されます。再度正しいコードを入力し直してください。
- 入力した数字を訂正するときは クリア ボタンをタッチして数字を再入力してください。
- 工場出荷時の言語は“JA(日本語)”に設定されています。
- “オリジナル”を選んだ場合は、再生するディスクで優先されている言語で再生されます。
- 項目で 字幕言語 を選択したとき、優先する字幕言語を OFF にした場合は字幕が表示されません。
- 前画面へ戻る場合は、 ボタンをタッチしてください。
- ディスクによっては設定された通りに再生しないものもあります。

言語コード表

コード		言　語	コード		言　語	コード		言　語
1027	AA	アファル語	1239	IE	国際語	1482	RN	キルンディ語
1028	AB	アブバジア語	1245	IK	Inupiak語	1483	RO	ルーマニア語
1032	AF	アフリカーンス語	1248	IN	インドネシア語	1489	RU	ロシア語
1039	AM	アムハラ語	1253	IS	アイスランド語	1491	RW	キニヤルワンダ語
1044	AR	アラビア語	1254	IT	イタリア語	1495	SA	サンスクリット語
1045	AS	アッサム語	1257	IW	ヘブライ語	1498	SD	シンド語
1051	AY	アイマラ語	1261	JA	日本語	1501	SG	サンゴ語
1052	AZ	アゼルバイジャン語	1269	JI	イディッシュ語	1502	SH	セルビアクロアチア語
1053	BA	バシキール語	1283	JW	ジャワ語	1503	SI	シンハラ語
1057	BE	ベラルーシ語	1287	KA	グルジア語	1505	SK	スロバキア語
1059	BG	ブルガリア語	1297	KK	カザフ語	1506	SL	スロベニア語
1060	BH	ビハーリー語	1298	KL	グリーンランド語	1507	SM	サモア語
1061	BI	ビスラマ語	1299	KM	カンボジア語	1508	SN	ショナ語
1066	BN	ベンガル、バングラ語	1300	KN	カンナダ語	1509	SO	ソマリ語
1067	BO	チベット語	1301	KO	韓国語	1511	SQ	アルバニア語
1070	BR	ブルトン語	1305	KS	カシミール語	1512	SR	セルビア語
1079	CA	カタロニア語	1307	KU	クルド語	1513	SS	シスワティ語
1093	CO	コルシカ語	1311	KY	キルギス語	1514	ST	セストゥ語
1097	CS	チェコ語	1313	LA	ラテン語	1515	SU	スンダ語
1103	CY	ウェールズ語	1326	LN	リンガラ語	1516	SV	スウェーデン語
1105	DA	デンマーク語	1327	LO	ラオス語	1517	SW	スワヒリ語
1109	DE	ドイツ語	1332	LT	リトアニア語	1521	TA	タミール語
1130	DZ	ブータン語	1334	LV	ラトビア、レット語	1525	TE	テルグ語
1142	EL	ギリシャ語	1345	MG	マダガスカル語	1527	TG	タジク語
1144	EN	英語	1347	MI	マオリ語	1528	TH	タイ語
1145	EO	エスペラント語	1349	MK	マケドニア語	1529	TI	ティグリニャ語
1149	ES	スペイン語	1350	ML	マラヤーラム語	1531	TK	トゥルクメン語
1150	ET	エストニア語	1352	MN	モンゴル語	1532	TL	タガログ語
1151	EU	バスク語	1353	MO	モルダビア語	1534	TN	セツワナ語
1157	FA	ペルシャ語	1356	MR	マラータ語	1535	TO	トンガ語
1165	FI	フィンランド語	1357	MS	マレー語	1538	TR	トルコ語
1166	FJ	フィジー語	1358	MT	マルタ語	1539	TS	ツォンガ語
1171	FO	フェロー語	1363	MY	ミャンマ語	1540	TT	タタール語
1174	FR	フランス語	1365	NA	ナウル語	1543	TW	トウィ語
1181	FY	フリジア語	1369	NE	ネパール語	1557	UK	ウクライナ語
1183	GA	アイルランド語	1376	NL	オランダ語	1564	UR	ウルドゥー語
1186	GD	スコットランドゲール語	1379	NO	ノルウェー語	1572	UZ	ウズベク語
1194	GL	ガルシア語	1393	OC	プロバンス語	1581	VI	ベトナム語
1196	GN	グアラニ語	1403	OM	（アファン）オロモ語	1587	VO	ボラピュク語
1203	GU	グジャラート語	1408	OR	オリヤー語	1613	WO	ウォロフ語
1209	HA	ハウサ語	1417	PA	パンジャブ語	1632	XH	コーサ語
1217	HI	ヒンディー語	1428	PL	ポーランド語	1665	YO	ヨルバ語
1226	HR	クロアチア語	1435	PS	パシュトー語	1684	ZH	中国語
1229	HU	ハンガリー語	1436	PT	ポルトガル語	1697	ZU	ズール語
1233	HY	アルメニア語	1463	QU	ケチュア語			
1235	IA	国際語	1481	RM	ラエティ＝ロマン語			

DVDの各種設定について(4)

■ 手順 4 (101ページ)で“オーディオ”を選んだ場合

5 **ダイナミックレンジの圧縮をしない／するを選択します。**

OFF **をタッチする。**：圧縮しません。

ON **をタッチする。**：圧縮します。

ドルビーデジタル方式で記録されたDVDビデオ再生時に出力する音の音域を設定できます。

“OFF”：標準音域で聞くときに選んでください。
“ON”：小さい音量でも迫力のある音で楽しみたいときに選んでください。

■ 手順 4 (101ページ)で“画面”を選んだ場合

“TVアスペクト”を選ぶと、DVDビデオ再生時に優先したい画像アスペクト比を切り替えることができます。

5 **設定したいアスペクト比（ワイド／LB／P&S）ボタンをタッチする。**

※16:9ワイド／4:3LB(レターボックス)／4:3P&S(パン&スキャン)

アドバイス

- ディスクに収録されていないアスペクト比を選んだ場合は、ディスクに収録されているアスペクト比のいずれかで再生されます。また、ディスクによっては、1つのアスペクト比しか収録していないものもあります。再生するディスクの説明書をご確認ください。
- 映像出力端子にノーマルモニターを接続してご使用のときに、“ワイド”に設定すると、画像が不自然になることがあります。ノーマルモニターをご使用の場合は、“LB”または“P&S”に設定してください。
  (※この場合は、本機のディスプレイ選択を“ノーマル”に設定しないと不自然な画像となります。)
- 映像出力端子にワイドモニターを接続してご使用のときに、“Full”またはこれに相当するモードにして、本機を“LB”または“P&S”に設定すると、画像が不自然になります。ワイドモニターで、“LB”や“P&S”の映像を見る場合は、ワイドモニターを、画面の縦横の比率が4：3になるモード(メーカーによって名称が異なりますが、例えば、“Normal mode”等。)に設定してください。

⚠注意

お客様が個人的に視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴されることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行なうと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

■ 手順 4 (101ページ)で“視聴制限”を選んだ場合

5 設定を変更する項目(レベル ／ パスワード)ボタンをタッチする。

“レベル”を選ぶと…
視聴制限が収録されているDVDビデオの視聴制限レベルの設定ができます。

“パスワード”を選ぶと…
パスワードの変更ができます。

---

6 □ 上記手順 5 で“レベル”を選んだ場合
下記の視聴制限レベルを参照して設定したい視聴制限レベルの数字をタッチする。

視聴制限レベル
- “OFF”ー視聴制限を無効
- “8”ーすべてのDVDビデオの再生可
- “7”
- “6”
- “5”
- “4”
- “3”
- “2”
  子供向／一般向のみ再生可
- “1”ー子供向のみ再生可(一般向／成人向再生は禁止)

下にいくほど制限が厳しくなる

※視聴制限を解除してディスクを再生する場合は、“ OFF ”を選択してください。

レベルを変更すると…

レベルを変更すると、パスワード確認画面が表示されます。
①現在のパスワードを10キーボタンをタッチして入力する。
②入力が終わったら 実行 ボタンをタッチする。

アドバイス

- 間違ったパスワードを入力すると“パスワードが違います”と表示されます。再度正しいパスワードを入力し直してください。
- パスワードを入力しないかぎり、レベルを変更することはできません。
- 工場出荷時の(現在の)パスワードは“0000”となっています。(現在のパスワードは変更することができます。(次ページ参照))
- ディスクに視聴制限用のデータが入っていない場合は制限が効きません。

DVDの各種設定について(5)

6 □手順 5 (106ページ)で“パスワード”を選んだ場合

① 変更 **ボタンをタッチする。**
：パスワード変更画面が表示されます。

②現在のパスワード／新しいパスワード／パスワード再入力を画面の10キーボタンをタッチして数字を入力する。

③3つの項目の入力が終了したら 実行 **ボタンをタッチする。**
：パスワード ボタンを選択したときの画面に戻ります。

パスワード変更画面

10キーボタン

※工場出荷時のパスワードは“0000”に設定されています。

アドバイス

- 入力した数字を訂正するときは クリア ボタンをタッチして数字を再入力してください。
- 正しいパスワードを入力しない限り、視聴制限設定ができなくなります。
  変更したパスワードは、忘れないでください。
- 視聴制限が収録されていないディスクの場合は、本機で再生を制限することはできません。
- 前ページへ戻る場合は、 ボタンをタッチしてください。
- **パスワードを忘れてしまったら…**
  現在のパスワードに“0000”を入力してください。

TV
（アナログ放送の場合）

TVを使う ……109
各部の名称とはたらき ……109
TVを見る ……110
TVを切る ……111
選局する ……111
プリセットする ……114

TVを使う(1)

各部の名称とはたらき

プリセット ボタン

放送局をメモリーしたり、呼び出ししたりする場合に使用します。
(AUTO.P(オートプリセット)選局(112、114ページ)または
プリセット選局(113、115ページ)時)

受信中のチャンネル

音場表示
☞21、22ページ

TVモード画面(例)
AUTO.P ボタン表示灯消灯時

ボタン消 ボタン

画面に表示される操作ボタンを消します。

TV1／TV2 ボタン

タッチするたびにTV1↔TV2と切り替わります。
(113、115ページ)

AUTO.P ボタン

AUTO.P(オートプリセット)サーチ中またはAUTO.P(オートプリセット)機能が働いている場合に表示灯点灯します。
また、プリセットした放送局を **プリセット** ボタンに表示します。(112ページ)

AUTO.Pサーチ ボタン

受信可能な放送局をサーチし、**プリセット** ボタンに表示します。
(114ページ)

Quick ボタン

カスタマイズ機能を使用することができます。(147ページ)
※地図DVD-ROM未挿入のときは選択できません。

選局 ボタン(⏮／⏭)

好きなチャンネルを選びます。
また、このボタンを押し続けると自動選局を開始します。
(111ページ)

音量 ボタン

音量の増減を調整します。
＋：音量増
－：音量減

ボタン( ) ⏻

オーディオモードを開始／終了(AV OFF状態に)します。
また、2秒以上長押しで画面を消します。

ボタン

オーディオソース画面を表示します。
※ナビゲーション／iPod／CD／DVD／MD／FM／DTV／AUX／AMモードからTVモードに切り替えるときに使用します。(110ページ)

アドバイス

- 別売の地上デジタルTVチューナー(NVP-DTA11)を接続すると、DTVモードの選択(地上デジタルテレビ放送の受信)が可能になります。操作方法は別売の地上デジタルTVチューナー(NVP-DTA11)に付属の取扱説明書をご覧ください。

TVを見る

安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみ映像をご覧になることができます。（走行中は音声のみになります。）

TVモード画面（走行中）（例）

■ 他のモード画面を表示している場合

□ 前回TVモード画面でAV OFF（オーディオモードを終了）していた場合

①パネルの ボタン（⏻）を押す。

：TVモード画面を表示します。

① ボタン（⏻）

□ ナビゲーションモードまたは前回TVモード以外のオーディオモード画面の場合（AV OFF含む）

①パネルの ボタンを押す。

：オーディオソース画面またはラストモード*画面が表示されます。

□ オーディオソース画面のときは…

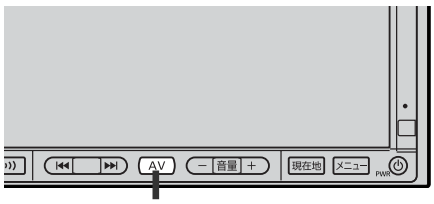
②にすすんでください。

□ ラストモード*画面のときは…

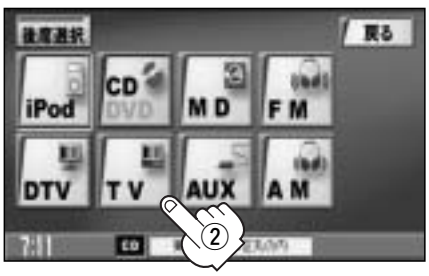
もう一度 ボタンを押す。

：オーディオソース画面が表示されます。

*：前回最後に選択していたモード画面（AV OFF含む）



① ボタン



②画面の TV ボタンをタッチする。

：TVモード画面を表示します。

TVを使う(2)

■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

「音量を調整する」14ページ
「映像の調整のしかた」16～18ページ
「オーディオの調整をする」21～26ページ

アドバイス

TVの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。
「音声はそのままで、ナビゲーション画面を表示する」15ページ

TVを切る

1 パネルの ボタン(⏻)を押す。

：画面に“AV OFF”と表示されTVモード画面を終了します。(オーディオモード終了)

1 ボタン(⏻)

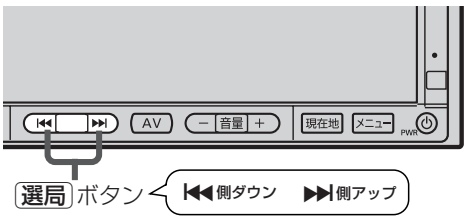
選局する

チャンネルを選びます。(手動選局／自動選局／AUTO.P(オートプリセット)選局／プリセット選局)

■ 手動選局で放送局を選ぶ場合

①パネルの 選局 ボタン(⏮／⏭)を押す。

：ボタンを押すたびに、1チャンネルずつ変わります。



■ 自動選局で放送局を選ぶ場合

①パネルの 選局 ボタン(⏮／⏭)を0.7秒以上押し続ける。

：自動選局を始め、放送局を受信すると、自動的に止まります。
希望の放送局が見つかるまで、この操作を繰り返してください。
※自動選局中に 選局 ボタン(⏮／⏭)を押すと、自動選局は止まります。

アドバイス

- 選局中は“サーチ中…”と表示されます。
- 受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。

■ AUTO.P選局で放送局を選ぶ場合

AUTO.P選局は、AUTO.Pサーチ（自動で12局までメモリー）した放送局を プリセット ボタンに表示します。

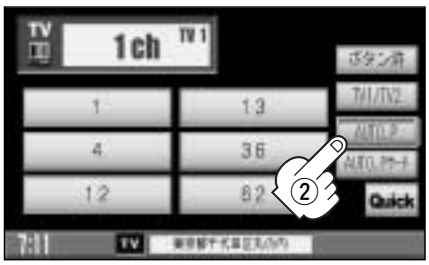
※あらかじめAUTO.Pサーチをしておく必要があります。

☞「■ AUTO.Pサーチ（自動メモリー）をする場合」114ページ

①画面をタッチする。

：操作ボタンを表示させます。

②操作ボタン表示中に画面の AUTO.P ボタンをタッチする。



：AUTO.Pサーチでメモリーした放送局を プリセット ボタンに表示します。

③ プリセット ボタンの中で呼び出したい放送局をタッチする。

AUTO.P選局時に点灯

プリセット ボタン最大（12局まで表示）

※再度 AUTO.P ボタンをタッチして表示灯を消灯させると AUTO.P ボタン選択前のチャンネルに戻ります。

アドバイス

操作ボタンは約5秒間表示されます。

TVを使う(3)

■ プリセット選局で放送局を選ぶ場合

プリセット選局は、 プリセット ボタンにメモリーした放送局を呼び出すことができます。

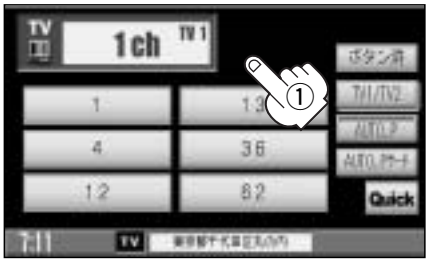
※あらかじめ プリセット ボタンに放送局をメモリーしておく必要があります。

プリセット ボタンにはTV1に6局、TV2に6局、合計12局メモリーすることができます。

☞「■ プリセット(手動メモリー)をする場合 」115ページ

①画面をタッチする。

：操作ボタンを表示させます。



②操作ボタン表示中に画面の プリセット ボタンの中で呼び出したい放送局をタッチする。

プリセット ボタン

TV1／TV2 ボタンをタッチするたびにTV1のプリセットボタン表示↔TV2のプリセットボタン表示と切り替わります。

アドバイス

- 操作ボタンは約5秒間表示されます。
- AUTO.P ボタンが選択されている場合(表示灯点灯時)は TV1／TV2 ボタンとプリセット選局時の プリセット ボタンは表示されません。

プリセット(メモリー)する

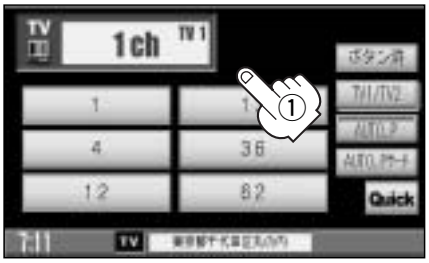
プリセットボタンにメモリーする方法としてAUTO.Pサーチ(自動メモリー)とプリセット(手動メモリー)があります。

■ AUTO.Pサーチ(自動メモリー)をする場合

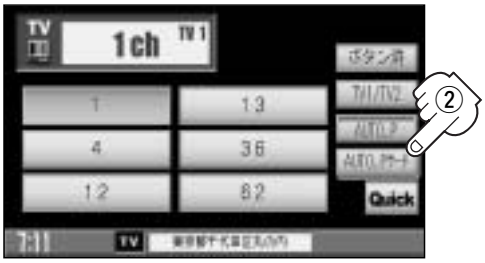
AUTO.Pサーチは、現在の車の位置で受信できる放送局を自動で12局までプリセットボタンにメモリーします。

①画面をタッチする。

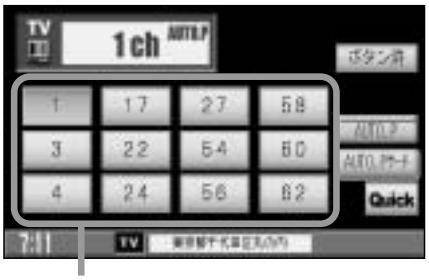
：操作ボタンを表示させます。



②操作ボタン表示中に画面の AUTO.Pサーチ ボタンをタッチする。



：AUTO.P ボタンの表示灯点灯し、受信した放送局を プリセット ボタンにメモリー(表示)します。



プリセット ボタン

アドバイス

- 操作ボタンは約5秒間表示されます。
- プリセット ボタンにAUTO.Pサーチ(自動メモリー)した放送局を呼び出すことができます。
  「■ AUTO.P選局で放送局を選ぶ場合」112ページ
- 1局も放送局をメモリーできなかった場合、表示部に“見つかりませんでした”と表示されAUTO.Pサーチをする前の状態に戻ります。

TVを使う(4)

■ プリセット(手動メモリー)をする場合

メモリーしたい局を選び、**プリセット**ボタンにメモリーします。
※**プリセット**ボタンには、TV1画面に6局、TV2画面に6局、計12局メモリーすることができます。

1 パネルの選局ボタン(⏮／⏭)を押して、メモリーしたい局を選ぶ。

☞「■ 手動選局で放送局を選ぶ場合 ／■ 自動選局で放送局を選ぶ場合 」111ページ

2 画面をタッチして操作ボタンを表示させ、画面の**プリセット**ボタンのうち、メモリーしたいボタンを1.5秒以上（プリセットボタンの表示がメモリーしたい局の表示に変わるまで）タッチする。

例 TV1画面をTV2画面に変え、3chをメモリーする場合

①操作ボタン表示時、画面の**TV1／TV2**ボタンをタッチする。
：表示部の表示がTV1→TV2になりTV2用の**プリセット**ボタンが表示されます。

②パネルの選局ボタン(⏮／⏭)を押して3chを表示させる。

③メモリーしたい**プリセット**ボタンを1.5秒以上タッチする。

アドバイス

- すでにメモリーされているボタンに新たにメモリーすると上書きとなり、それまでのチャンネルは消失されます。
- メモリーした放送局を呼び出すには、TV1↔TV2を選択し、呼び出したい**プリセット**ボタンを軽く(1.5秒未満)タッチします。

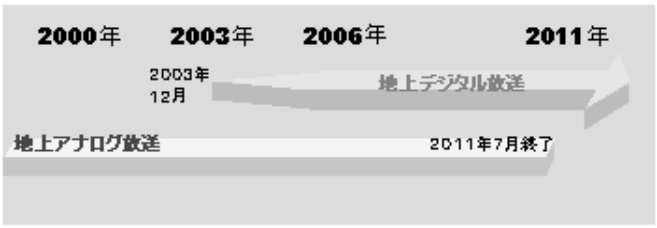
☞「■ プリセット選局で放送局を選ぶ場合 」113ページ

2003年末より地上デジタル放送が開始されており、それに伴いアナログ放送のチャンネル変更が順次実施されております。このため、メモリーされている放送局を選択しても受信できない／今まで見ていたチャンネルに別の放送局の画像が映る等の現象が起こる可能性がありますが、本機の故障ではありませんので、ご希望のチャンネルを再メモリーしてご利用いただきますようお願い申し上げます。

TVの アナログ放送 から 地上デジタル放送 への移行についてお知らせ

地上デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは、順次拡大されます。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。



※地上デジタル放送開始エリア内でも、各県庁所在地における先行局のみの開局があり全県下で受信可能とは限りません。
車載(車での使用)の場合は周囲の環境の影響を受けやすい為、受信エリア内でも映らない場合があります。

DTV
（地上デジタルテレビ放送の場合）

DTV機能を使う……119

DTV機能を使う

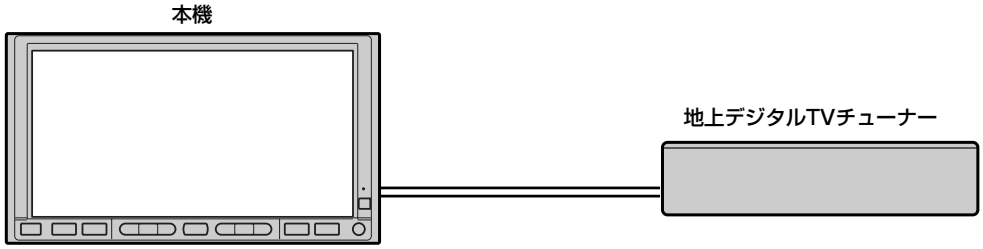
別売の地上デジタルTVチューナー(NVP-DTA11)を接続すればDTVモードの選択(地上デジタルテレビ放送の受信)をすることができます。

⚠ 安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみ映像をご覧になることができます。(走行中は音声のみになります。)

※接続の前に本機の電源を切ってください。
(車のキースイッチをOFFし、バッテリーの ⊖ 端子は外します。)

1 別売の地上デジタルTVチューナーを本機に接続する。

※接続のしかたは別売の地上デジタルTVチューナー(NVP-DTA11)の取付説明書をご覧ください。



アドバイス

地上デジタルTVチューナー(NVP-DTA11)とiPodを本機に同時接続する場合は、別売のiPod接続BOX(CDY-7600)が必要となります。

2 本機の電源を入れる。(車のキースイッチON状態)

※他のモードになった場合は
1. パネルの ボタンを押してオーディオソース画面を表示させ、
2. 画面の **DTV** ボタンをタッチして、DTVモードに切り替えてください。

1 ボタン

3 DTVモードを操作する。

※操作のしかたは別売の地上デジタルTVチューナーに付属の説明書をご覧ください。

地上デジタルテレビ放送のメリット

- 移動中も安定したきれいな映像
- クリアな音質
- お役立ち情報（気象情報）などを受信
- 新聞のテレビ欄のような番組表を表示そして操作
- 地震や津波などの緊急警報の情報を表示

AUX

AUX機能を使う ……123

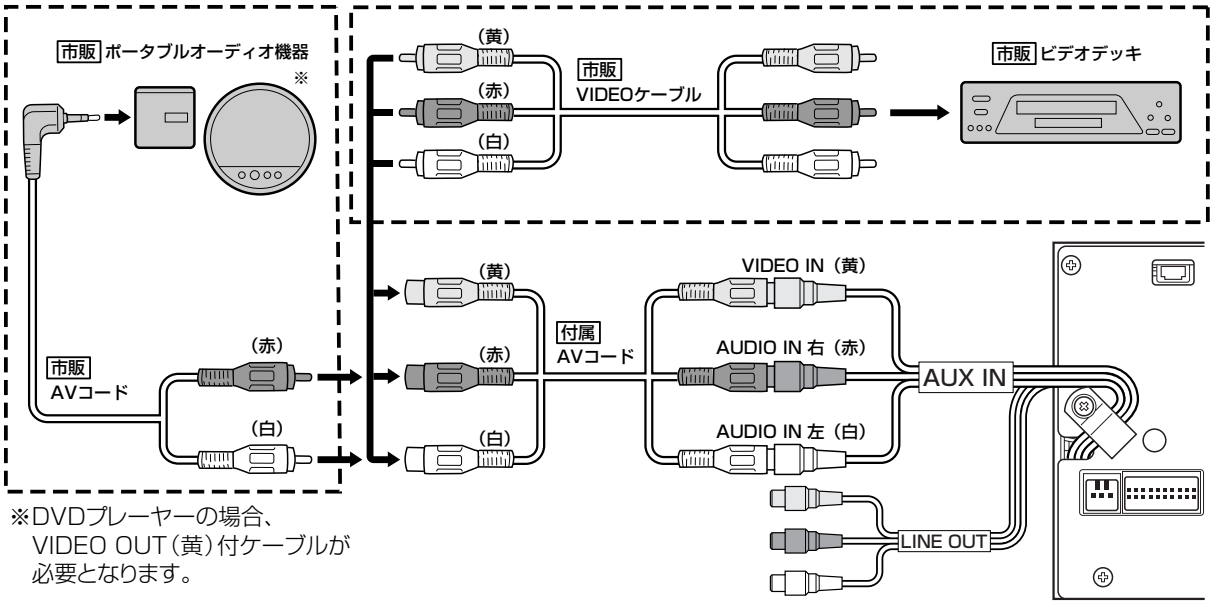
AUX機能を使う

付属のAVコードと市販のVIDEOケーブルを使用して市販のビデオデッキなどの映像や音声を本機に出力することができます。また、市販のAVコードを使用してポータブルオーディオ機器などの音声を本機に出力することもできます。

⚠ ビデオデッキなどの映像は安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみご覧になることができます。（走行中は音声のみになります。）

※接続の前に本機および接続する機器の電源を切ってください。
（車のキースイッチをOFFし、バッテリーの ⊖ 端子は外します。）

1 付属のAVコードや、市販のAVコード／VIDEOケーブルなどを使用して本機に市販のポータブルオーディオ機器やビデオデッキを接続する。



※DVDプレーヤーの場合、
VIDEO OUT（黄）付ケーブルが
必要となります。

2 本機と使用する機器の電源を入れる。（車のキースイッチON状態）

※他のモードになった場合は
1. パネルの ボタンを押してオーディオソース画面を表示させ、
2. 画面の **AUX** ボタンをタッチして、AUXモードに切り替えてください。

1 ボタン

3 ビデオデッキやポータブルオーディオ機器を操作する。

※操作のしかたはそれぞれの機器に付属の説明書をご覧ください。

注意 **本機の電源をOFF（キースイッチOFF）する場合は、接続される機器の電源も一緒にOFFしてください。**

アドバイス

- AUX端子から入力された映像や音声はAUXモードにすることにより見たり、聞くことができます。
- ボタン消 ボタンをタッチするとボタンと情報バー表示を消します。
  Quick ボタンをタッチするとQuickメニュー画面が表示され、モードまたは機能選択をすることができます。
- 接続した機器によっては映像や音声が出ない場合があります。
- 接続した機器に音量調整機能がある場合は、本機の音声とバランスをとるようにしてください。（調整してください。）
- 下記レベルを超えた機器を接続した場合、映像や音にひずみなどが生じ、正常に動作しない場合があります。

AV入力端子（RCA×1系統）	
映像入力レベル	1Vpp（入力インピーダンス75Ω）
音声最大入力レベル	2.0V（入力インピーダンス47KΩ）
ビデオ出力*	
映像出力レベル	1Vpp（出力インピーダンス75Ω）

*印：ビデオ出力は後席専用モニター（☞148ページ）接続時

iPod

iPodについて……127
iPodとは……127
対応可能なiPod……127
使用上のご注意 ……127
iPodを本機に接続するには……128
iPodを本機に接続すると……128
iPodを使う……129
各部の名称とはたらき ……129
表示部について ……130
iPodを聞く……131
iPodを止める……132
再生を止める ……132
1曲ずつ選曲する ……132
リストより好きなトラックを選び再生させる ……133
早戻し／早送りをする ……133
リピート再生をする ……134
シャッフル再生をする ……135
ミュージックリストより選択し再生させる ……137
iPod videoモードでデータを再生させる……143
アルバム名／トラック名／アーティスト名を
スクロールさせる ……144

iPodについて

Made for iPod

iPodとは

- iPodとはApple Computer, Inc.が提供するポケットサイズの大容量保管装置です。曲やPodcast*、フォト、videoデータなどを保管し、手軽に持ち運ぶことが可能です。
- iPodは米国およびその他の国で登録されているApple Computer, Inc.の商標です。

アドバイス

*印：インターネット経由で配布されるダウンロード可能なラジオ形式の番組

対応可能なiPod

iPod with video ……○	iPod ソフトウェア1.1以上
iPod nano……○	iPod nano ソフトウェア1.1以上
iPod photo ……○	iPod photo ソフトウェア1.0以上
iPod mini ……○	iPod mini ソフトウェア1.2以上
iPod 第4世代（クリックホイール） …○	iPod ソフトウェア3.0.2以上
iPod 第3世代（Dockコネクタ）……○	iPod ソフトウェア2.2以上

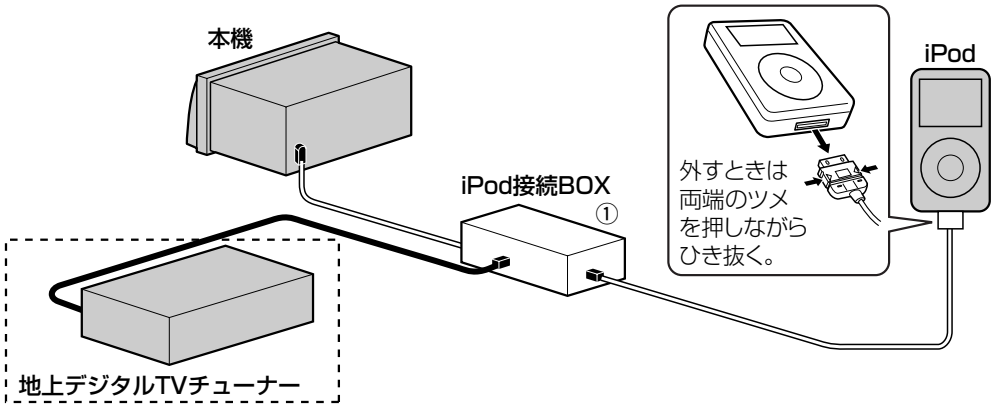
アドバイス

- iPodは最新のソフトウェアバージョンをアップル社のWebサイトよりインストールしてご使用ください。
  ※正しく動作できない場合があります。
- 第1、第2世代のiPodには対応しておりません。
- ソフトウェアのバージョンはiPod本体の“情報”よりご確認ください。
- 各iPodの仕様につきましてはiPodをお取り扱いの販売店へお問い合わせください。

使用上のご注意

- iPodは精密部品が内蔵されています。落としたり、ぶつけたりして損傷を与えないようにしてください。
- iPodを車内に放置しないでください。直射日光や高温などによってiPodの故障の原因となります。
- iPodのデータが紛失しても消去したデータの保証は致しかねます。
- iPod本体の保証は致しかねます。
- iPod本体の取扱説明書もあわせてご確認ください。
- iPodは個人として楽しむなどのほかは、権利者に無断で使用できません。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPod本体の設定の“EQ”を“オフ”以外にすると、音質が悪くなる場合があります。
- iPodアダプターへの接続前と取り外し後で、iPodのリピートやシャッフルなどの設定がかわってしまう場合があります。
- iPodのソフトウェアのバージョンによって操作方法／仕様が異なる場合があります。

iPodを本機に接続するには



- 別売のiPod接続BOX（CDY-7600）（①）が必要となります。
- 本機にiPodを接続するときはヘッドフォンなどの機器は外してiPod単体としてください。
- iPodは本機やACCのON／OFFにかかわらず接続できます。
- 本機で操作可能状態のとき、iPod側での操作はできません。
  （iPod videoモード時は除く☞143、144ページ）
- 接続した状態でACCをOFFにすると約2分後にiPod本体の電源もOFFされます。
- 別売の地上デジタルTVチューナー（NVP-DTA11）はiPod接続BOX（CDY-7600）を経由することにより同時接続が可能です。

iPodを本機に接続すると…

- iPodに収録されたデータは専用ケーブルを使用して本機に表示できます。
  使い 慣れたiPodの感覚そのままにタッチパネルを使用して操作することができます。
- 本機の電源ON状態でiPod接続中は充電ができるのでバッテリー消費の心配は不要です。
- iPodになにも収録されてない場合、本機は“Welcome to iPod.”を表示したままとなります。

iPodを使う(1)

各部の名称とはたらき

再生／一時停止 ボタン(►❚❚)

再生中にタッチすると音声が一時的に
止まります。
もう一度タッチすると再び再生が始まります。

現在選択しているミュージックリスト
(☞137ページ)のトラックが表示
されています。

iPodモード(TOP)画面(例)

ミュージック ボタン

iPodのミュージックリストから
再生したい曲を絞り込んで再生
することができます。
(137ページ)

詳細 ボタン

再生中のアルバムの詳細情報を
表示します。
また、リピート再生の選択やミュー
ジックリストの表示をすることが
できます。(134、137ページ)

機能 ボタン

- アルバムまたはトラックを
  シャッフル再生します。
  (135ページ)
- 映像(iPod videoモード)へ
  切り替えることができます。
  (143ページ)

Quick ボタン

カスタマイズ機能を使用すること
ができます。(147ページ)
※地図DVD-ROM未挿入のときは
選択できません。

ボタン(⏮／⏭)

好きな曲を選びます。(132ページ)
また、このボタンを押し続けると
早戻し(⏮)／早送り(⏭)します。
(133ページ)

音量 ボタン

音量の増減を調整します。
－：音量減　＋：音量増

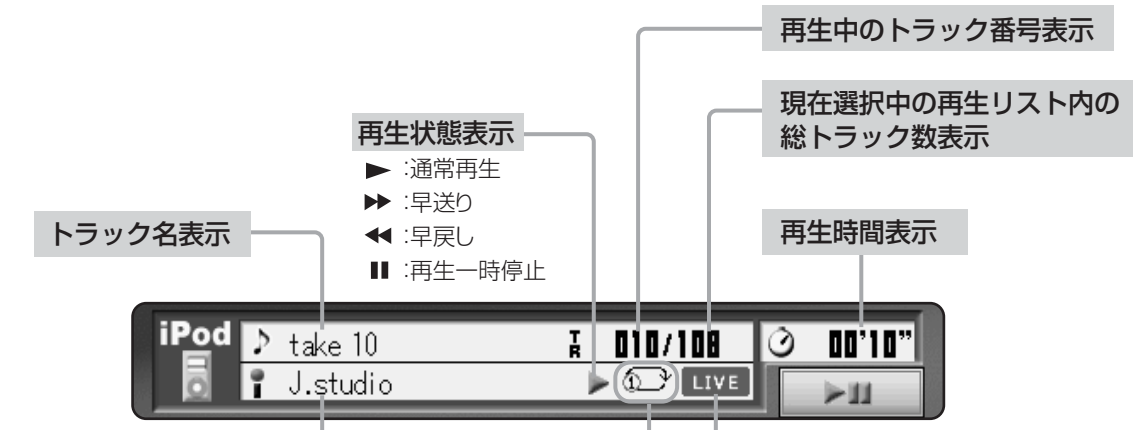
ボタン( ) ⏻

オーディオモードを開始／終了
(AV OFF状態に)します。
また、2秒以上長押しで画面を消
します。

ボタン

オーディオソース画面を表示します。
※ナビゲーション／CD／DVD／MP3／
WMA／FM／MD／DTV／TV／AUX／
AMモードからiPodモードに切り替える
ときに使用します。(131ページ)

表示部について



表示内容につきましては134、135ページをご覧ください。

選択中の音場を表示します。
☞21、22ページ
※音場を選択していない場合(OFF選択時)は何も表示されません。

アドバイス

- 表示内容はiPod本体で表示されるトラック名／アーティスト名となります。
- 本機は日本語／英数字のみ表示可能です。
- iPod本体で表示される～(半角波形表示)は、本機では- (ハイフン表示)となります。
- タイトル名が表示しきれない場合、詳細画面よりスクロールさせて確認することができます。(144ページ)

iPodを使う(2)

iPodを聞く

※iPodを本機に接続していない／iPodになにも収録されていない場合、iPodの曲を聞くことはできません。

■ 他のモード画面を表示している場合

□ 前回iPodモード画面でAV OFF（オーディオモードを終了）していた場合

①パネルの ボタン(⏻)を押す。

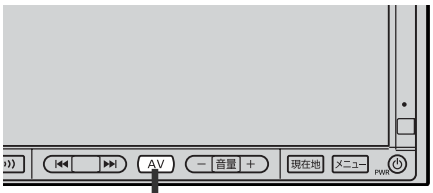
：前回最後に聞いていたトラックのつづきから再生を始めます。

① ボタン(⏻)

□ ナビゲーションモードまたは前回iPodモード以外のオーディオモード画面の場合

①パネルの ボタンを押す。

：オーディオソース画面またはラストモード*画面が表示されます。



① ボタン

□ オーディオソース画面のときは…
②にすすんでください。

□ ラストモード*画面のときは…
もう一度 ボタンを押す。

：オーディオソース画面が表示されます。

*：前回最後に選択していたモード画面（AV OFF含む）

②画面の iPod ボタンをタッチする。

：前回最後に聞いていたトラックのつづきから再生を始めます。

■ 音量や映像、オーディオの調整をする場合

☞「音量を調整する」14ページ
「映像の調整のしかた」16～18ページ
「オーディオの調整をする」21～26ページ

アドバイス

iPodの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

☞「音声はそのままで、ナビゲーション画面を表示する」15ページ

iPodを止める

1 **パネルの ボタン(⏻)を押す。**

：画面に“AV OFF”と表示されiPodの再生を止めます。(オーディオモード終了)

1 ボタン(⏻)

再生を止める(一時停止)

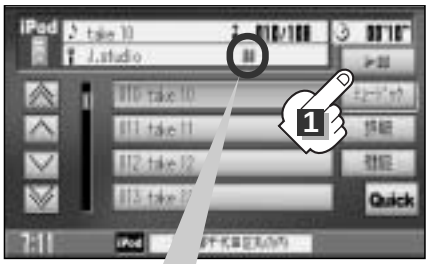
1 **画面の 再生／一時停止 ボタン(►❚❚)をタッチする。**

：再生を止めます。

■ 再び、再生を始める場合

画面の 再生／一時停止 ボタン(►❚❚)をタッチする。

：再生を止めた続きから再生を始めます。



再生状態を表示します。
►：通常再生
❚❚：再生一時停止

1曲ずつ選曲する(トラックを戻す／進める)

1 **パネルの ボタン(⏮／⏭)を押す。**

：前のトラックに戻る、または次のトラックに進みます。

※聞きたい曲のトラック番号を表示させます。

1 ボタン

■ 前のトラックに戻る場合

⏮側を2回押す。

※1回押した場合は再生中の曲(トラック)の頭に戻ります。

■ 次のトラックに進む場合

⏭側を押す。

アドバイス

リストより選択することもできます。

☞「リストより好きなトラックを選び再生させる」133ページ

iPodを使う(3)

リストより好きなトラックを選び再生させる

1 **再生したいトラックをタッチする。**

：選択したトラックが再生されます。

次ページがある場合、 ／ ボタンで1つずつ、 ／ ボタンで1ページずつの戻し／送り表示

iPodモード(TOP)

早戻し／早送りをする

1 **パネルの ボタン(⏮／⏭)を押し続ける。**

：再生中の曲の早戻し／早送りをします。

■ 早戻しで戻る場合

：**⏮側を押し続ける。**

■ 早送りで進む場合

：**⏭側を押し続ける。**

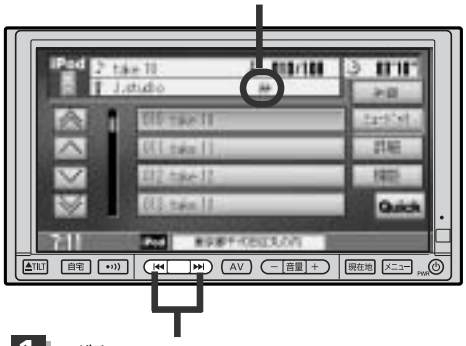
再生状態表示

▶：通常再生

⏩：早送り

⏪：早戻し

⏸：再生一時停止



1 ボタン

アドバイス

それぞれのボタンから手を離したところで再生を始めます。 ボタン(⏮／⏭)を押し続け、曲の始めまたは終わりにくると通常再生になります。

リピート(繰り返し)再生をする

1 iPodモード(TOP)画面のとき
画面の **詳細** ボタンをタッチする。
：詳細画面が表示されます。

2 画面の **リピート** ボタンをタッチする。
：表示灯点灯し、リピート機能が働きます。

※ **リピート** ボタンをタッチするごとに下記のように用途が変わります。

今聞いているトラックのリピート再生
(表示灯点灯／ マーク表示有)

↓

通常再生(リピート解除)
(表示灯消灯／マーク表示無)

詳細画面

選択時点灯

↓

iPodモード(TOP)画面

トラック
リピート
時に表示

アドバイス

- **リピート** ボタンの表示灯を消灯(リピート解除)するまでリピート再生を繰り返します。
- リピート再生中はトラックのアップダウン（パネルの ボタン(⏮／⏭)を使用してトラックを選択）することはできません。
- 手順 **2** で約10秒以上何もしないとiPodモード(TOP)画面に戻ります。
- 詳細画面(手順 **2**)のとき **ミュージック** ボタンをタッチするとミュージックリスト選択画面を表示させ、選択再生することができます。

iPodを使う(4)

シャッフル再生をする

1 **画面の 機能 ボタンをタッチする。**

：機能選択画面が表示されます。

2 **トラックまたはアルバムをシャッフル再生します。**

■ トラックのシャッフル再生をしたい場合

①画面の シャッフル曲 ボタンをタッチする。

：トラックのシャッフル再生が開始されます。

※iPodモード(TOP)画面に戻るとSHUFFLE TRACKマークが表示されます。

■ アルバムのシャッフル再生をしたい場合

①画面の シャッフルアルバム ボタンをタッチする。

：アルバムのシャッフル再生が開始されます。

※iPodモード(TOP)画面に戻るとSHUFFLE ALBUMマークが表示されます。

iPodモード(TOP)画面

機能選択画面

iPodモード(TOP)画面
(シャッフル曲の場合)

シャッフル再生時に表示

3 約10秒間何もしないか、パネルの ボタンを2回押すとiPodモード(TOP)画面に戻ります。

■ シャッフル再生をやめる場合

①左記手順 **1** にしたがって操作し、手順 **2** のとき画面の **シャッフルオフ** ボタンをタッチする。

：トラックシャッフルまたはアルバムシャッフルをやめます。

機能選択画面

アドバイス

戻る ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻ります。すでに設定を変更した場合はその変更で決定(確定)されます。

iPodを使う(5)

ミュージックリストより選択し再生させる

iPodの再生リストを呼び出して再生させたい曲を絞り込んで検索することができます。

1 **画面の ミュージック ボタンをタッチする。**

：ミュージックリスト選択画面が表示されます。

※約10秒間何も操作しなかった場合iPodモード(TOP)画面に戻ります。

iPodモード(TOP)画面

2 **ミュージックリストより選曲する方法(** **プレイリスト** **／** **アーティスト** **／** **アルバム** **／** **曲** **／** **ジャンル** **／** **作曲者** **など)を選択します。**

ミュージックリスト選択画面

ミュージックリスト

アドバイス

- ミュージックリスト(ボタン)はiPod本体に収録されている内容となります。(iPodの内容によって再生リストが増えることも減ることもあります。)
- iPodのデータが多くなるほど各リストを表示させるまでに時間がかかります。

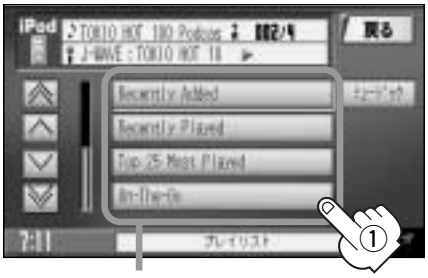
■ プレイリストボタンをタッチした場合

：プレイリスト画面が表示されます。

①再生させたいプレイリストをタッチする。

：選択したプレイリストに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

プレイリスト画面



プレイリスト

②再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。

トラックリスト画面

アドバイス

- 次ページがある場合 ∧ ／ ∨ ボタンで1つずつ、 ≪ ／ ≫ ボタンで1ページずつの戻し／送り表示をします。
- 約10秒間何も操作しなかった場合iPodモード(TOP)画面に戻ります。
- ミュージック ボタンをタッチするとミュージックリスト選択画面を表示します。ミュージックリストを選択しなおすときに便利です。

iPodを使う(6)

■ アーティスト ボタンをタッチした場合

：アーティストリスト画面が表示されます。

①再生させたいアーティストをタッチする。

：選択したアーティストのアルバムが表示されます。

アーティストリスト画面

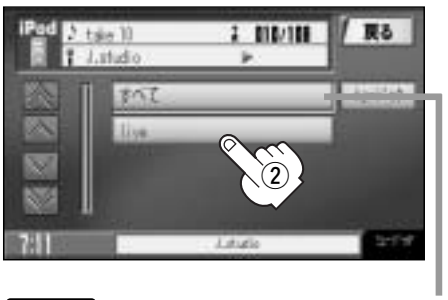
すべて をタッチするとiPod内のアルバムが表示されます。

さらに

②再生させたいアルバムをタッチする。

：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

アルバムリスト画面



すべて をタッチするとiPod内のトラックの表示とともに再生されます。

③再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。

トラックリスト画面

アドバイス

- 次ページがある場合 ∧ ／ ∨ ボタンで1つずつ、≪ ／ ≫ ボタンで1ページずつの戻し／送り表示をします。
- 約10秒間何も操作しなかった場合iPodモード(TOP)画面に戻ります。
- ミュージック ボタンをタッチするとミュージックリスト選択画面を表示します。ミュージックリストを選択しなおすときに便利です。

■ アルバム ボタンをタッチした場合

：アルバムリスト画面が表示されます。

①再生させたいアルバムをタッチする。

：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

アルバムリスト画面

すべて をタッチするとiPod内のアルバムのトラック表示とともに曲が再生されます。

②再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。

トラックリスト画面

アドバイス

- 次ページがある場合 ∧ ／ ∨ ボタンで1つずつ、 ⩓ ／ ⩔ ボタンで1ページずつの戻し／送り表示をします。
- 約10秒間何も操作しなかった場合iPodモード(TOP)画面に戻ります。
- ミュージック ボタンをタッチするとミュージックリスト選択画面を表示します。ミュージックリストを選択しなおすときに便利です。

■ 曲 ボタンをタッチした場合

：トラックリスト画面の表示とともに、曲が再生されます。

①再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。

トラックリスト画面

アドバイス

- 次ページがある場合 ∧ ／ ∨ ボタンで1つずつ、 ⩓ ／ ⩔ ボタンで1ページずつの戻し／送り表示をします。
- 約10秒間何も操作しなかった場合iPodモード(TOP)画面に戻ります。
- ミュージック ボタンをタッチするとミュージックリスト選択画面を表示します。ミュージックリストを選択しなおすときに便利です。

iPodを使う(7)

■ ジャンルボタンをタッチした場合

：ジャンルリスト画面が表示されます。

①再生させたいジャンル(アニメ／演歌／Pop／RockなどiPodに収録されているジャンル名の)ボタンをタッチする。

：選択したジャンルに該当するアーティストが表示されます。

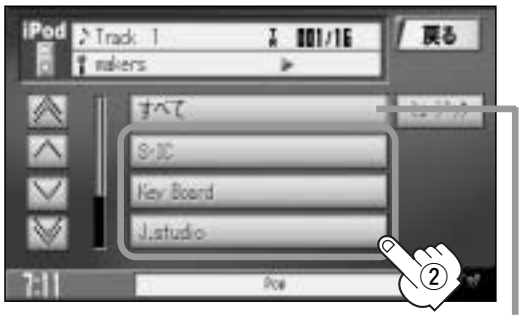
ジャンルリスト画面

すべてをタッチするとiPod内のアーティストが表示されます。－さらにすべてをタッチするとiPod内のアルバムが表示されます。－さらにすべてをタッチするとiPod内のトラック表示とともに曲が再生されます。

②再生させたいアーティストをタッチする。

：選択したアーティストのアルバムが表示されます。

アーティストリスト画面



すべてをタッチすると①で選択したジャンルに該当するアルバムが表示されます。－さらにすべてをタッチするとiPod内のトラック表示とともに曲が再生されます。

③再生させたいアルバムをタッチする。

：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

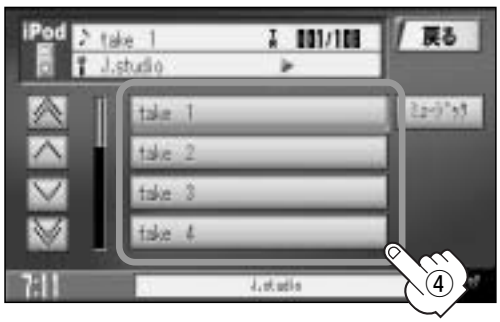
アルバムリスト画面

すべてをタッチすると②で選択したアーティストのトラック表示とともに曲が再生されます。

④再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。

トラックリスト画面



アドバイス

- ジャンルリスト画面に表示されるボタンの数はiPod本体に収録されている内容となります。（iPodの内容によってボタンが増えることも減ることもあります。）
- 次ページがある場合 ∧ ／ ∨ ボタンで1つずつ、≪ ／ ≫ ボタンで1ページずつの戻し／送り表示をします。
- 約10秒間何も操作しなかった場合iPodモード（TOP）画面に戻ります。
- **ミュージック** ボタンをタッチするとミュージックリスト選択画面を表示します。ミュージックリストを選択しなおすときに便利です。

■ **作曲者** ボタンをタッチした場合

：作曲者リスト画面が表示されます。

①再生させたい作曲者をタッチする。

：選択した作曲者のアルバムが表示されます。

作曲者リスト画面

すべて をタッチするとiPod内の全てのアルバムが表示されます。－さらに **すべて** をタッチするとiPod内の全てのトラック表示とともに曲が再生されます。

②再生させたいアルバムをタッチする。

：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともにリストの一番上の曲が再生されます。

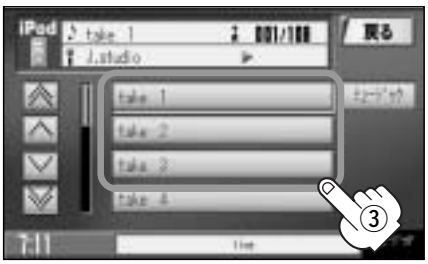
アルバムリスト画面

すべて をタッチすると①で選択した作曲者に該当するiPod内のトラック表示とともに曲が再生されます。

③再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。

トラックリスト画面



アドバイス

- 次ページがある場合 ∧ ／ ∨ ボタンで1つずつ、≪ ／ ≫ ボタンで1ページずつの戻し／送り表示をします。
- 約10秒間何も操作しなかった場合iPodモード（TOP）画面に戻ります。
- **ミュージック** ボタンをタッチするとミュージックリスト選択画面を表示します。ミュージックリストを選択しなおすときに便利です。

iPodを使う(8)

iPod videoモードでデータを再生させる

TV出力機能を備えたiPodの場合、iPodに収録されているvideoデータや画像データを本機に表示させることができます。

1 画面の **機能** ボタンをタッチする。

：機能選択画面が表示されます。

iPodモード(TOP)画面

2 画面の **ビデオモード** ボタンをタッチする。

：iPod videoモードに切り替わります。

機能選択画面

アドバイス

- **ビデオモードを使うには…**
  - ・iPod本体でTV出力の設定を“オン”にしてください。
  - ・iPod本体でVideoデータ／画像データを選択再生させてください。
- 早送りや画像の選択などの各操作は、iPod本体にて操作してください。

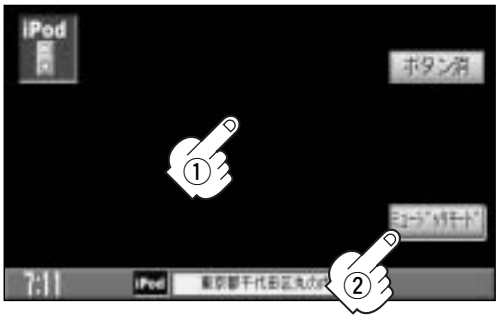
■ iPod videoモードをやめる場合

①画面をタッチする。

②画面の **ミュージックモード** ボタンをタッチする。

：iPodモード(TOP)画面に戻ります。

iPod videoモード画面



アドバイス

- iPod本体から入力された映像や音声はiPod videoモード(**ビデオモード**ボタンをタッチ)にすることにより見たり、聞くことができます。
- TV出力機能がない、映像データがないなどのとき、画面は黒表示となります。
- 画面をタッチすると**ボタン消**ボタンが表示されます。**ボタン消**ボタンをタッチするとボタン表示を消します。
- 走行中は安全のため再生を停止し、映像・音声は出力されません。iPod本体の操作はできません。
- TV出力の有無はiPod本体の取扱説明書またはiPodをお取り扱いの販売店でご確認ください。
- iPod videoモードのとき、モードを変更したときはvideoモード画面を保持しません。もう一度手順 **1** より操作しなおしてください。

⚠注意 **Videoモード画面（ビデオ再生中）のとき、車のキースイッチをOFFにしてもiPod本体では電源ONのままでビデオを再生し続けます。そのまま放置した場合、iPod内蔵のバッテリーを消費します。**

アルバム名／トラック名／アーティスト名をスクロールさせる

タイトル名が長すぎて一度に表示できない(全角14／半角27文字以上の)場合、表示をスクロールさせることができます。

1 **iPodモード(TOP)画面のとき**
画面の詳細ボタンをタッチする。

：詳細画面が表示されます。

2 **画面の ❯ ボタンをタッチする。**

：アルバム名、トラック名、アーティスト名のすべてのタイトル名が長い場合はタッチするごとにアルバム名→トラック名→アーティスト名の順にスクロールされます。

※表示文字数が全角13／半角26文字以下の場合は ❯ ボタンは表示されません。

※スクロールさせるタイトル名が1つの場合、スクロール中にタッチするとスクロールをやめます。

詳細画面

その他

カスタマイズ(Quick)機能について ……147
後席専用モニターについて ……148
　リヤエンターテイメント機能について ……149
初期設定一覧 ……151
個人情報の取り扱いについて ……151
メッセージ表示について ……152
故障かな？と思ったら ……153
用語説明 ……161
索引 ……164

カスタマイズ(Quick)機能について

オーディオとナビゲーションの各項目選択を1つの画面から操作することができます。

1 各モードの操作ボタンTOP画面で、画面の Quick ボタンをタッチする。

：Quickメニュー画面が表示されます。

オーディオモード画面(CDモード画面(例))

2 切り替えたいモードボタンまたは機能(メニュー)ボタンをタッチする。

：選択したモード画面または選択した機能画面が表示されます。

※地図画面(ナビゲーションモード)からカスタマイズソースを選択したときは、地図画面を表示したときに同時起動するモードの選択となります。
例) 地図画面を表示しながらCDを聞く→地図画面を表示しながらFMを聞くなどの切替となります。

Quickメニュー画面

カスタマイズソース
カスタマイズソースの内容(ボタン)は、お好みにあわせて設定しなおすことができます。
「カスタマイズソースを設定するには」25、26ページ

カスタマイズメニュー
ナビゲーションモードで使用回数の多い機能を登録しておくことができます。
別冊の取扱説明書(本編)175、176ページ

アドバイス

- 次ページがある場合 < ／ > ボタンタッチでつづきを表示します。
- オーディオモードとナビゲーションモードでよく使用するモードボタン／メニューボタンをカスタマイズすることにより、より使いやすくすることができます。
- 地図DVD-ROM未挿入の場合、Quickメニュー画面は表示されません。

後席専用モニターについて(1)

別売の後席専用モニター(CAV-RD80)を接続することにより“前でナビ／後ろでDVD”＊などの使い方ができます。

＊：DVDの音声が本機から出力され、合間にルートの音声案内が聞こえます。

ナビゲーションモードとオーディオモードを本機で同時起動した場合の後席専用モニターとの表示関係について

本機のモード		本機に表示される画面	後席専用モニターに表示される画面
ナビ	－	ナビ	表示されません
ナビ	DVD	ナビ	DVD
ナビ	TV(AUX／DTV／iPod video)	ナビ	TV(AUX／DTV／iPod video)
TV(AUX／DTV／iPod video)	－	TV(AUX／DTV／iPod video)	TV(AUX／DTV／iPod video)
DVD	－	DVD	DVD
ナビ	iPod／CD／MP3／WMA／FM／AM／MD	ナビ	表示されません
iPod／CD／MP3／WMA／AM／FM／MD	－	iPod／CD／MP3／WMA／FM／AM／MD	表示されません

※後席専用モニターは車種によって取り付けできない場合があります。後席専用モニターの取り付けや詳細に関しましては販売店にご相談ください。

後席専用モニターについて(2)

さらに本機では後席選択機能搭載により、前席は好きな音楽を聞きながらナビゲーションの案内画面、後席はDVDの映像と音声を楽しむなどのお好みのソース(モード)選択が可能です。

リヤエンターテイメント(後席選択)機能について

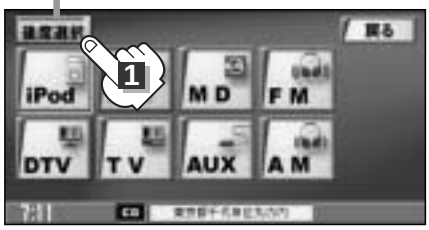
1 **オーディオソース画面で**
画面の 後席選択 ボタンをタッチする。

：表示灯点灯し、後席選択機能の使用が可能となります。
後席ソース画面が表示されます。

※AV OFF(オーディオモード終了)のときは後席選択はできません。

選択時表示灯点灯
点灯(ON)させないと音声は出力されません。

オーディオソース画面

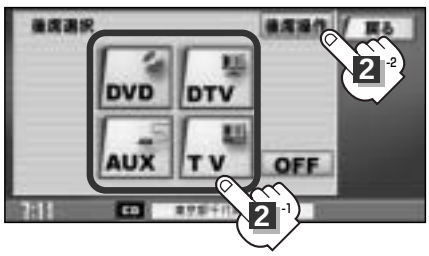


2 **操作したいモード(DVD ／ DTV ／ AUX ／ TV)ボタンをタッチし、**
画面の 後席操作 ボタンをタッチする。

：選択したモード画面とともに操作ボタンが表示されます。

※AUXの場合操作ボタンは表示されません。

後席ソース画面



DVD ボタンをタッチした場合

チャプター画像を戻す／進める、コマ戻し／コマ送り、一時停止／停止の操作が可能。
☞85～88ページを参考にしてください。
※前席と後席が異なるモードの場合、後席でDVDは自動再生しません。

DTV ボタンをタッチした場合

タッチするたびに1チャンネルずつ変わる、また、このボタンをタッチし続けると受信可能な放送局をサーチする。

CH ボタン(⏮／⏭)
好きなチャンネルを選ぶ。
また、このボタンをタッチし続けると自動選局を開始する。

TV1／TV2 ボタン
タッチするたびにTV1⇔TV2と切り替わる。

TV ボタンをタッチした場合

P.CH ボタン
プリセットした放送局を呼び出す場合に使用。

AUTO.P ボタン
AUTO.P(オートプリセット)サーチ中またはAUTO.P(オートプリセット)機能が働いている場合に表示灯点灯。

☞109～115ページを参考にしてください。

3 **操作が終わったら…**
画面の 戻る ボタンをタッチする。
：オーディオソース画面に戻ります。

■ リヤエンターテイメント（後席選択）機能を止める場合

①オーディオソース画面で画面の 後席選択 ボタンをタッチする。
：表示灯消灯し、後席選択機能を止めます。

アドバイス

- モニターが接続されていない場合は後席ソース画面で OFF を選択してください。（オーディオソース画面で 後席選択 ボタンの表示灯消灯状態。）ON（表示灯点灯）にすると、前席のモード選択に制限が発生する場合があります。
- モニターが接続されている場合に 後席選択 ボタンをOFF（表示灯消灯）にすると後席には音声は流れません。
- モニターの音声はモニターのスピーカーまたは市販のヘッドフォンで聞いてください。
- 前席の音声は車のスピーカー／後席の音声はモニターから出力されます。モニターは音声出力を装備したものをご使用ください。
- AV OFF（オーディオモード終了）するとモニター側もOFFされます。

リヤエンターテイメント（後席選択）機能選択時の前席／後席の選択可能モード一覧

前席（本機）	後席			
	DVD	DTV	AUX	TV
DVD	○	○	○	○
DTV	○	○	○	○
AUX	○	○	○	○
TV	○	○	○	○
iPod	○	×	○	○
CD（MP3／WMA）	×	○	○	○
FM	○	○	○	○
AM	○	○	○	○
MD	○	○	○	○

アドバイス

- 後席のモード選択や操作はモニター側からはできません。
- モニターでは走行中／停車中にかかわらず映像が表示されます。
- モニターは運転者が走行中に映像を見ることができない場所に取り付けてください。車種によっては取り付けできない場合があります。取り付けや後席専用モニターの詳細に関しましては販売店にご相談ください。

初期設定一覧

オーディオ設定

☞21～26ページ

臨場感	音場選択＝OFF
フェダーバランス	調整値＝0
カスタマイズソース	CD／DVD、TV、MD、AM、FM

映像調整

☞16～18ページ

明るさ＝31（イルミネーションON時は12）
コントラスト＝16（DVDモード時は22）
色の濃さ＝16
色合い＝16
ディスプレイ＝フル（TVモード時はワイド）

メニューの配色

☞19、20ページ

メニュー配色＝配色1
透過率＝30

TV

☞109～115ページ

受信チャンネル＝1（TV1と表示）
プリセット
TV1＝1ch、4ch、12ch、13ch、36ch、62ch
TV2＝P1～P6＝1ch
AUTO.P＝設定なし（未登録）

音量調整

☞14ページ

音量＝6（DVD／AUXモード時は8）

個人情報の取り扱いについて

本機を他人に譲り渡したり処分などされる場合はプライバシー保護のため、お客様の責任において本機の情報を消去してください。

- **本機に登録したナビゲーションモード時の情報の削除**
  ☞別冊の取扱説明書（本編）「登録情報を消去するには」162ページ

メッセージ表示について

■下記のようなメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

メッセージ表示	原　因	本機の動作および処置	参考ページ
“リージョンが違います。”	リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」以外のDVDビデオを再生しようとしたとき。	本機のリージョン番号は「2」です。リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」以外のDVDビデオは、本機では再生できません。	—
“PARENTAL VIOLATION”	視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止しているとき。	各種設定の視聴制限設定を確認してください。 再生しようとしているDVDビデオの視聴制限レベルに合わせて、視聴制限設定のレベルを変更すると、再生することができます。	106
“パスワードが違います。”	入力したパスワードが、登録してあるパスワードと違うとき。	パスワードを入力しないと、視聴制限の設定ができません。正しいパスワードを入力してください。	106、107
“走行中は映りません。”	走行中にDVDを再生またはTV “AUX(映像がある場合)” DTVを見ようとしたとき。	安全のため、パーキングブレーキを引かないと、映像(動画)を見ることはできません。 安全な場所に車を停車させ、パーキングブレーキを引いてから、操作してください。	—
“再生可能なディスクを入れて下さい。”	●本機で再生できないディスクをいれているとき。 ●CDが逆にセットされているとき。 ●ディスクに汚れ／異常があるとき。 ●ディスクが入っていないとき。 ●音楽用ディスク以外のディスクがセットされているとき。	●本機で再生できるディスクを入れてください。 ●ディスクを正しくセットしてください。 ●ディスクの汚れを拭きとってください。 ●別のディスクを入れてみてください。 表示が消えれば、まえのディスクに異常がある可能性があります。 ●正しいディスクをセットしてください。	—
“しばらくお待ち下さい。”	ディスクを読込中です。	表示が消えるまでしばらくお待ちください。	—

故障かな？と思ったら(1)

ちょっとした操作のミスや接続のミスで故障と間違えることがあります。
修理を依頼される前に、下記のようなチェックをしてください。それでもなお異常があるときは、使用を中止してお買い上げの販売店にご連絡ください。

－参考ページの見方－

(例) ナビ2 →別冊の「取扱説明書(本編)」2ページ目参照
取付 →別冊の取付説明書参照
2 →本書の2ページ目参照

共　　通

症　状	原　因	処　置	参考ページ
低温時(0℃以下)に車のキースイッチをONにすると、しばらく画面が暗い。	液晶(内部照明装置(バックライト))の特性によるものです。	故障ではありません。 しばらくそのままでお待ちください。 本体の温度が上がると元に戻ります。	－
キースイッチをONにした後、しばらく画面にムラがある。	液晶のバックライトの特性によるものです。	故障ではありません。 しばらくすると安定します。	－
電源が入らない。(動作しない。)	各リード線や各コネクターが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているか、もう一度確認してください。	取付
	ノイズなどが原因で内蔵のマイコンが誤動作している。	リセットボタンを押してください。	ナビ35
音が出ない。	音量が小さいまたは音の大きさが“0”になっている。	音量ボタン(－／＋)で調整してください。	14
	バランス・フェダーが片方に寄っている。	バランス・フェダーを正しく調整してください。 ※2スピーカーの場合は“0”に合わせます。	23、24
音や映像がとぶ。	ナビゲーション本体がしっかり固定されていない。	ナビゲーション本体をしっかり固定してください。	取付
本機に登録されていた情報が消失している。	●本機の使用をあやまった。 ●ノイズの影響を受けた。 ●修理を依頼した。 などにより本機に保存した内容が消失する場合があります。	消失したデータについては補償できません。	－

モニター

症　状	原　因	処　置	参考ページ
映像が出ない。	走行している。	走行中は映像を見ることができません。音声のみでお楽しみください。	–
	明るさ／コントラスト調整が暗い方いっぱいになっている。	明るさ／コントラストを調整してください。	–
	画面が消えている。	画面をタッチして、画面を表示させてください。	14
画質調整ができない。	パーキングブレーキ接続ケーブルを接続していない。	パーキングブレーキ接続ケーブルを接続し、パーキングブレーキをかけてください。また、パーキングブレーキが“ON”になっているかどうか確認してください。	取付、ナビ124
DVDやTVなどの映像色や色合いが悪い。	調整がずれている。	明るさ、コントラスト、色の濃さ、色合いを調整してください。	–
映像にはん点やしま模様が出る。	ネオンサイン、高圧線、アマチュア無線、他の自動車などの影響。	妨害電波を受けない場所に移動してください。	–
ディスプレイに光る点がある。	液晶パネルは99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。	–

故障かな？と思ったら(2)

CD、MP3／WMA

症　状	原　因	処　置	参考ページ
CD、MP3／WMAモードに切り替わらない。	CD、MP3／WMAが挿入されていない。	CD、MP3／WMAを挿入してください。	−
●大きな雑音が出たり再生が途中で止まる。 ●音がとんだり音質が悪い。	CD、MP3／WMAの不良。	他のCD、MP3／WMAを聞いてみてください。よくなればCD、MP3／WMAの不良の可能性があります。	−
	ディスクに汚れ、キズがある。	ディスクのクリーニング(やわらかい布などでディスクの汚れをふきとるなど)をしてみてください。 また、キズのあるディスクは使用しないでください。	ナビ31
	CD-Rの適合は書き込みソフト／ハードの組み合わせや書き込み速度に左右されます。書き込みの深さ、幅(面積)等の規格が合わないと音切れや音とびをしたり、再生できない場合があります。	書き込み速度を遅くすると、安定して焼けますので一番遅い速度での書き込みをお試しください。	−
CD、MP3／WMAが入らない。	結露している。	CD、MP3／WMAを取り出して、本機をしばらく放置してから使ってください。	−
	すでにCD、MP3／WMAが入っていて2枚目をいれようとしている。	入っているCD、MP3／WMAを取り出してから、次のCD、MP3／WMAを入れてください。	−
CD-RやCD-RW、CD-ROMを再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。	−
MP3／WMAファイルを再生できない。	MP3ファイルに「.mp3」、WMAファイルに「.wma」の拡張子が付いていない。	MP3ファイルに拡張子「.mp3」、WMAファイルに拡張子「.wma」の付いたディスクに交換してください。	−
	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。	−
	対応していないビットレートで記録されている。	対応しているビットレートで記録されたMP3／WMAファイルにしてください。	−

CD、MP3／WMA

症　状	原　因	処　置	参考ページ
MP3／WMAファイルを再生できない。	CD-DAデータとMP3ファイルが混在しているディスクを再生しようとした。	CD-DAデータとMP3ファイルが混在している場合、MP3ファイルは再生できません。	–
再生が始まるまでに時間がかかる。	MP3／WMAディスクを再生する場合ディスクに記録されているフォルダ、ファイル階層が多い。	ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。MP3／WMA以外のデータや必要ないフォルダは書き込まないようにしてください。	–
再生中に大きな雑音が出たり、音が出なかったり、すぐ次の曲に移ったりする。	ファイルの形式と拡張子があっていない。	ディスクを交換してください。（MP3形式でないファイルに「.mp3」、WMA形式でないファイルに「.wma」の拡張子を付けたCD-R、CD-RWを再生しないでください。）	–
聞きたいMP3／WMAファイルが見つからない。	MP3ファイルに「.mp3」、WMAファイルに「.wma」の拡張子が付いていない。	MP3ファイルに拡張子「.mp3」、WMAファイルに拡張子「.wma」の付いたディスクに交換してください。	–
フォルダ名やファイル名が正しく表示されない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。	–
ファイル再生が、記録した順と異なる。	MP3／WMAファイルの再生順序は、CD-R／CD-RW書き込み時にライティングソフトがフォルダ位置、ファイル位置を並び替える可能性があります。	ライティングソフトウェアによっては、フォルダ名、ファイル名のはじめに数字（01、02など）を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。	–

故障かな？と思ったら(3)

M D

症　状	原　因	処　置	参考ページ
MDモードに切り替わらない。	MDが挿入されていない。	MDを挿入してください。	–
再生中に大きな雑音が出たり、音が出なくなったり、再生途中で止まったり、MDが自動的に出てくる。	MDの不良。	他のMDを聞いてみてください。よくなればMDの不良の可能性があります。	–
	結露している。	MDを取り出して、本機をしばらく放置してから使ってください。	–
	録音されていないMDを挿入した。	MDを交換してください。	–
	MDが正しい向きで挿入されていない。	正しい向きで挿入してください。	–
グループ登録済みMDが登録した順番どおりに再生されない。	グループ機能を搭載していない編集機などで編集を行なった。	グループ機能を搭載した編集機などで、グループを登録しなおしてください。	–
	グループ名に“//”が付いている。	グループ情報が正しく認識できないため、グループ名に“//”は付けないでください。	–
MDが入らない。	すでにMDが入っていて2枚目を入れようとしている。	入っているMDを取り出してから次のMDを入れてください。	–
グループ表示が10以上にならない。	本機が対応できるグループ数は10です。	故障ではありませんのでそのままご使用ください。	66

DVD

症　状	原　因	処　置	参考ページ
字幕がでない。	再生しているDVDビデオに字幕が収録されていない。	字幕を表示することはできません。	–
	字幕がオフになっている。	DVDメニューで設定を変えてください。	89、90
音声が出ない。	静止画、コマ戻し／コマ送り、スロー戻し／スロー送り中。	静止画、コマ戻し／コマ送り、スロー戻し／スロー送りを止めて通常再生してください。	–

DVD

症　状	原　因	処　置	参考ページ
再生を始めない。	ディスクが入っていない、または、裏向きにセットされている。	印刷面を上にして、正しくセットしてください。	—
	ディスクが汚れている。	ディスクの汚れをふきとってください。	ナビ31
	結露している。	ディスクを取り出して、本機をしばらく放置してから使ってください。	—
	本機で再生できないディスクを入れている。	本機で再生できるディスクを入れてください。	7、8
	本機で再生できないリージョン番号のDVDビデオを入れている。	本機のリージョン番号は「2」です。リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」のDVDビデオを再生してください。	9
	視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止している。	各種設定の視聴制限設定を確認してください。	106
“⃠”(禁止マーク)を表示するだけで、操作ができない。	再生しているディスクがその操作を禁止している。 ディスクの構造上対応できない操作をしている。	再生しているディスクまたは場面では、その操作をすることはできません。(ディスクに付属されている説明書もあわせてご覧ください。)	—
音声や映像が乱れる。	ディスクに汚れ、キズがある。	ディスクの汚れをふきとってください。また、キズのついているディスクは使用しないでください。	ナビ31
	振動の生じるところで使用している。	本機に振動が加わると、音とびをしたり、映像が乱れることがりあります。振動が止まると、通常の動作に戻ります。	—
音声言語／字幕言語が切り替わらない。	再生しているDVDビデオには、1つの言語しか収録されていない。	複数の言語が収録されていないディスクの場合は、言語を切り替えることはできません。	—
	再生しているDVDビデオが、言語の切り替えを禁止している。	言語を切り替えることはできません。	—
各種設定で選んだ音声言語／字幕言語にならない。	再生しているDVDビデオに収録されていない言語を選んでいる。	ディスクに収録されていない言語には切り替えられません。この場合は、ディスクに収録されている言語のいずれかで再生されます。	—
字幕が消せない。	再生しているDVDビデオが、字幕を消すことを禁止している。	字幕を消すことはできません。	—

故障かな？と思ったら(4)

DVD

症　状	原　因	処　置	参考ページ
各種設定で選んだアスペクト比にならない。	再生しているDVDビデオに収録されていないアスペクト比を選んでいる。	ディスクに収録されていないアスペクト比には切り替えられません。この場合は、ディスクに収録されているアスペクト比のいずれかで再生されます。	–
アングルを切り替えることができない。	再生しているDVDビデオには、1つのアングルしか収録されていない、または、一部の場面にのみ、複数のアングルが収録されている。	複数のアングルが収録されていないディスク／場面では、アングルを切り替えることはできません。	–
	再生しているDVDビデオが、アングルの切り替えを禁止している。	アングルを切り替えることはできません。	–
タイトルを選んで決定(実行)しても、再生が始まらない。	視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止している。	各種設定の視聴制限設定を確認してください。	106
視聴制限をしているのに、再生が制限されない。	再生しているDVDビデオには、視聴制限が収録されていない。	視聴制限をすることはできません。	–
視聴制限を解除できない。	暗証番号が間違っている。	正しい暗証番号を入力してください。	–
	暗証番号を忘れてしまった。	「0000」と入力してください。	–
DVDメニューが外国語で表示される。	“メニュー言語”が、外国語に設定されている。または外国語のみで収録されている。	“メニュー言語”を日本語に設定すると、ディスクに日本語が収録されていれば、DVDメニューが日本語で表示されます。	103、104

TV、ラジオ

症　状	原　因	処　置	参考ページ
TVの映りが悪い。ラジオまたはTVで“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の電波が弱い。	他のチャンネルを選局してみてください。	–
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、映りが良くなり、雑音が少なくなります。	–
ラジオまたはTVの自動選局ができない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。	75、111

iPod

症　状	原　因	処　置	参考ページ
正常に動作しない。	接続不良。	iPodアダプター（ケーブル）を確実に接続してください。iPodが正常に動作しない場合はiPodをリセットしてください。	–
	再生可能なデータがない。	再生可能なデータをiPod本体に転送してください。	–

用語説明(1)

DTS：Digital Theater System

デジタル・シアター・システムズ社が開発した映画館用の高音質サラウンドシステム「DTSサラウンドシステム」の家庭用デジタルサラウンドフォーマットです。

DTS2.0 CHANNEL

DTS用外部サウンドデコーダを使用せずにDTSのマルチチャンネル音声をステレオ環境で聞くことができます。

タイトル、チャプター

DVDビデオに収録されている内容は、いくつかの大きな区切り(タイトル)に分かれている場合があります。
また、1つのタイトルは、いくつかの小さな区切り(チャプター)に分かれている場合があります。各タイトルに付けられた番号をタイトル番号と呼び、各チャプターに付けられた番号をチャプター番号と呼びます。

トラック

CDに収録されている曲の区切り(1曲分)をトラックと呼びます。各トラックに付けられた番号をトラック番号と呼びます。

アスペクト比

画面の縦、横のサイズの比率のことです。アスペクト比には、4：3(普通のテレビ)と16：9(ワイドテレビ)の2種類あります。

LB(レターボックス)

16：9のワイド画像をアスペクト比4：3の普通のテレビに表示するときの方法の1つです。ワイド画像を垂直方向に圧縮することによって、4：3のテレビでも、正規の比率で画像を表示します。画面の上下には、黒い帯が入ります。

パン&スキャン(P&S)

16：9のワイド画像をアスペクト比4：3の普通のテレビに表示するときの方法の1つです。ワイド画像の左右をカットして、4：3のテレビで表示します。

視聴制限(パレンタル)

DVDビデオの機能の1つで、プレーヤー側(本機)で設定している視聴制限レベルに応じて、DVDビデオの再生が制限されます。制限のしかたはディスクによって異なり、全く再生ができない場合や不快な場面をとばして再生する場合などがあります。

※視聴制限が収録されていないDVDビデオもあり、この場合は、再生を制限することはできません。

AUX(エーユーエックス)

市販のビデオデッキやポータブルオーディオ機器などの外部機器の出力を入力する機能です。
AUX端子から入力された映像や音は、AUXモードに切り替えることにより、本システムを使って見たり、聞くことができます。

MP3

MP3はMPEG Audio Layer3の略で、MPEG Audio Layer3は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3は人間の聞き取れない音声、不可聴帯域を圧縮するので、元のファイルを約1／10のサイズにすることができます。

ID3タグ／WMAタグ

MP3ファイル、WMAファイルには、IDタグ、WMAタグと呼ばれる付属文字情報を入力する領域が確保されていて、曲のタイトルやアーティスト名などを保存できます。ID3タグ、WMAタグに対応したプレイヤーでID3タグ、WMAタグ情報の表示・編集が可能です。

エンコーダ

データを一定の規則に基づいて符号化（データの圧縮や暗号化など）をするソフトウェアです。

エンコード

データを一定の規則に基づいて符号化（データの圧縮や暗号化など）をすることです。エンコードを行なうソフトウェアをエンコーダと呼びます。

セッション

CD-R、CD-RWでは、書き込みをする度にデータの前後にリードイン、リードアウトという領域が付加されます。このリードイン、データ、リードアウトの固まりを、“セッション”と言います。本機は、同じディスクに音楽データとMP3データが混在する場合、最初のセッションに記録されているデータしか再生できません。（ディスクによっては再生できない場合もあります。）
セッションをクローズした後に、データを追加した場合は、第2セッション以降に書き込まれるので、本機では再生できません。

サンプリング周波数

アナログ信号からデジタル信号への変換（AD変換）を1秒間に何回行なうかを表す数値のことです。

ルートフォルダ

ツリー型ディレクトリ構造の最上層にあるディレクトリのことをさします。

ビットレート

1秒当たりの情報量を表し、単位はbps（bit per second）です。この数字が大きいほど、音楽を再現するために多くの情報を持つことになるため、同じ符号化方式（ATRAC3など）での比較では、一般的に数字が大きい方が良い音になります。（MP3とATRAC3のように、異なる符号化方式の場合、単純な比較はできません。）

VBR

「Variable Bit Rate（可変ビットレート）」の略です。一般的にはCBR（固定ビットレート）が多く使われていますが、音声圧縮では圧縮状況に合わせてビットレートを可変することで、音質を優先した圧縮が可能となります。

用語説明(2)

WMA

「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player ver.7以降を使用してエンコードすることができます。Microsoft、Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

DRM（デジタル著作権管理）

デジタルデータの著作権を保護する技術。音声・映像ファイルにかけられる複製の制限技術で不正利用を防ぎます。本機はDRMに対応していないため、Windows Media Playerを使用してWMAを作成するときは“保護された音楽を録音する(Ver.によって表現が異なる場合もあります。)”の項目にチェックを付けないでください。

Joliet（ジュリエット）

Microaoft社が開発したCD上でロングファイル名を扱えるようにした規格です。Jolietではスペースを含む最大64文字までのファイル名に対応したユニコード(文字コード)で記録します。

コピーコントロールCD／レーベルゲートCD

パソコンなどで音楽データを読み取り、データ化、保存ができないように処理してあるCDのことです。コピーコントロールCD、レーベルゲートCDには下記のマークが付与されています。
ご使用になる前に、必ずパッケージなどに同梱されている説明書をお読みください。

索　引

五十音順

え

映像調整……16～18

お

オーディオの設定（オーディオメニュー）
　カスタマイズソース　……25、26、147
　フェダーバランス……23、24
　臨場感……21、22
音量調整　……14

か

各部の名称とはたらき（表示部含む）
　ラジオ（AM／FM）　……69～71
　CD　……29、30
　DVD　……80～82
　iPod　……129、130
　MD　……58、59
　MP3／WMA　……47、48
　TV　……109
カスタマイズソース……25、26
画面を消す　……14

こ

後席専用モニターについて　……148～150
　リヤエンターテインメント
　（後席選択）……149、150
故障かな？と思ったら　……153～160
個人情報の取り扱いについて　……151

さ

再生できるディスク　……7、8
初期設定一覧　……151

な

ナビゲーション画面を表示する　……15

は

はじめに　……7～13

め

メッセージ表示　……152

よ

用語説明　……161～163

ら

ラジオ（AM／FM）
ラジオの設定について　……10
ラジオ使う（交通情報含む）……69～77

アルファベット

A

AUX機能を使う　……123、124

C CD

CDプレーヤーを使う　……29～38

D

DTV機能を使う　……119、120
DVDビデオについて　……9
DVDプレーヤーについて　……79
DVDプレーヤーを使う　……80～99
DVDの各種設定について　……100～107

I iPod

iPodについて　……127、128
iPodを使う　……129～144

M MD／MS／MP3

MDプレーヤーを使う　……57～66
MP3／WMAについて　……41～46
MP3／WMAを使う　……47～54

Q

Quickメニュー（カスタマイズ機能）　……147

T TV

TVの設定について　……10
TVを使う　……109～116

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。なお、お客さまが当社にお電話でご相談、ご連絡いただいた場合には、お客さまのお申し出を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

＜利用目的＞

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問合せおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために三洋電機(株)および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

＜業務委託の場合＞

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理・監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細は、ホームページ http://www.sanyo.co.jpをご覧ください。

■お買物に関するご相談窓口

TEL（072)870－7084　受付時間：月曜日～金曜日（祝日および当社の休日を除く）
午前9：00～12：00、午後13：00～17：00

■商品の操作方法に関するご相談窓口

TEL（0088)22－3478　受付時間：月曜日～金曜日（祝日および当社の休日を除く）
午前9：00～12：00、午後13：00～17：00

■修理に関するご相談窓口

お買い上げの販売店、または取扱説明書(本編)記載の「お客様ご相談窓口」(239、240ページ)にお問い合わせください。

受付時間：月曜日～金曜日　[9：00～18：30]
土曜・日曜・祝日　[9：00～17：30]

お客様メモ

- ご購入の際に記入しておいてください。修理などを依頼されるとき便利です。

品　　番	**NVA-280**
お買い上げ年月日	年　　月　　日
お買い上げ販売店	
	電話　（　　）　　－

三洋電機株式会社

オートモーティブカンパニー

〒574－8534　大阪府大東市三洋町1－1

※住所、電話番号は予告なしに変更する場合がありますのでご了承ください。
お電話の際には電話番号をよくお確かめください。

Printed in Japan　　2RR6P10A75700